

ACCESS MAP

交通のご案内

舞岡キャンパス(木原生物学研究所)



- 国際総合科学部
生命環境コース
- 大学院
生命ナノシステム科学研究科
生命環境システム科学専攻
- 木原生物学研究所

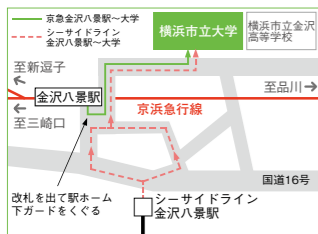


〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
●045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

金沢八景キャンパス



- 国際総合科学部
- 医学部(医学科・看護学科)※1年次
- 大学院
都市社会文化研究科
都市社会文化専攻
国際マネジメント研究科
国際マネジメント専攻
生命ナノシステム科学研究科
物質システム科学専攻
生命環境システム科学専攻



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
●045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩7分

鶴見キャンパス



- 国際総合科学部
生命医科学コース
- 大学院
生命医科学研究科
生命医科学専攻



〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29
●045-508-7201~7203
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および
京浜急行線「京急鶴見駅」下車8番乗り場から、
川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行き
で約15分、「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分

附属市民総合医療センター



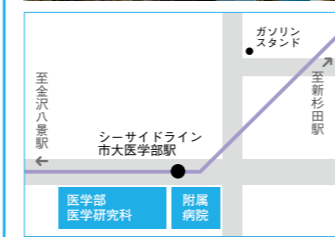
〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57
●045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分
●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

福浦キャンパス

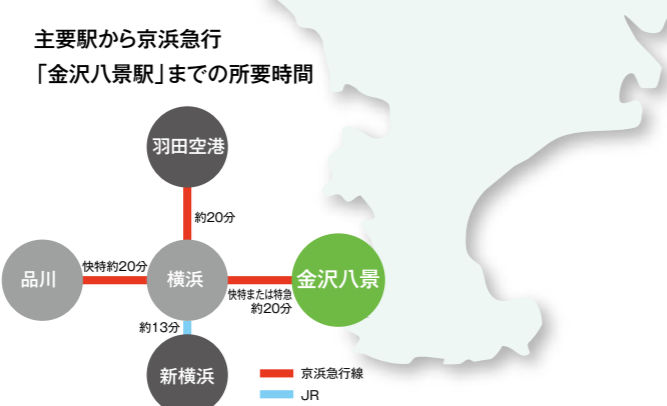


- 医学部(医学科・看護学科)
- 大学院
医学研究科 医科学専攻
看護学専攻
- 先端医学科学研究センター

附属病院



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
●福浦キャンパス 045-787-2511
●附属病院 045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分



twitter @YCU_koho Facebook YokohamaCityUniv

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2
tel.045-787-2055 fax.045-787-2057
www.yokohama-cu.ac.jp

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY 大学案内 2017

YCU

横浜市立大学

大学案内2017

- 国際総合科学部
国際教養学系/国際都市学系
経営科学系/理学系
- 医学部
医学科/看護学科



YCUは、豊かな人間性と高い専門能力を備えた「横浜から世界へ羽ばたく」人材を育成します。

横浜市立大学 学長
窪田 吉信 (くぼた よしのぶ)

横浜市は、我が国最大の政令指定都市であり、世界有数の国際都市です。YCUは、その横浜市とともに歩む総合大学として、国際的なセンスを身に付け、世界のさまざまな場で活躍できるグローバルな人材、これからの社会を担い、未知の世界を自ら積極的に切り拓く優秀な人材を育成し、世に送り出していくという明確な使命を持っています。

YCU教育の特徴は〔英語力の強化〕〔留学・海外プログラムの充実〕〔横浜での学び〕を基盤とした教養教育と専門教育です。

英語を作業言語とする国際社会において、英語をコミュニケーションの「道具」として使いこなすことは必須です。YCUでは、少数での「Practical English」や、「Advanced Practical English」などの英語教育プログラムで英語力をしっかり身に付けます。さらに、種々の海外留学プログラムや海外フィールドワーク、海外インターンシップなど、国際経験の場に積極的にチャレンジできるさまざまな機会を設けています。また、多様性に富む国際都市横浜での学びは、今後の国際社会、多文化共生社会の課題を解決することにつながります。YCUには、横浜市をフィールドにした地域密着型の教育と地域貢献プログラムを充実させた学びの場があります。

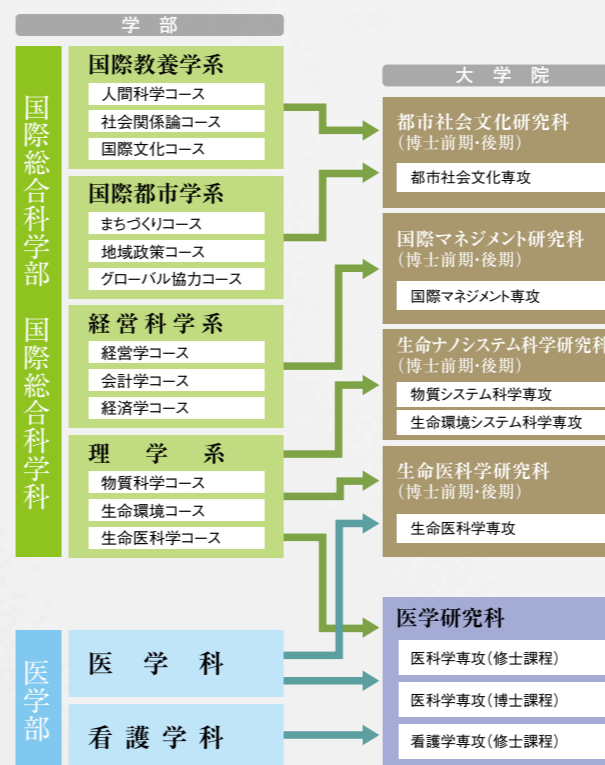
教養教育「YCU共通教養」では、真のグローバル人材に求められる、社会の多様性を理解できる「共感性」、自分の意見をしっかりと伝えられる「発信力」と自ら課題を見つけ、解決方法を考えられる「課題解決力」の修得に力点が置かれています。2年次より始まる専門教育や専門教養教育においては、広く社会や世界に貢献・活躍していける人材、医療者、研究者として必要な知識とスキル、より創造的な力をも身に付けていただくカリキュラムが組まれています。

一方、YCUでは、世界のトップレベルの研究や高度医療・先端的医療の提供や、開発が行われ、その成果を世界へと発信し続けています。そして、その高い研究力は、より実践的で質の高い教育に反映されています。YCUの学びでは、自らが主体的に学び、自分の視野を広げていくことが重要視されます。

グローバルにそして、より創造的に生きていくために必要な「知」を横浜の地で学び、自ら身に付けようとする意欲を持った皆さんを心から歓迎します。



横浜市立大学の学部・大学院構成



横浜市立大学沿革

<ul style="list-style-type: none"> 1871 仮病院 1872 横浜中病院 横浜共立病院 1874 十全医院 1891 横浜市十全医院 1944 横浜市立医学専門学校 附属十全病院 1949 横浜医科大学病院 1954 横浜市立大学医学部病院 1991 医学部附属病院 2005 附属病院 	<ul style="list-style-type: none"> 1882 横浜商法学校(Y校) 1888 横浜商業学校 1917 横浜市立横浜商業学校 1928 横浜市立横浜商業専門学校(Y専) 1944 横浜市立医学専門学校 附属十全病院 1947 横浜医科大学 1952 横浜市立大学(商・医・文理学部) 横浜市看護婦養成所 1963 横浜市立大学 (高・医・文理学部・教養部) 1971 横浜市立大学 医学部附属高等看護学校 1995 横浜市立大学 (商・医・国際文化・理学部・教養部) 横浜市立大学看護短期大学部 2005 横浜市立大学 (国際総合科学部/国際総合科学科、 医学部/医学科・看護学科)
--	--

【大学院】
医学研究科(1961～)、経営学研究科・経済学研究科(1970)、総合理学研究科(1989)、
総合理学研究科・連携大学院/生体超分子システム科学専攻(2001)、国際文化研究科
(1993)を統合して国際総合科学研究科を設置(2005～2009)、国際総合科学研究科を再
編し、都市社会文化研究科・国際マネジメント研究科・生命ナノシステム科学研究科を設
(2009～)、医学研究科看護学専攻を設置(2010～)、生命医科学研究科を設置(2013～)



横浜市立大学キャラクター
『ヨシユキ』

創立80周年記念として、学生プロジェクトにより
2008年11月1日誕生。
金沢八景キャンパスのイチヨウ並木から生まれた
イチヨウの精。

PAGE

巻頭企画

学部・大学院構成／沿革／学長メッセージ — 1

卒業生からのメッセージ — 4

YCU TOPICS — 8

YCU 教育の特色

共通教養 — 14

YCUだけの、教養教育プログラム



グローバル教育 — 20

世界中で学ぶYCUの国際教育プログラム



海外で、学ぶ。 — 22

短期・長期留学、海外フィールドワーク

海外で、実践する。 — 24

アカデミックコンソーシアム、国際ボランティア、海外インターンシップ、ディズニープランシヤ国際カレッジプログラム、SUDP

YCUの地域貢献 — 26

地域に貢献できる学生を育成、学生の自主的な地域貢献活動

PAGE

2つの学部

国際総合科学部 — 28

国際教養学系 — 30



- 人間科学コース
- 社会関係論コース
- 国際文化コース

国際都市学系 — 34



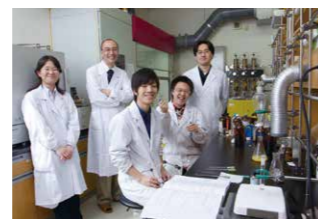
- まちづくりコース
- 地域政策コース
- グローバル協力コース

経営科学系 — 38



- 経営学コース
- 会計学コース
- 経済学コース

理学系 — 42



- 物質科学コース
- 生命環境コース
- 生命医科学コース

教員紹介 — 46

PAGE

医学部 — 48

医学科 — 50



医学教育センター — 54

シミュレーションセンター・医学科領域紹介 — 56

看護学科 — 58



看護学科 海外フィールドワーク — 62

看護教育研究棟 施設紹介 — 64

2つの附属病院 — 66

YCU Research

大学院

最先端へ挑戦する、YCUの研究

都市社会文化研究科／都市社会文化専攻 — 68

国際マネジメント研究科／国際マネジメント専攻 — 70

生命ナノシステム科学研究科／物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻 — 72

生命医科学研究科／生命医科学専攻 — 76

医学研究科／医科学専攻 — 78

医学研究科／看護学専攻 — 80

最先端の研究施設・連携研究機関 — 82

PAGE

学生支援

キャリアサポート／国際総合科学部就職状況 — 86

インターンシップ／卒業生からのメッセージ — 90

医学部進路状況 — 92

学びやすい環境／学術情報センター・医学情報センター — 94



YCUキャンパスライフ

キャンパスライフレポート — 96

部活・サークル紹介 — 100

金沢八景キャンパス — 102

福浦キャンパス — 104



入試関連データ

入試データ — 106

学費・奨学金 — 116

Q&A — 118

資料請求・インフォメーション2016 — 120

データで見る横浜市立大学 (平成28年5月1日現在)

■国際総合科学部学生数

国際総合科学科	3,162人
男子	1,327人
女子	1,835人

■医学部学生数

医学科	550人
男子	355人
女子	195人

看護学科	415人
男子	9人
女子	406人

■大学院学生数

都市社会文化研究科	62人
博士前期	41人
男子	22人
女子	19人
博士後期	21人
男子	16人
女子	5人
国際マネジメント研究科	53人
博士前期	47人
男子	24人
女子	23人
博士後期	6人
男子	5人
女子	1人
生命ナノシステム科学研究科	134人
博士前期	107人
男子	65人
女子	42人
博士後期	27人
男子	17人
女子	10人
生命医科学研究科	99人
博士前期	71人
男子	35人
女子	36人
博士後期	28人
男子	16人
女子	12人

■医学研究科医科学専攻 398人

修士	46人
男子	30人
女子	16人

博士	352人
男子	246人
女子	106人

■医学研究科看護学専攻 35人

修士	35人
男子	10人
女子	25人

■留学生数(人)

所属	一般学生	研究生	交換留学生	合計
国際総合科学部	23	0	9	32
学部生合計	23	0	9	32
都市社会文化研究科	11	10	0	21
国際マネジメント研究科	31	4	0	35
生命ナノシステム科学研究科	6	2	0	8
生命医科学研究科	4	0	0	4
医学研究科	7	2	0	9
大学院生合計	59	18	0	77
合計	82	18	9	109

■留学生の出身地(人)

中国	71
韓国	8
ベトナム	6
バングラデシュ	6
イタリア	4
アフガニスタン	2
タイ	2
台湾	2
タンザニア	2
インドネシア	1
オーストリア	1
ドイツ	1
ナイジェリア	1
ネパール	1
フィンランド	1

■教員数(人)

所属・配属	教授	准教授	講師	助教	助手	計
学術院(国際総合科学群)	74	63	1	11	0	149
人文社会科学系(文系)	37	24	1	0	0	62
自然科学系(理系)	37	39	0	11	0	87
学術院(医学群)	68	109	60	318	5	560
医学部担当(医学科)	42	37	29	98	3	209
医学部担当 兼 生命医科学研究科	2	1	0	0	0	3
医学部担当(看護学科)	12	7	5	12	0	36
附属病院担当	3	16	13	89	0	121
市民総合医療センター担当	8	44	13	119	2	186
保健管理センター	1	0	0	0	0	1
生命医科学研究科	0	1	0	0	0	1
先端医科学研究センター	0	3	0	0	0	3
合計	142	172	61	329	5	709

国際都市横浜から世界を舞台に活躍する卒業生たち



原口 淳 (はらぐち じゅん)
◆コニカミノルタジャパン株式会社 代表取締役社長
商学部 昭和54年 卒業

小さな失敗をできるだけ多く経験しておくことこそが夢の実現と成功への準備なのです。

私は、米軍基地のある長崎県佐世保市の出身で、幼稚園の友だちの半数がアメリカ人という環境で過ごし、アメリカという国にとっても興味を持って育ちました。近所に住むアメリカ人からRockのレコードをもらったことがきっかけでギターを始め、「関東の大学へ行ってバンド活動がしたい」という思いと、「横浜」という土地柄に魅かれてYCUに進学しました。

学生時代には、ありとあらゆるアルバイトをしましたが、さまざまな仕事や人々に触れた経験は、その後の社会生活において複眼的に物事を見るベースとなりました。また、2年間の寮生活、2度の全米貧乏旅行なども忘れられない思い出、まさに私の原点です。就職の際には、海外でのビジネスに従事するチャンスがある会社として今のコニカミノルタに入り、通算20年間海外に駐在し、アメリカでは従業員8,000人の販売会社の社長を任されました。その就任パーティーで、アメリカ人を前にギターを弾いて歌うという長年の夢を叶えることができました。

夢を持つ人生は精神的に豊かですし、それを叶えようと努力することで生活が充実します。「若い人には無限の可能性がある」とよく言われますが、可能性の中から何を選び、何を捨てるかは難しい問題です。今から小さな失敗をできるだけ多く経験しておくことが、人生の大きな決断を下す時に必要な経験、勇気に繋がっていく—それが、大きな成功への準備だと私は思います。

最後に米国で教わった私の好きな言葉を贈ります。
"Success where the preparation meets the opportunity."
ちよっといいでしょ。



飯田 美加子 (いいた みかこ)
◆東日本電信電話株式会社 神奈川事業部総務部人事育成担当
商学部 平成9年 卒業

すべてのことが自分の糧になる大学時代。興味あることに積極的なチャレンジを。

営業を経験後、現在は神奈川エリアに在籍する約2,000名の社員に対する人材育成業務を担当しています。役職や年齢層等に合わせた各種研修を企画し運営するのが主な業務です。今年には出産のため休職しますが、来年には復職して引き続き仕事と家事・育児を両立していきたいと思っています。

YCU在学時はゼミで経営学を専攻し、八景島シーパラダイスで来場者アンケートを実施したこともあり。やはりビジネスはお客様ありきのサービスを心がけねばならないと痛感したのもこのとき。こうした経験が基礎となり、社会に出てからも相手の立場や目線で考え、その上でどのような提案や企画をするべきかということを常に意識できるようになったのだと思います。

部活動では体育会水泳部に入り、3年時には副主将も務めさせていただきました。本格的に水泳をしたのは大学が初めてでしたが、友人たちに支えられ、最後まで続けることができました。水泳部時代に培った体力や何事にも諦めずに取り組む姿勢は、社会人になってからも大いに役立っていると思います。

大学時代は、目の前のチャンス・興味のあることに積極的にチャレンジしてください。体験するすべてのことが自分の糧となりますし、その先に必ずや自分のやりたいことが見えてくると思います。また、ぜひたくさんの人と知り合い、多くの刺激を受け、その中で一生続く良き友人を見つけていってください。



岩井 裕太郎 (いわい ゆうたろう)
◆ジブラルタ生命保険株式会社 新宿支社 新宿第十営業所
ライフプラン・コンサルタント
国際総合科学部 平成23年 卒業

夢を見つけることに費やした4年間。その経験が大きな自信になりました。

大学を卒業後、通信機器メーカーに就職しましたが、自分の人生を考えた時に、「後悔のない人生を送りたい」「もっと成長したい」「もっと人の人生に役に立つ仕事がしたい」という気持ちから生命保険外交員に転職。生命保険を扱い、関わる方々のライフプランを考え、資産運用などの人生設計のお手伝いをする仕事に従事しています。その決断の後押しをしてくれたのが、大学時代の経験とそこから得られた自信でした。

大学入学時、心に決めたのは、「自分にとって楽しいことは何か？自分がやりたいことは何か？」という気持ちに純粹になることと、「悩んだら、挑戦の道に進む」ことでした。学生団体を設立し他大学の学生と交流をしたり、イタリアでNGO団体に入りボランティア活動をしたり、経済政策会議に出たり、フロリダのディズニーワールドにインターンシップに行ったり、やりたいことをすべてやった気がします。

高校生のころは、明確に抱いていた夢はなかったのですが、大学生活を通じていつか夢が見つかった時に、思いっきりスタートダッシュが切れる自分でありたいと思っていました。YCUを選んだのも、自分で考えて行動できる、幅広い自由な学びができる環境だったから。大学生活は、高校時代よりもやれることが増えます。だからこそ、大学での過ごし方で自分の人生が大きく変わってしまいます。自己実現を応援してくれるYCUで、何がしたいのか？何になりたいのか？自分で考え、即行動してみてください。



堀 文香 (ほり あやか)
◆株式会社資生堂 化粧品開発センタースキンケア第1製品開発グループ
国際総合科学部 理学系 平成25年 卒業
医学研究科 医科学専攻 修士課程 平成27年 修了

研究者としての素地とともに、チームとして成果を挙げるために大切なことが学べました。

私は、生命が本来持つ力に大きな魅力を感じ、その潜在能力を最大限引き出すことで、人はもっと健康で美しい日々を過ごすことができるのではないかと考えていました。より人に近い、臨床に近いところで研究を行うために医学部のある大学という理由からYCUを選びました。国際総合科学部理学系を卒業後、医学研究科医科学専攻の修士課程に進学。臨床と協同しながら患者さんの検体を用いて研究を行うなど、医学部がなければできない貴重な経験ができました。軟骨再生医療の研究では、教員・臨床医・研究員らで構成されたチームに唯一の学生として参加。立場や考えの異なる人と同じ目標に向かって進む際には、密なコミュニケーションと、新しい考えや知識を吸収する柔軟な姿勢、情報を共有する発信力が重要であることを、身をもって理解しました。

大学院は、自身の想い次第でどこまでも研究を進めることができる環境が整っていました。努力に応じて求められるレベルも高くなり、苦しい思いをすることもありましたが、新しい発見をする喜びはかけがえのないものでした。また、「発見が多くの人を救う、笑顔にする」という考えは私の大きな原動力であり、研究内容が変わった今でも、その考えが変わることはありません。

現在携わっているスキンケア製品の研究開発は、さらに多くの人と関わりながら進みます。その中で、個人としてだけでなくチームとして成果を挙げるために自分はどうしたら良いのかを常に意識し業務にあたっています。

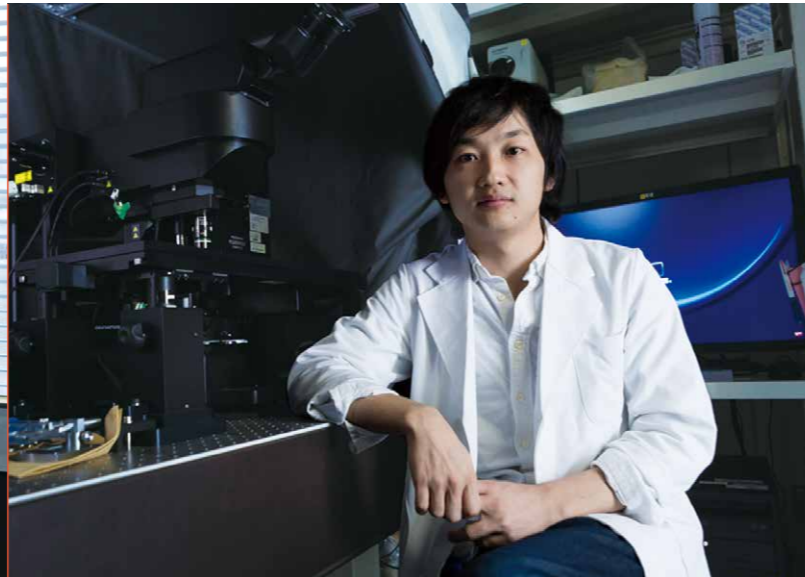
あらゆる医療現場・医療分野で貢献する卒業生たち



天野 直二 (あまの なおじ)
◆岡谷市民病院 院長 国立大学法人信州大学 名誉教授
医学部 医学科 昭和50年 卒業

附属病院での豊富な研修と研究の日々が、
専門家になる礎を築いてくれました。

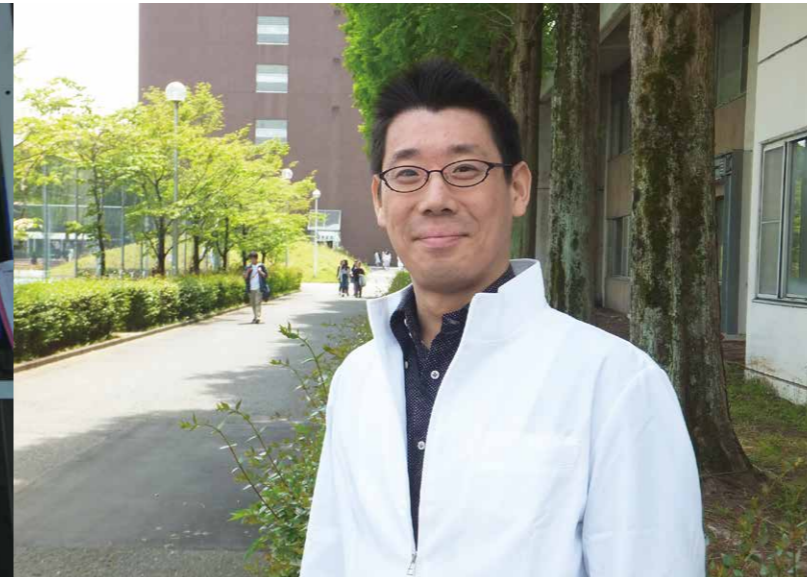
昭和50年3月にYCUの医学部を卒業しました。当時、全国的にも数少ないスーパーローテーション(卒後2年間、各臨床科を研修して回る制度)を行っている附属病院で初期研修を修了。精神科9カ月、外科3カ月、内科3カ月、臨床脳波3カ月、病理学6カ月という今思えば実に豊富な研修をさせていただきました。この2年間で自分の人生を決める大きな契機になったと今更ながら実感します。その後、YCUの精神医学教室に入局。当時の主任教授は猪瀬正教授であり、私は臨床神経病理学を専門とする教室の伝統にすっかり馴染んで、一般精神医学、老年精神医学、認知症学の臨床と研究に励むことができました。日中は患者さんの診療に明け暮れ、カンファランスや研究会に参加し、夜は脳標本の作成や顕微鏡観察を行う日々の連続。学生時代に自由に研究ができる環境下、自分なりのペースで行っていた時間の流れが走馬灯のように懐かし思い出されます。後にYCUの関連病院である厚木市の神奈川リハビリテーション病院精神神経科に数年間勤務し、そこでも柳下三郎検査部長の指導下で臨床神経病理研究に没頭しました。その後は東京大学精神医学教室に招聘され、平成12年に信州大学の教授に就任し、平成23年から3年間大学病院院長を勤めました。大学の人材育成という視点から、さまざまな視野で自分の仕事を見つめられる環境を作ることがいかに重要かを痛感するとともに、専門家になる礎を築いてくれたYCUにはとても感謝しています。



武部 貴則 (たけべ たかのり)
◆横浜市立大学 医学部 医学科 臓器再生医学 准教授
医学部 医学科 平成23年 卒業

臓器移植に代わる再生医療の実現を目指し、
今しかできないことに全力を注いでいます。

臓器移植に関わる外科医を目標に、医学部へ入学しました。しかし、移植医療の現場は移植用ドナー臓器の供給が絶対的に不足しており、年間約1万人が死を迎えているという悲惨な状態でした。これにショックを受けた私は、研究医として、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を利用し、移植医療に代わる「夢」の再生医療の実現を目指す研究を進めてきました。2011年には、世界で初めてヒトのiPS細胞から血管構造を持つ機能的な臓器を創り出すことに成功。臓器移植に代わる治療へと展開することを目標に、研究を進めています。学生時代に最も記憶に残っているのは、大学祭で実行委員長を務めたことです。社会問題化しつつあった医師不足問題をシンポジウムで取り上げるなどした結果、さまざまなメディアにも注目され、大学史上もっとも多くの来場者にお越しいただきました。学業以外の活動でも、たくさんの友人や先輩・後輩たちと深く交流が持てたことは、何にも代え難い財産となっています。「今しかできないことをやる!」が私のモットーです。将来あるべき姿を想定し、そのために今何をすべきかを導き出し、行動するよう心がけています。その上で、自信を持てるよう人一倍の努力をすれば、皆さんにも素晴らしい未来が拓けると確信しています。



桐山 啓一郎 (きりやま けいいちろう)
◆朝日大学保健医療学部看護学科助教、精神看護専門看護師
医学研究科 看護学専攻 修士課程 平成25年 修了

高い意識を持った仲間から刺激を受けながら、
実習で現場に即した知識・技術が学べました。

大学院修了後3年間は臨床で精神看護専門看護師として、精神疾患に罹患した患者さんからリエゾン精神看護の対象となる患者さんまで幅広く担当していました。現在は大学の精神看護学教員としても活動を始め、精神看護専門看護師と二足のわらじを履くことになりました。大学院では、看護への強い思いと探究心を持った仲間たちとのディスカッションや自主的な勉強会などで質の高い交流と多くの刺激を受けました。とりわけ印象深かったのが「看護倫理」の授業です。それまでの自分の考えだけでなく、倫理原則に基づく看護師ごとの立ち位置と倫理的な葛藤を知り、視野を広げることにつながったと思います。また精神看護学分野では、精神科看護からリエゾン精神看護まで幅広く学ぶことができました。YCUは、首都圏にあるという立地から、専門看護師が長く所属しその活動が根付いている施設で専門実習を受けられ、多くの先輩専門看護師から生きた知識・技術を学ぶことができ、横浜や東京での研究会や事例検討会にも参加することができました。先生方の指導も丁寧で、専門看護師試験やさまざまな相談など、修了後の今もきめ細やかにフォローしていただき続けています。YCUは看護学を深めるのに最適な環境だったと実感しています。



竹内 あかり (たけうち あかり)
◆横浜市立大学附属病院 看護師
医学部 看護学科 平成21年 卒業

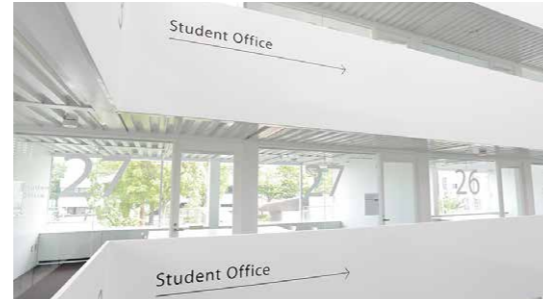
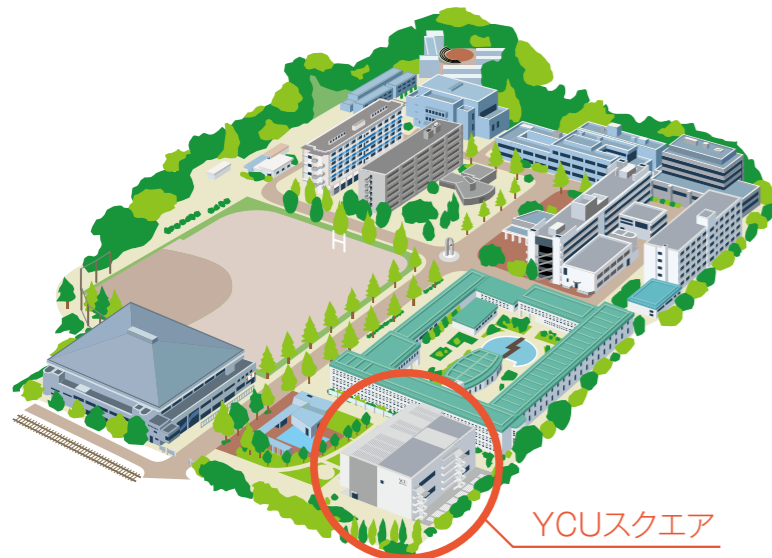
失意の私に声をかけてくれた先輩看護師のように
患者さんとその家族を支え、後輩の手本でありたい。

人と関わる仕事がしたいという思いから看護師になることを決めた私は、1年次に教養の授業があり、看護以外のことを学べる機会がある、YCUに魅力を感じ受験しました。在学中、一番印象に残っているのは実習での出来事です。病気からくる苦痛を訴えている患者さんに自分ができることが何もないと思い、患者さんのベッドサイドに行くことができなかった時、担当の看護師さんが一緒に患者さんのケアをしようと声をかけてくれました。何もできなかったという思いが残ったままその実習は終わりましたが、別の実習でその看護師さんにお会いしたとき「あの時は頑張ったね」と言葉をかけてもらったことがとても印象に残っています。看護師になって8年目をむかえ、脳神経外科、形成外科、脳卒中科の病棟で働いています。病棟には意識障害や運動麻痺などの症状がある患者さんがいらっしゃいますが、患者さんやご家族のもつ辛さに寄り添い、嬉しいことは一緒に喜ぶことができる看護師でありたいと思っています。また、学生さんたちと関わる機会もあり、私も学生さんが患者さんのベッドサイドに行けるような声かけや調整を心がけています。これから看護師を目指すみなさん、学生時代の経験が将来にたくさんつながっています。良かったことも大変なことも大切にしてください。一緒に働く日がくることを楽しみにしています。

◆ 金沢八景キャンパスに「YCUスクエア」OPEN!



金沢八景キャンパスの正門近くにYCUの新しいシンボルとなる「YCUスクエア」が誕生しました。学生や教職員の活動拠点として、また地域と大学をつなぐ場所として、幅広く活用されます。



スチューデントオフィス

2階～4階には、学生のグループ活動を支援するスチューデントオフィスと呼ぶ部屋がたくさんあります。机や椅子は個別に移動可能なため、グループの人数も自由自在に組み替え可能です。



YCU スクエア 施設概要

- ・300人教室 2室
- ・100人教室 3室
- ・50人教室 3室
- ・大学院講義室 2室
- ・多目的ホール (ピオニーホール)
- ・総合事務室
- ・保健管理センター
- ・アドミッションズセンター
- ・スチューデントオフィス 17室

学生支援の窓口を1か所に集約

学生支援(履修関連、奨学金関連、留学関連、キャリア支援関連)の窓口がYCUスクエア内に集約されました。利便性が上がり、横断的な相談にも対応可能となりました。また、学生の心身のケアを行う、保健管理センターも学生支援窓口のすぐ近くに設けられています。



プレゼンテーションギャラリー

1階にはプレゼンテーションギャラリーと呼ぶエントランスホールがあります。ラウンジや情報コーナーが設けられ、さまざまな情報や人が集まる場所となります。



新しい教室

各階には、多目的教室や300人教室など大小さまざまな教室が新たに設けられています。また、キャンパスのある横浜市金沢区の区花「牡丹」から命名した、交流ホール「ピオニーホール」を設置。多種多様な教育・学習に対応し、公開講座など地域開放にも活用されます。

アドミッションズセンターも YCUスクエアの中にあります

入学試験やオープンキャンパスなどの情報を提供するアドミッションズセンターも、YCUスクエアの2階にあります。受験生の皆さんへの窓口としてご質問やお問い合わせに幅広くお答えしますので、お気軽にお立ち寄りください。キャンパス見学の受付もしています。

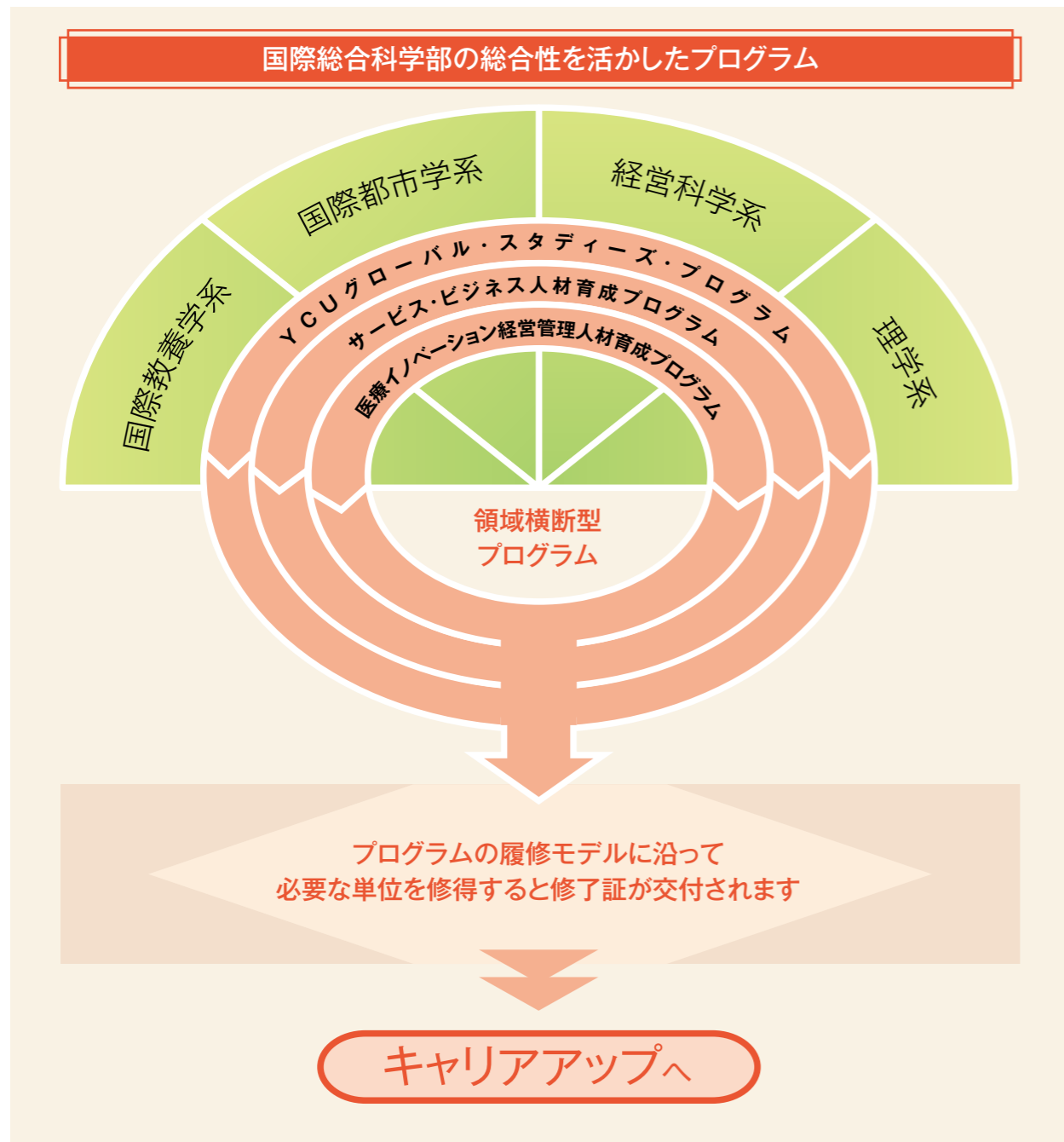


◆ 領域横断型の新しい人材育成プログラム始動

国際総合科学部生は、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、そして理学系の4学系に分かれて専門性を究めています。専門性を究めるということは、ともすると視野が狭まってしまうという側面があります。そこで、本学部の総合性を活かし、広範な視野を備え、体系だった知識を身に付けた人材を育成するための領域横断型プログラムが設けられています。

平成28年度から、

- ① YCUグローバル・スタディーズ・プログラム、
 - ② サービス・ビジネス人材育成プログラム、
 - ③ 医療イノベーション経営管理人材育成プログラム
- の3プログラムが新たに開設されています。



◎ YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

YCUグローバル・スタディーズ・プログラムは、英語のみで行われる授業によって構成されており、16単位以上の修得により「グローバル・スタディーズ修了証書」が交付されます。このプログラムの修了をバネに、海外留学や海外でのキャリア形成に挑戦してほしいと思います。なお、YCUグローバル・スタディーズ・プログラムには、グローバルなキャリア形成を目指す「Global Career」、経済・経営を中心に学ぶ「Business Administration」、日本やアジアの文化や社会を学ぶ「Japan Studies」の3つの履修モデルが設けられています。



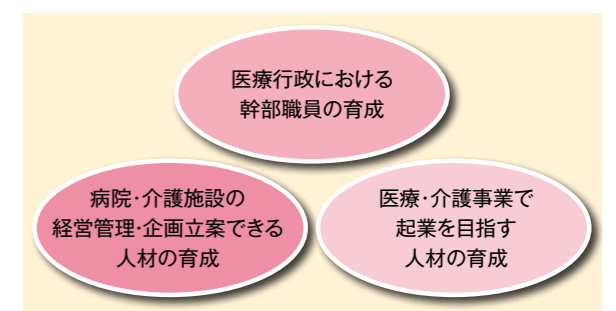
◎ サービス・ビジネス人材育成プログラム

サービス・ビジネス人材育成プログラムは、経済のサービス化が進展する先進諸国において、これまで手薄だったサービス・ビジネス人材を育成することを目的に開設されたプログラムです。ここで言うサービス・ビジネス人材とは、従来のようにモノとサービスを分けて考えるのではなく、顧客などのサービスの提供を受ける人に、いかに価値を提供できるかを構想できる人材のことです。このプログラムでは、マーケティングの基本的知識を備え、消費者の視点で流通戦略を構想できる「流通分野におけるサービス・ビジネス人材」、国や地方自治体の基本的知識を備え、行政の効率化や産業育成を構想できる「行政分野におけるサービス・ビジネス人材」、そして金融・証券・会計に関する基本的知識を備え、新たな金融サービスを構想できる「金融分野におけるサービス・ビジネス人材」を育成するための3つの履修モデルが用意されています。これらの履修モデルに基づいて、16単位以上の単位修得により、プログラムの修了証が交付されます。



◎ 医療イノベーション経営管理人材育成プログラム

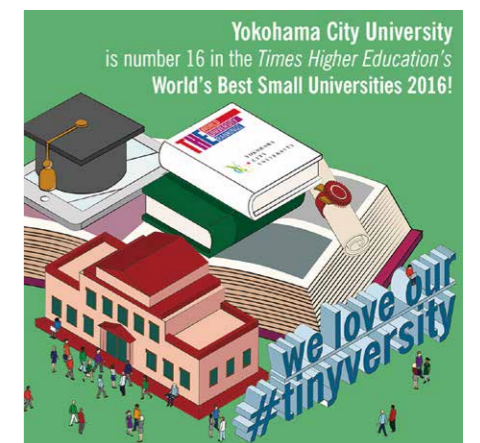
近年、医療機関や介護事業でのイノベーション(革新)が求められています。このプログラムでは、日本の医療・介護分野を支える医療経営の専門人材を育成することを目的としています。医学部を抱え、また横浜市との密接なつながりのあるYCUだからこそ実現したプログラムでもあります。このプログラムでは、①医療行政における幹部職員の育成、②病院や介護施設の経営管理・戦略立案を行える人材の育成、③医療・介護事業での起業を目指す人材の育成という3つの履修モデルが用意されています。それぞれ22~24単位の修得により、修了証が交付されます。



◆ 学生数5,000人未満の世界大学ランキングで、世界16位、日本2位に!

イギリス教育専門誌「TIMES HIGHER EDUCATION」が発表(現地2016年1月25日)した「学生数が5,000人未満の世界大学ランキング(The world's best small universities 2016)」で、YCUが世界16位となりました。日本では2位、文系を含む総合大学としては1位となります。

評価の対象は、2015年10月に発表された「THE世界大学ランキング」に入っている大学の中から、学生数が5,000人未満で、同ランキングの6分野のうち4分野以上を有する大学です。



◆ Practical English



最低達成条件は、TOEFL-ITP500点相当。

厳しい点数に見えるかもしれませんが、これはスタート地点にすぎません。

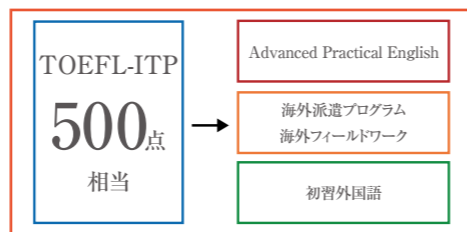
90%以上の学生が、条件をクリアして次のステップへと進んでいきます。

YCUには、Advanced Practical Englishをはじめ、

身に付けた英語力をさらに伸ばし、

活用するさまざまなプログラムが用意されています。

皆さんの積極的なチャレンジを期待しています。



Carl McGary, Ed.D.

◆ Director of the Practical English Center



MESSAGE FROM DIRECTOR OF THE PE CENTER

What is your purpose for learning English? It seems like everyone in Japan tries to learn English. But very few Japanese people become good at using English. I think that part of the problem is that most people do not have a clear purpose for studying English. At Yokohama City University the students have a very good purpose. English is a second working language at this university. The students here need to be able to use English in order to complete their studies. The Practical English Center supports the students at YCU as they fight to learn English. All of the teachers are English teaching professionals. Because they are professionals they know how best to teach and they care a great deal about their students. There is no doubt in my mind that with these teachers helping any student who is willing to work hard can learn to use college level English. The students at YCU have the three things necessary to succeed not just at learning English, but succeed at life. Those things are PURPOSE, WILL TO WORK, and HELP. Come join us!

詳細は ⇒P.18

◆ ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム



VALENCIA COLLEGE

米国フロリダ州オーランド市にあるバレンシアカレッジおよびディズニー社講師によるビジネス関連科目を履修しながら同市のディズニーワールドでインターンシップ実習を行う約5か月の留学プログラム。世界中から集まる学生と共に学び、暮らし、働くことを通じ、グローバル人材に必要な知識、スキルおよびマインドを身に付けます。



プログラム参加のメリット

●最先端のビジネスが学べる

全米トップ企業でのインターンシップ体験&マネジメントを学ぶ！

●世界中に人脉ができる

ディズニーの学生寮で多国籍の仲間と共同生活！

●英語力が磨ける

インターンシップ実習も寮生活もすべて英語！

●留学費用負担が軽い

有給インターンシップのため、現地での滞在費の一部がカバーできる！



青山 美璃 (あおやま みり)

国際総合科学部 グローバル協力コース 3年
神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校卒業

■実習配属先:
Lifeguard at Disney's Polynesian Village Resort and Disney's Grand Floridian Resort and Spa / Quick service (food and beverage) at Disney's Wilderness Lodge
■実習期間:
2015年8月~2016年1月



インターンシップ実習、学生寮での生活、
現地大学での授業—どれも貴重な体験でした。

もともと大学在学中の留学を考えていましたが、海外で学ぶ、働く、住むという3つが同時にできるこのプログラムと出会い、その魅力に惹かれ参加を決めました。ディズニーワールドでは、ライフガードとして働き始めましたが、その仕事に満足できずディズニー側と話をし役割替えを行い、後半の約2カ月はリゾートホテルのレストランで働きました。最初は現地の英語についていけず大変な時もありましたが、常に笑顔と積極的な姿勢を心掛けるうちに、だんだんとゲストや他のキャストメンバーとも交流できるようになり、忙しいながらもとても楽しい時間を過ごすことができました。寮生活では、アメリカ人のルームメイトと生活する中で異文化というものを目の当たりにし、異文化理解の難しさと大切さを知るとともに、しっかりと自分の意見を持つことの大切さを感じました。バレンシアカレッジでの授業も日本とは全く違う手法でさまざまなことを学び、デンマークからのプログラム参加生とも交流を深めることができ、とても貴重な体験でした。このプログラムに参加し、実際に現地に行ってきたさまざまな人、ものに触れることの大切さを学ぶことができました。この経験を将来に活かしていきたいと思っています。



詳細は
⇒HPで



社会に求められる力。



教員メッセージ

知的体力の基礎を築く教養教育

激動の時代を生き抜くのに必要な力とは、適切に問題を把握する力とその問題を適切に解決する力です。問題を把握し解決するためには他者への情報発信、他者との交渉も必要です。そのためには情報コミュニケーション力も欠かせません。YCUの共通教養では、このような能力を養うプログラムを用意しています。問題発見から試行錯誤を重ねて問題解決に至るプロセスを積み重ねることで、知的体力をつけていきましょう。そうして、専門の勉強にスムーズに移行できる基礎を築きます。

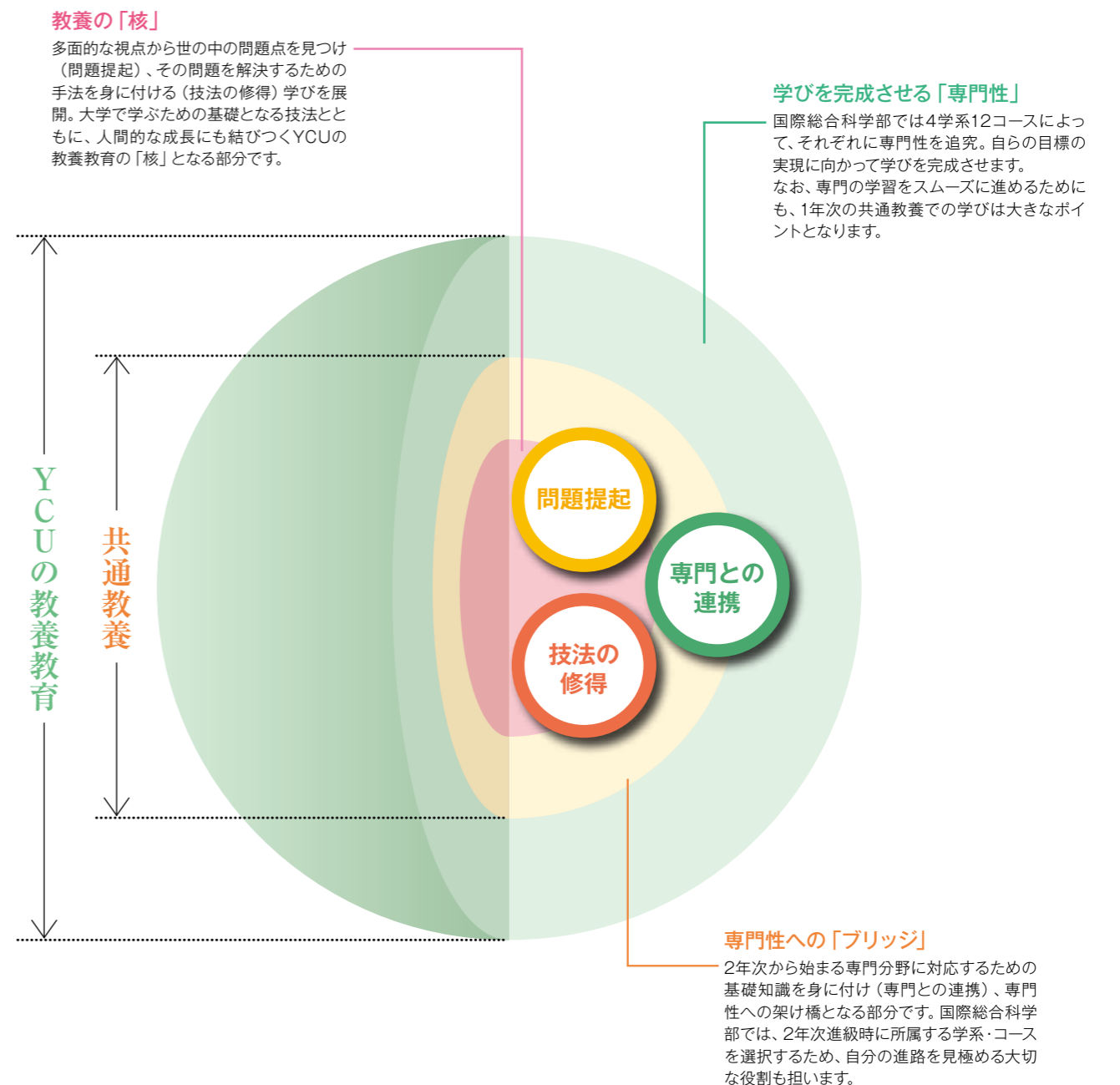
共通教養長 教授 佐藤 響子 (さとう きょうこ) ■コミュニケーション論



自ら問題を発見し、解決する。

共通教養は、YCUが目指す教養教育の土台であり、教養ゼミや総合講義、実践科目などを通じて、全学生の「自ら問題を発見して解決する力」を育てていくことを目標としています。高等学校までの学習では、正しいことが分かっている知識をいかに理解・吸収・応用できるかということに主眼が置かれていますが、実際の社会では、そもそも「何が問題なのか」を発見する力が求められます。また、発見した問題やそこから得た知識・情報は常に正しいとは限りません。

問題の解決には、情報の質を見極め、主体的に選別する能力や技術が必要になり、ときには高い専門性が求められる場面もあります。このような社会のニーズ・背景を踏まえ、YCUの共通教養科目は、「問題提起科目」「技法の修得科目」「専門との連携科目」という大きく3つの科目群で構成されています。全学部の学生は、入学後1年次よりこれらの科目群を通して学ぶ姿勢を身に付け、さらには問題発見・課題解決の力を修得していきます。



共通教養科目一覧

★:必修科目

問題提起科目群

● **総合講義** P.19へ 特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。

- ・芸術の世界
- ・文学の世界
- ・現代社会とジェンダー
- ・横浜学事始
- ・国際関係論
- ・環境論入門
- ・まちづくり学入門
- ・横浜と産業
- ・横浜から世界へ
- ・連携特別講座「国際協力事業」
- ・企業家に学ぶ
- ・企業と会計
- ・グローバルゼーションと経済
- ・科学技術の創成
- ・生命科学と環境
- ・自然災害とリスクマネジメント
- ・医療と社会
- ・教養のための医学
- ・Education in the World
- ・多文化社会を考える

● **多文化交流ゼミ** P.18へ Practical English合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現することを学びます。

- ・現代アジア・太平洋地域事情
- ・横浜のなかにある外国人コミュニティ
- ・外国人の日本研究
- ・世界で報道される日本
- ・Comparing Education in the World
- ・Japan from Foreigners' View
- ・Global Communications

● **実践科目** 実践することで、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。

- ・キャリア形成実習 P.19へ
- ・キャリアデザイン
- ・インターシップ
- ・福祉施設実習
- ・環境保全農業実習
- ・健康スポーツ実習
- ・春期・秋期スポーツ種目
- ・ライフ・セービング実習
- ・ウエルネスライフ実習
- ・自然体験実習
- ・アクティブプランニング実習
- ・海外研修

技法の修得科目群

●ゼミ

- ★教養ゼミ P.19へ
- ★基礎ゼミ(国際総合科学部のみ必修)

●語学

- ★Practical English P.18へ
- ・Advanced Practical English I~V P.18へ
- ・Essential Practical English
- ・看護英語

● **初習外国語** P.18へ Practical English合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。

- ・中国語教養基礎 I・II
- ・中国語教養実践 A~C
- ・中国語中級
- ・韓国・朝鮮語教養基礎 I・II
- ・韓国・朝鮮語教養実践 A~C
- ・韓国・朝鮮語中級
- ・ドイツ語中級
- ・フランス語教養基礎 I・II
- ・フランス語教養実践
- ・スペイン語中級
- ・スペイン語教養基礎 I・II
- ・スペイン語教養実践
- ・スペイン語中級
- ・日本語 I・II (留学生・帰国生対象)
- ・特別講座 (入門日本語 I・II) (留学生・帰国生対象)
- ・日本事情 I・II

● **情報コミュニケーション** P.19へ

- ★情報コミュニケーション入門
- ・プログラミング基礎
- ・マルチメディア表現基礎
- ・情報検索基礎
- ・データ分析基礎

専門との連携科目群

● **基礎科学講義** P.19へ

- ・歴史学入門
- ・社会学入門
- ・地理学入門
- ・心理学入門
- ・文化研究入門
- ・思想研究入門
- ・文学研究入門
- ・政治学入門
- ・行政学入門
- ・国際社会論入門
- ・経済学入門 I・II
- ・簿記入門 I・II
- ・経営学入門 I・II
- ・法学入門
- ・民法入門
- ・社会統計学 I・II
- ・社会システム入門
- ・微分と積分
- ・微分と積分演習
- ・行列とベクトル
- ・行列とベクトル演習
- ・力と運動
- ・力と運動演習
- ・電気と磁気
- ・電気と磁気演習
- ・化学結合と構造
- ・環境の基礎化学
- ・生命の機能
- ・自然科学基礎実験 A~C
- ・統計と確率
- ・リメディアル講座
- ・基礎物理学
- ・基礎生物学
- ・医学科基礎物理学
- ・生物学入門
- ・グレートブックスセミナー
- ・英米文化理解 A・B
- ・課題探究科目
- ・現代人の哲学
- ・歴史から今を知る
- ・芸術作品を読む
- ・地域事情
- ・現代社会の見方
- ・多文化社会の将来
- ・企業の経済学
- ・ライフサイクルの経済学
- ・社会調査法入門
- ・生命科学のフロンティア
- ・科学技術行政
- ・からだのしくみ
- ・健康スポーツ科学
- ・特許関係法
- ・知的財産管理
- ・危機管理論
- ・Japanese Globalization in Comparative Context
- ・Japan Studies
- ・心を科学する
- ・Introduction to Psychology
- ・Topics in Modern Psychopathology
- ・日本史の方法
- ・世界史の方法
- ・倫理学
- ・英語学 A・B
- ・英米文学 A・B
- ・日本語 I・II (留学生・帰国生対象)
- ・English Grammar for Higher Education
- ・日本国憲法
- ・反応の化学
- ・生体分子と細胞
- ・遺伝と進化
- ・科学史
- ・病気を科学する

学生の声

共通教養科目は、私の興味・関心を広げ、その後の学習の基盤となりました。

1年次の必修科目である共通教養科目のひとつ「教養ゼミ」では、個人・グループそれぞれでパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行ったり、論文を書く機会がありました。1年次の早い段階から、効果的なプレゼンテーションの方法や論文作成の手順や形式を学ぶことができたので、その後に受講した「Advanced Practical English」や「多文化交流ゼミ」など多くの授業で、この「教養ゼミ」で学んだことを活用できたと感じています。YCUの共通教養科目では、このような基礎的な知識をはじめとし、枠にとらわれない幅広い学習ができることに加え、他の学生の多様な考えに触れる機会も多く設けられています。自分の価値観を見つめ直し、自己のさらなる発展を目指すには最高の環境であるといえます。

松村 涼 (まつむらりょう)

国際総合科学部 社会関係論コース 2年
神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒



学生の声

共通教養で幅広い視野、プレゼン能力、論文作成能力が身に付けられました。

1年次の授業の大きな特徴として、前期に教養ゼミがあります。この授業では、他学部の学生たちと一緒に発表を行ったり、論文を作成したりします。この授業で育てることのできるプレゼン能力、論文作成能力は将来的に非常に役立つものだと思います。そして何より、他学部の学生たちの発表を聞くことは、自分の視野を広げてくれました。また、私は、1年の間に知的好奇心を向上させることを目標としていて、1年次に用意されていた多くの教養科目は、私の知的好奇心を大いに高めてくれました。1年次に学習してきたことを土台として、一つの分野にとどまらずに多くの知識を吸収して、将来は深い教養と広い視野を持った医師になれるよう努力していこうと考えています。

富谷 蒼 (とみや さら)

医学部 医学科 2年
東京都 国立東京学芸大学附属高等学校卒

TOPICS

1年次での科目選択

国際総合科学部では、2年次にそれぞれのコースに配属されるため、必要な科目が設定されています。入学した学系以外の学系に進級するためにも、これらの科目の履修が必要となります。

●学系およびコースへの配属条件科目

国際教養学系	歴史学入門 社会学入門 心理学入門 文化研究入門	思想研究入門 文学研究入門 国際社会論入門 倫理学	日本国憲法 課題探究科目(歴史から今を知る) 課題探究科目(健康スポーツ科学)	左記から 3科目6単位以上	
国際都市学系	歴史学入門 社会学入門 地理学入門 政治学入門	行政学入門 国際社会論入門 経済学入門I-II 経営学入門I-II	法学入門 社会統計学I-II 社会システム入門	左記から 3科目6単位以上	
経営科学系	経済学入門I-II 簿記入門I-II 経営学入門I-II	法学入門 民法入門 社会統計学I-II	社会システム入門	左記から 3科目6単位以上	
理学系	【物理】 力と運動 力と運動演習 電気と磁気 電気と磁気演習 自然科学基礎実験A(物理学)	【化学】 化学結合と構造 環境の基礎化学 反応の化学 自然科学基礎実験B(化学)	【生物】 生体分子と細胞 遺伝と進化 生命の機能 自然科学基礎実験C(生物学)	【数学】 微分と積分 微分と積分演習 行列とベクトル 行列とベクトル演習 統計と確率	左記の物理、化学、生物、数学の4分野のうち2分野以上から6単位以上

問題提起

教養教育を支える3つの柱

技法の修得

専門との連携

技法の修得 Practical English

国際水準の英語によるコミュニケーション能力を身に付ける

Practical Englishの目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つことにあります。授業は、4つの基本的なスキル(読む・書く・話す・聞く)を使いながらすべて英語で進められ、英語を使うこと、英語で考えること、英語で学ぶことを修得します。到達度を客観的な基準(TOEFL-ITP)で測り、500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の取得には、授業への8割以上の出席も求められます。授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリングなどをはじめ、さまざまな学生のサポートはPractical English Centerが行います。



技法の修得 Advanced Practical English

PEクリアは、ゴールではなくスタート

Practical Englishで到達したTOEFL-ITP 500点という水準は、あくまでもスタート地点です。Advanced Practical Englishでは、このスタート地点に立った学生が、留学や国際協力といったさまざまな活動を本格的に行うことができる力を身に付けられるよう、レベル別、目的別のクラスを用意しています。また、YCUで提供している学生海外派遣プログラムとも連携し、TOEFL-iBTの受験や、英語圏の大学学部レベルの授業に必要なスキルの養成にも対応。英語を使って世界に羽ばたく学生をサポートします。

技法の修得 初習外国語

母語 + 英語 + もうひとつの外国語

英語の授業に加えて、外国語の授業を中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択して履修することができます。グローバル化がますます進展するこれからの社会。複数の外国語・文化に習熟することは、言語・文化の複雑化するさまざまな文脈のなかで自分を活かす力=生きる力を形づくることです。第1段階として、週3回の授業に積極的に取り組み、生活上の基礎的な運用能力を身に付けることが可能です。続く第2段階では、それぞれの専門領域における社会活動や学術研究活動での実践的な受信・発信能力を養成します。海外の大学へ留学できる道も開かれています。

問題提起 多文化交流ゼミ

グローバル人材、はじめの一步

Practical EnglishとAdvanced Practical Englishで培った英語力を生かす場としての多文化交流ゼミ。使用言語はすべて英語。ゲストスピーカーによる講義、グループでテーマに沿ったリサーチ、プレゼンテーション、クラスディスカッションの流れを繰り返しながら、大学レベルでの実践的英語力を身に付けると同時に、広い視野に立った思考力と発信力を養います。



学生の声

若林 由佳

(わかばやし ゆか)
国際総合科学部
人間科学コース 2年
神奈川県立
横浜翠嵐高等学校卒



英語が自分の考えを表現するツールに。

Advanced Practical Englishの授業は、YCUの特徴でもある少人数制授業で、ネイティブの先生やクラスの学生との会話の中で、新しい発見や知識面での気づきだけでなく、授業で扱われるテーマに関して多くの問題意識を得られる場でした。私は、Advanced Practical Englishの5つのクラスのうち2つを履修していました。レポートやプレゼンテーションの技術を英語で学ぶクラスと、ライティングの文章構成の学習に重きを置いたクラスで、特に原稿や発表の構成は、考える段階から英語を使うので、頭で翻訳する工程を省く良い訓練になりました。国際的な場で活用できるスキルとして役立つと同時に、スムーズな情報交換によって広がる視野に喜びを感じ、どんどん知的好奇心も湧いてきました。

技法の修得 教養ゼミ

徹底的に「考える力」を体得する

教養ゼミの目的は、学生の皆さんに「考えをカタチにする力」を身に付けてもらうこと。なぜなら、受け身の勉強が中心だった高等学校とは異なり、大学では自らの疑問から「問い」を設定し、それを考察・研究していくことが求められるからです。そのためにも、さまざまな考え方があり、ひとつの事柄についてもいろいろな角度から捉えられることを理解してもらいます。そして、信頼性のあるデータを集め、専門的な知識に基づいて核心に迫り、自分の考えを発表する力を育成します。教養ゼミでは少人数制教育のもと、専門の異なる教員2名と学部の異なる学生でクラスを形成し、さまざまな分野の議論を自由に、そして活発に交わることができる環境を整えています。



技法の修得 情報コミュニケーション

情報処理を基礎からしっかり学ぶ

まず、コンピュータや情報ネットワークの用途や動作原理などの基礎的知識、主要なアプリケーションソフトウェア(Webブラウザ・電子メール・Word・Excelなど)の機能を学習します。そのうえで、実践的な課題をこなし、学生生活に必要な基本的スキルを身に付けます。入門科目は習熟度別に「補習型クラス」「標準型クラス」「認定型クラス」の3つのグループに分かれるため、自分のレベルに合った学習が可能です。

専門との連携 基礎科学講義

知識を学問に変える準備

基礎科学講義の大きな柱は2つ。その分野を勉強するために必要な基本概念の習得を目指す入門科目と事象を主体的かつ批判的に分析する思考方法を身に付ける課題探求科目です。さらには、実験を通じて自然科学の基礎を習得する科目、高等学校での知識を補うリメディアル講座も用意されています。これらは共通教養の科目なので、所属する学系やコースにかかわらず、自分の問題意識にあったものを自由に履修することができます。



問題提起 総合講義

自らの興味・関心を発見する

特定のテーマについてさまざまな講師を招き、講義してもらいます。そのなかで、まず世の中に現在どのような問題があるのかを理解します。そして、今までの枠組みにとらわれることなく、多様な視点で物事を考える力を養います。講義の中で得た驚きや発見は、新たな関心や興味を呼び起こし、問題意識のアンテナを広げることにつながるでしょう。

問題提起 キャリア形成実習

キャリア教育のスタート

これから先の人生(キャリア)をスタートする準備を行うのがキャリア形成実習です。インターンシップでは、自分の将来のキャリアと照らし合わせ、実際に就業体験を行うことで、進路についての理解を深めます。国内に限らず、海外でのインターンシップも推進しています。また、インターンシップに参加、報告を行うことで、卒業単位として認定されます。





YCUで学ぶ中国、韓国、オーストリア、イタリアからの交換留学生

Practical English クリア ↓ 世界へ踏み出す第一歩

短期・長期海外留学プログラム

P.22へ

Practical English等で培った語学力を実践の場で活かしつつ、海外経験を通じてグローバルな視野を養います。期間や渡航先、言語などから自分にあったプログラムを探し、積極的に参加してください。



海外フィールドワーク

P.23へ

海外フィールドワーク支援プログラムは、国際的な視野を持った人材を育成するため、海外大学との交流や現地企業へのヒアリングなど海外での実践的な教育研究活動を支援するプログラムです。海外における教育研究活動に対して経済支援を行うことにより、学生の国際理解の向上を図ることを目的としています。



海外で実践するプログラム

P.24へ

世界各国でボランティア活動やインターンシップ実習を行います。多国籍の人々と実習に取り組むことで、多様な文化や価値観に触れ、向上心・自立心・積極性・柔軟性・責任感を育みます。



◎海外派遣体験レポート

留学を通して、「新しい自分」に出会えました。

YCUの交換留学プログラムを利用して、タイのタマサート大学に1年間留学しました。留学中は経済学部所属し、タイに関する授業を中心に、タイ人や他国の留学生とともに英語で授業を受講していました。もともと恥ずかしがり屋で、人間関係がうまく築けるか不安でしたが、「一度きりの留学で後悔したくない」と思い、現地では自ら積極的に話かけることを心がけました。留学期間が終わるころには、自然とコミュニケーションが取れるようになっていました。留学前では考えられなかった姿に、自分自身でも驚いています。文化の異なる人々とのコミュニケーションは容易でないこともありますが、経験を通して自らが成長できるというのが留学の醍醐味だと思います。

豆田 明莉沙 (まめだ ありさ)

国際総合科学部 経営学コース 3年
千葉県立千葉東高等学校卒

■留学までのステップ(豆田さんの場合)

1年次 Practical English合格	国際ボランティア参加	2年次 交換留学参加
----------------------------	------------	---------------

■費用のめやす(全て寮費・食費を含み、大学からの補助金等を差し引いた概算額)
短期(4週間程度): 欧米45万円～、アジア15万円～
交換(1年): 欧米110万円～、アジア50万円～(本学授業料負担、派遣先授業料免除)
派遣(半年): 欧米170万円～、アジア30万円～(留学期間中の本学授業料は免除)
派遣(1年): 欧米350万円～(留学期間中の本学授業料は免除)
※レートの変動によって費用は変わってきます。



◎ TOPICS

日本の中でもグローバル! YCU × 国際都市横浜

外国人留学生との交流や英語による講演会をはじめ、学内外でグローバル経験を積めるさまざまな取り組みを展開しています。

YCU サイエンス・サマープログラム

海外協定校などから推薦された学生を奨学生として受け入れ、すべて英語で行われる夏季集中講座です。YCUの学生も参加し、海外学生の生活面もバックアップします。



2007年から開催し、第7回目を迎えた2015年は、「国境を越えた、持続可能性とイノベーション」をテーマに国際マネジメント研究科で開催しました。2016年以降も、さまざまな分野からテーマを設定し、講義、実習、見学、グループスタディをはじめとした多彩なプログラムを展開していきます。

大倉山記念館 国際学生フォーラム

ハーバード大学と横浜市内3大学の学生が大倉山記念館に集まり、日本文化の体験を通じて相互理解を深める「大倉山国際学生フォーラム横浜」にYCU学生が毎年参加しています。日本文化について英語で紹介したり、テーマに沿ったディスカッションを行う等、国内で体験できる貴重な国際交流イベントとなっています。



- テーマ・内容
アートワークや茶道体験
アニメのアレコ体験
扇子作り等

YCUで開催された英語による講演会

毎年各国の大使をはじめとしたゲストをお招きし、英語による講演会を開催しています。会場には多くの学生が詰め掛け、各国の文化や考え、経済状況などの理解を深めるとともに、ディスカッションなどを通じて英語によるコミュニケーション能力を発揮しています。

これまでお招きしたVIPの方々と講演テーマ

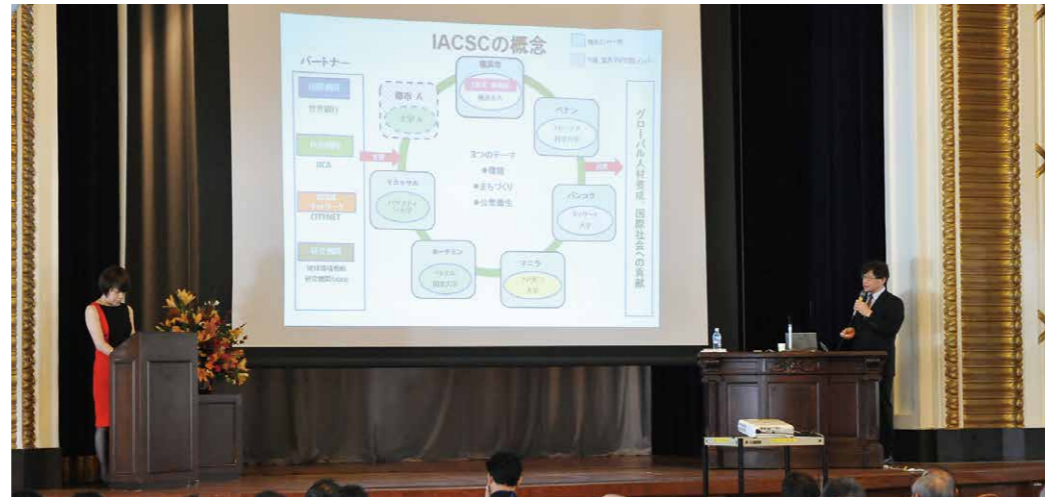
 2010年 ルース駐日米国大使 「日米同盟50周年を迎えた両国の関係」	 2010年 スールAPEC事務局長 「APECの可能性と課題」
 2011年 ペトロネ駐日イタリア大使 「イタリアの経済情勢と日本との関係」	 2012年 シュタンツェル駐日ドイツ大使 「ドイツのエネルギーシフト—その成否」
 2013年 アケチ=オクロ駐日ウガンダ大使 「アフリカの真珠ウガンダ—ウガンダの政治・経済・ビジネス・観光等とこれからの日本との関係」	 2014年 グリシッチ駐日セルビア大使 「国際関係におけるセルビア」
 2015年 クラグストン駐日カナダ大使 「カナダにおける多文化主義と移民政策」	もっと!YCUのグローバル化への取り組み 詳細は ⇒HPで

◎アカデミックコンソーシアム 地球レベルの問題をあなたが解決する

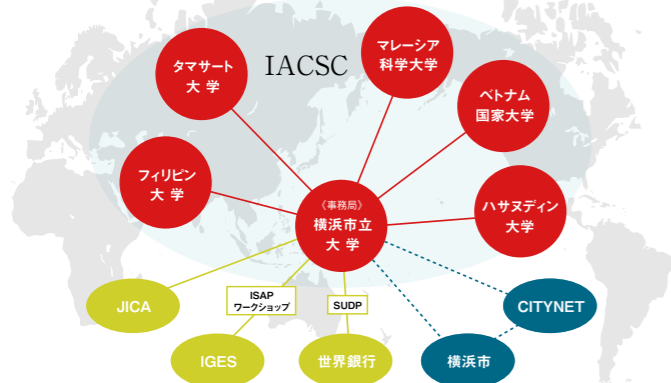
アカデミックコンソーシアムとは?

YCUでは、主にアジアの都市と都市にある大学、世界銀行やJICAをはじめとした国際機関等と協働し、都市の課題解決をめざす大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム(IACSC※1)」を2009年度より推進しています。IACSCの活動では、「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3ユニットを中核に据え、国際シンポジウムの開催・運営、持続可能な都市づくり共通教育プログラム(SUDP)の実施、研究者・学生交流を中心に展開しています。グローバル都市協力研究センター(GCI※2)は、IACSCの活動を推進し、大学や都市間連携の強化、国際社会で指導的役割を果たせる「グローバル人材育成」を目的に設立されました。YCU学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地調査にかかわることで国際的な思考力と理解力、行動力や交渉力を身に付けることができます。GCIでは、学生が国内や海外のフィールドへ出て、各都市が抱える現状と課題に向き合い、知識と経験を得て実践的に活動できるグローバル人材の育成を支援していきます。

※1 International Academic Consortium for Sustainable Cities
※2 Global Cooperation Institute for Sustainable Cities



【アカデミックコンソーシアム(IACSC)概略】



- 【主な参加大学・機関等】 *総会・国際シンポジウム開催校
- マレーシア科学大学*
 - タマサート大学(タイ)*
 - フィリピン大学*
 - ベトナム国家大学*
 - ハサヌディン大学(インドネシア)*
 - 上海交通大学
 - 大阪市立大学
 - 名古屋市立大学
 - 世界銀行
 - 独立行政法人国際協力機構(JICA)
 - 横浜市
 - 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
 - アジア太平洋都市間協力ネットワーク(CITYNET)

アカデミックコンソーシアム総会・国際シンポジウム開催

アカデミックコンソーシアムでは、参加大学間でローテーションしながら、年に一度の総会および国際シンポジウムを開催しています。「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の各ユニットは、国際シンポジウムのセッションにおいて、それぞれの分野から持続可能な都市の在り方を探り、議論を重ねています。また国際学生ワークショップ、学生フィールドワークを通じた学生交流、優秀な留学生の受入等、参加大学との交流を進めており2012年にタイのタマサート大学、2013年にフィリピン大学とMOU(覚書)を締結しました(マレーシア科学大学、ベトナム国家大学とはそれぞれ2007年、2009年に締結)。第6回(2015年)の総会・国際シンポジウムは、コンソーシアム発足の地である横浜で再び開催され、「持続可能な都市のための地球的連携と地域からの発信」をテーマに、都市の課題解決に向けたYCUおよびコンソーシアムの取り組みを多くの市民にも発信しました。

学生がアカデミックコンソーシアムへ参加



アカデミックコンソーシアム国際シンポジウムの開催国で同時期に学生フィールドワーク、国際学生ワークショップを実施し、その成果をポスターセッションで発表しています。また、国際シンポジウムにも出席し、積極的に研究者に質問する等、国際会議を体感しています。

国際会議参加レポート

多面的に考える力がつきました。

看護学科で始まったばかりの海外フィールドワーク。「いつか海外の医療に触れてみたい」と思っていた私は、迷わず参加を決めました。アカデミックコンソーシアムを前に訪れたフィリピンでは、現地の学生と医療や看護について議論を交わしましたが、求められる医療者像の違いなどを知ることができ、興味深い議論になりました。また、WHOで働くYCUの先輩からも話を伺うことができました。国際的な問題に対して医療の視点から解説していただいたり、学生生活へのアドバイスをいただいたり貴重な経験ができました。この海外フィールドワーク、アカデミックコンソーシアムでの発表を通して多面的に物事を考えることができるようになったと感じます。今後は、海外でも活躍できる看護師を目指し実習や授業に励みたいと思います。

学生の声



脇山 瑠子 (わきやま るこ)
医学部 看護学科3年
東京都私立学習院女子高等科卒
●2015年8月にフィリピンでの学生フィールドワークに参加し、9月のアカデミックコンソーシアム国際学生フォーラムで成果を発表

⇒P.62

◎国際ボランティア、海外インターンシップ、ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム

夏季・春季休業期間中の数週間、世界各国でボランティア活動やインターンシップ実習を体験します。国際教育交換協議会(CIEE)が提供する国際ボランティア・プログラムは、世界約30か国、社会福祉や環境保護など多種多様なプロジェクトから希望するものを選択し、自ら渡航の手配・準備を行います。現地では多国籍の参加者と共同生活を送り、異文化理解を深めます。海外インターンシップでは、アメリカやオーストラリア、アジア圏などの現地の日系企業で、自分の専攻や将来のキャリアと関連した実習を行います。語学力を試し、現地の社員と交流しながらグローバル・ビジネスを体感することができます。さらに5か月間の長期のインターンシップとして、ビジネス関連科目を履修しながらディズニーワールドで実習を行う「ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム」もあります。



ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム ⇒P.13

国際ボランティア参加レポート

途上国の開発援助への興味がふくらみました。

訪れたのはベトナムのホーチミンにある幼稚園。世界各国からきたボランティアメンバーとともに、園児とアクティビティをしたり、簡単な英語教育を行ったりしました。行く前までは「会話くらいは何とかできるだろう」と思っていたのですが、メンバーとのコミュニケーションがなかなかうまくいかず、最初の数日は正直辛かったです。でも積極的に話しかけることで、徐々にコミュニケーションがとれるようになりました。「英語が話せる」ことは武器ではなく、世界へ出る際の必須のスキルなんだと実感。また、途上国への開発援助に対する興味もさらに強まり、将来のビジョンを考える貴重な経験となりました。

山形 喜也 (やまがた よしや)

国際総合科学部 グローバル協力コース 2年
北海道釧路湖陵高等学校卒
●参加したプログラム：国際ボランティア(ベトナム)



学生の声

海外インターンシップ体験レポート

具体的な将来像を考えるきっかけになりました。

海外の語学学校でのインターンシップに参加したのは、「将来海外で働いてみたい」「何か海外との関わりを持ちたい」との思いから。午前中は学生として学び、午後はインターンとして働く中で、コミュニケーションを重ねるたびに語学ができることの重要性を感じ、同時に、言葉が拙くても伝えようとする気持ちの強さもまた重要であると感じました。また、一緒に働くインターン仲間が、真剣に韓国での就職を考える姿に刺激を受け、自分の具体的なキャリアについて考えるきっかけにもなりました。海外で働きたい方にはもちろん、留学は経済的に難しいと考えている方にも、インターンシップはとても良い機会だと思うのでぜひ活用してみてください。

原 萌美 (はら めぐみ)

国際総合科学部 生命環境コース 3年
神奈川県私立桐蔭学園高等学校卒
●インターンシップ先：ベストフレンド韓国語文化交流センター



学生の声

ヨコハマをフィールドに、地域とともに育つ。

YCUは、地域社会が抱える課題を発掘し、学生と教員が地域の人々と一緒に解決することで、地域に貢献し、課題解決力のある人材を育成することに取り組んでいます。学生は、さまざまな活動を実践することで、将来に役立つコミュニケーション力や実行力を身に付けていきます。

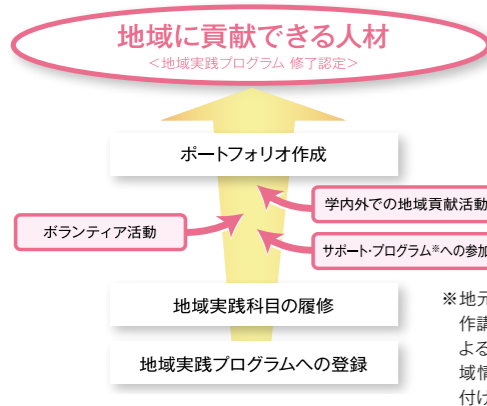
地域に貢献できる人材を育成

■地域志向科目

地域の課題を発見し解決策を考える等、地域に関連する科目「地域志向科目」を全学生が1科目以上履修することが義務付けられています。

■地域実践プログラム

国際総合科学部の「地域実践プログラム」は、学生自身が目標を設定し、履修計画を立て、学習した成果をまとめたポートフォリオに対して、修了認定がなされる仕組みです。国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、理学系それぞれに設定された「基礎」「応用」「インターンシップ」科目を履修し、「主体的」「実践的」な課題解決手法を身に付けることができます。プログラム登録に先立ち、説明会、個別の履修相談などを用意し、学生の取り組みをサポートしています。



※地元TV局スタッフ等による「映像制作講座」、プロの記者やデザイナーによる「広報スキル基礎講座」など地域情報を自ら発信するスキルを身に付けるプログラムを用意しています。

■アクティブ・ラーニング推進プログラム

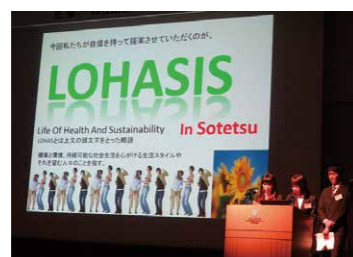
ディスカッション、グループワーク、フィールドワークなどアクティブ・ラーニングを通して、学生が課題発見・解決能力を身に付ける取り組みを推進し、地域をフィールドに学生が学びを広げることができるようサポートしています。

地域の課題解決を教育の中で —ゼミ活動の中での取り組み

◎神奈川産学チャレンジプログラム

神奈川県内の大学と社団法人神奈川経済同友会に加盟する企業が共同し、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペで、YCUでは毎年多くのチームが入賞しています。

平成27年度は、16チームがレポートを提出し、3チームが最優秀賞、3チームが優秀賞を受賞しました(20大学236チームが参加)。表彰式では、最優秀賞の中山ゼミ大西チームが代表プレゼンテーションを行いました。



◎外国につながりを持つ生徒の教育支援

国際教養学系国際文化コース坪谷ゼミでは、NGO多文化活動連絡協議会、川崎市国際交流センターの協力の下、学生が外国につながる子どもへの学習支援を体験するインターンシップを行ったり、多文化が共生する地域でのフィールドワークを実施しました。これらの体験は更なる専門知識の定着・深化に結びついています。この事業は、アクティブ・ラーニング推進プログラムとして実施されたものです。



学生の声



横浜のまちの魅力を発信していきたい。

高校生のときに、エクステンション講座(※)で「まちづくり」を学び、専門家を取材する中で、自分が住んでいる横浜のまちづくりに興味を持ち、YCUに進学を決めました。入学後は、座学で知識を得るだけでなく、実習の場でまちづくりについて考えることができました。特に地域実践プログラムでは、「何を学んだか」、「どんな技術を身に付けたか」を明確にすることができるほか、映像制作などの情報発信スキルも修得。今後は、海外留学で英語の能力を磨き、インターンにも挑戦する予定です。

(※)エクステンション講座:YCU地域貢献センターが開講する市民向け生涯学習講座。対象は、小学生から一般までの幅広い層・ジャンルの講座を開講している。

多田 茜 (ただ あかね)

国際総合科学部 まちづくりコース 4年
神奈川県 私立捜真女学校高等学校卒業

学生の自主的な地域貢献活動

授業やゼミ活動だけでなく、さまざまな学生グループが地域に根ざした活動を行っていることもYCUの特色です。行政やNPO団体と連携し、地域の方々と一緒に取り組む活動が数多くあり、それらの活動を大学が支援しています。個人でボランティアや地域貢献活動に取り組みたい学生に対しても、相談対応や支援を行っています。

学生の自主的なボランティア活動

ボランティア支援室では、学生が安心してボランティアに取り組めるように、ボランティア情報の発信や、必要な知識が学べる講習会などを実施しながら、スタッフが窓口で学生のボランティアに関する相談に対応しています。現在、地域団体や公共施設などからの依頼や要請を受けて、多くの学生が、子どもたちの学習支援やイベントのお手伝い、世界トライアスロンや横浜マラソン等のボランティア活動に参加しています。また、学生スタッフや学生ボランティアと地域の課題を把握しながら、地域との交流を通じて、一緒に解決をめざす独自プログラムを企画・運営しています。

横浜マラソン2016でのボランティア活動



学生が取り組む地域貢献活動

YCUでは、自主的に地域貢献活動に取り組むゼミ・サークルなどの学生団体に対し、助成金などの支援を行う制度を平成23年度から実施しています。この助成金を得て、平成27年度は10団体が地域貢献活動に取り組みました。



金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動(金沢研究会)

地域との協働イベント、「瀬戸ルシェ」や「瀬戸あがり」の開催、地域のコミュニケーションの場「はちのば」でのワークショップなど、金沢区の魅力を伝える活動をしています。



地域情報と魅力発信によるまちへの関心向上と、アートを活かしたまちづくりの定着(まちづくりコース鈴木ゼミ)

初黄・日ノ出町地域に流れる大岡川でプロジェクションマッピングやワークショップを行い、その経過をWebラジオで発信して、まちの魅力を伝えていきます。



医学生・看護学生による「医療」教育(Yokohama Dream Catchers)

市民が医療を知る機会がないという現状打開のため、小・中学校で「医療機関の使い分け」や「熱中症」「鼻血」など身近なテーマで、「医療」に関する授業を行っています。



まちづくりデザインゲーム並木版の制作・活用を通じた地域活性化(中西ゼミ)

並木地区の住民集会などに参加しながら、まちへのアイデアを出し合うロールプレイングゲームの「並木版」を作る活動を行っています。

キャンパスタウン金沢 —横浜市金沢区での活動

YCUは、金沢区、関東学院大学と連携し、「キャンパスタウン金沢—大学の活力を生かしたまちづくり」に取り組んでおり、両校のゼミや学生団体の学生たちが、学生ならではの発想力や行動力を発揮しながら、地域の方々とともにさまざまな活動を行っています。

◎中高生の地域参画を促す—三輪研究室

三輪研究室では、キャンパスタウンサポート事業として「金沢区北部周辺地域の資源を活用した媒体作成を通して、中高生の地域参画を促す仕組みづくり」に取り組んでいます。金沢区青少年の地域拠点「カナカツ」と協力して、利用者の子どもたちとともに金沢区の情報収集を行いながら、ミッション型ボードゲームづくりを行ってききましたが、27年度は「並木ラボ」で、北部エリア在住の小・中学生とともにクイズを考え、金沢総合高校イラスト部の協力も得て、ボードゲームの北部版を作りました。



サポート事業では、このほか「金沢研究会」「金沢スマートイルミネーションプロジェクトチーム」「マイタウン金沢八景プロジェクト学生会HAKKEY+」などが、地域活動を行っています。



■金沢区 地元企業の魅力(いいところ)発信!

関東学院大学の学生と金沢区の地元企業を取材し、知られざる魅力を発信しています。平成25年度から取り組み、平成27年度で3号目を発行しました。

国際総合科学部

国際的な視野に立ち、柔軟で創造的な思考のできる学生を育てます。



求める学生像

- 自ら積極的に物事に取り組み、論理的に思考し、発信できる人
- 国際的に活躍できる語学力や、豊かな教養を求める人
- 専門性を身に付けて、それを将来に活かしたい人

国際教養学系 ⇨P.30

- 人間科学コース
- 社会関係論コース
- 国際文化コース

国際都市学系 ⇨P.34

- まちづくりコース
- 地域政策コース
- グローバル協力コース

経営科学系 ⇨P.38

- 経営学コース
- 会計学コース
- 経済学コース

理学系 ⇨P.42

- 物質科学コース
- 生命環境コース
- 生命医科学コース



国際総合科学部長 教授
中條 祐介 (なかじょう ゆうすけ) ■国際会計論

教員メッセージ

4年後の君たちへ
～時代の先を読み、ビジョンを示せるリーダーであれ～

政治、経済、テクノロジーそして、文化。社会を構成するさまざまな側面で大きな変化が起きています。不安定化した社会においては、過去の経験を踏襲するだけでは正しい航路をとることができません。現在の日本では、時代の先を読み、ビジョンを示せるリーダーが求められています。われわれは、そんな人材を育成したいと考えています。

そのような人材を育成するための教育プログラムがここにあります。キーワードは「共通教養×専門教養×国際性」。さまざまな文化や価値観が衝突するグローバル社会を生き抜くためには個を確立することが重要です。そのために、まずはさまざまな見方や考え方を身に付けましょう。そういった場が共通教養です。次に特に興味のある分野を深く探究していきましょう。専門性を研ぎ澄ます場が専門教養です。これに英語力の強化と国際経験を通じてグローバルな視点を養いましょう。これら3つの要素の1つだけが秀でていても不十分です。これらの要素は相互に補い、皆さんの能力を掛け算で引き出します。

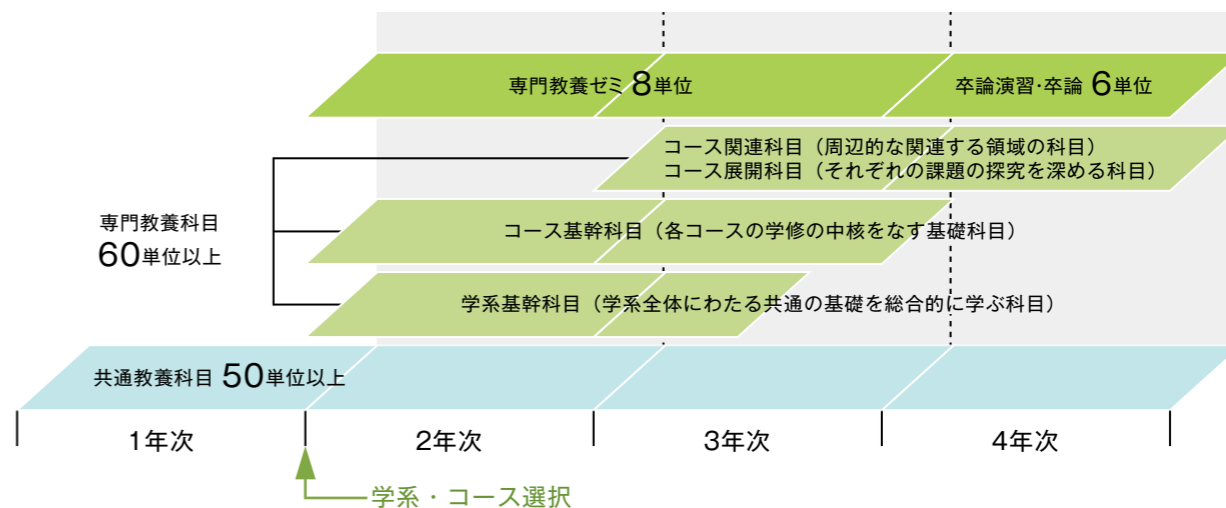
総合性の上に築かれる学位の質の保証

ますます複雑になる現代社会の課題に応じて、より高度な専門性が求められます。そして課題の解決には、自らの専門性の立ち位置をきちんと理解し、総合的な視点から問題をとらえる能力が必要です。国際総合科学部の専門教養科目は、こうしたニーズに応えられるように構造化されています。

他学系の専門科目も履修可能



大学に入って実際に授業を受けてみると、高校生のときに考えていたことと違っていたり、あるいは何か別に自分にとって大事なことがあることに気づいたり、想像していなかった関心をかき立てられることに会うかもしれません。そこが大学での勉強のスタート、自分の課題を探究するスタートです。国際総合科学部では学系・コースの選択は2年次進級時に行います。入学した学系と別の学系のコースに進むことも一定の条件のもとで可能です。



学系およびコースへの配属条件科目

2年次の学系・コース進級の際には、共通教養の「専門との連携科目:基礎科学講義」の中からそれぞれの学系での学修の前提となる一定の科目を履修していることが求められます。入学した学系と異なる学系のコースへの進級を希望する学生も希望する学系の進級前提科目の単位取得が条件になります(受け入れ上限人数を超えた場合には成績による選抜を行います)。 ⇨P.17

「ゼミ」で力を身に付ける

2年次のコース配属と同時に理学系以外の学系では、学生はすべていずれかのゼミに所属し、少人数による演習の授業が始まります(基礎学修に一定の時間を必要とする理学系では3年次になってからゼミ配属に相当する研究室配属が行われます)。4年次の卒論演習(理学系は卒業研究)で卒業論文にまとめあげます。全員必修の卒業論文にはコースごとに判定基準を設け、学位の質を担保しています。

TOPICS

4学系・12コースのキャリアに横串をさす 人材育成プログラム

国際総合科学部生は、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、そして理学系の4学系に分かれて専門性を究めていきます。専門性を究めるといことは、ともすると視野が狭まってしまうという側面があります。そこで、本学部の総合性を活かし、広範な視野を備えた人材を育成するための「領域横断型プログラム」が設けられています。所定の科目を履修した場合には、修了証が交付されます。平成28年度においては、①YCUグローバル・スタディーズ・プログラム、②サービス・ビジネス人材育成プログラム、③医療イノベーション経営管理人材育成プログラムが新たにスタートします。 ⇨P.10

大学院教育との連結

学問分野を問わず高度な課題解決能力が求められるようになっており、特に理科系では過半数が大学院に進学します。国際総合科学部では、一定の条件を満たした学部4年生に対し、大学院の一部の授業科目を履修できるようにすることにより、学部4年と大学院1年の合計5年間で博士前期課程を修了することのできるプログラムを用意しました。学部の教養教育で培った課題解決能力をより高いレベルで結実させ、即戦力となるプロフェッショナルを短期間で養成します。

国際教養学系

- 人間科学コース
- 社会関係論コース
- 国際文化コース

学位：学士（国際教養学）

人間から、世界が見えてくる。

育成
目標

グローバル化が進む世界において、人間とその社会的・文化的活動を総合的に理解するためには、身体・心理・社会・文化・価値など幅広い知識を修得し、多角的な視点で諸問題にアプローチすることが必要です。また、多様な言語・宗教・民族・価値観をもつ人々が共存する現代の国際社会では、人々が直面

する問題を発見し、解決策を探るような多面的な思考力やコミュニケーション能力も求められます。国際教養学系では、こうした能力を身に付け、世界のさまざまな文化と価値観に共鳴するとともに、人間を総合的に理解したうえで多様な人間が共生できる社会を形成する人材を育成します。



TRIFIRO CRISTINA
ベネチア・フオスカリ大学の交換留学生

森田 佳奈子(もりた かなこ)
神奈川県立横浜平沼高等学校卒

KOLBUS.Noëmi
ウィーン大学の交換留学生

仙波 梨英子(せんば りえこ)
長野県松本県ヶ丘高等学校卒

杉江 有香(すぎえ ゆか)
神奈川県 私立横浜雙葉高等学校卒

渡邊 友梨(わたなべ ゆり)
栃木県立大田原女子高等学校卒

准教授
滝田 祥子(たきた さちこ)

玉越 夕貴(たまごし ゆき)
横浜市立桜丘高等学校卒

橋本 奈楠子(はしもと ななこ)
神奈川県 私立捜真女学校高等学部卒

大竹 志歩(おおたけ しほ)
岐阜県立岐阜北高等学校卒

社会関係論コース 多文化社会論

准教授
滝田 祥子 (たきた さちこ)

対話を通じた多文化共生

滝田ゼミは、社会に生きる一人ひとりの異なるバックグラウンドや思いという「違い」を自分の中に落とし込んで考える場です。今まで一方からしか見ていなかった事象や問題を、多角的に考える機会に溢れています。ゼミ生一人ひとりが多様な視点からの考察を進めることで、小さなことの中にも新たな発見が得られます。それらを見逃さず大切な気づきとしてとらえ、対話を重ねながら研究を深めています。「他人ごと」を「自分ごと」として考えるためには、見つける力や考える力を高めなければなりません。滝田ゼミでは教員から学生へという流れではなく、学生の主体性を大切にしながら問題発見能力や思考力を養っています。ゼミのメンバーには大学院生や海外留学生も含まれており、より多様性に富んだ考察や研究ができるのが特徴です。

国際教養学系専門科目一覧

	人間科学コース	社会関係論コース	国際文化コース
学系基幹科目 (4単位選択必修)	人間科学論 社会関係論 国際文化論		
コース基幹科目 (16単位選択必修)	現代哲学 現代倫理学 心理学 精神分析	身体科学 文化人類学 発達心理学 現代教育論	社会理論 社会福祉論 現代社会論 多文化社会論 日本社会史
コース展開科目 (28単位選択必修)	現代の人間論1・2 生命倫理学 Topics in Moral Philosophy 社会思想 文化生態学A・B 東洋思想A1～A3 パーソナリティ心理学 ロールプレイング 集団心理療法 臨床心理学 社会心理学 心理学実験法 心理学観察法 心理学調査法 人体環境適応論	生活健康論 スポーツ文化論 生理人類学 生体情報論 身体文化論 身体運動論 トレーニング科学A・B 日本思想史 西洋思想 現代思想 宗教学 東洋思想 B オルタナティブ教育論 生体人類学 Language in the World: Developmental Psycholinguistics Medical Anthropology 1・2	社会学 現代日本社会論1～3 現代日本の社会問題 ディスコース研究 社会言語論1・2 Elements of Prose 文化社会学1～3 国際経済社会論 国際人権法A・B 国際法A・B 東南アジア社会論 東南アジア史 ヨーロッパ史 A1・A2、 B1・B2 ジェンダー論 家族社会学A・B 日本史 世界史 外書講読 社会学1・2 東南アジア EU資料 経済学 国際政治学 海外事情
コース関連科目 (12単位選択必修)	学系基幹科目、コース基幹科目、展開科目の必要単位数を超えて修得した科目 国際都市・経営科学系の一部科目 語学演習		
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	演習 I～IV		
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒論演習 I・II 卒業論文		

教員メッセージ 人間・社会・文化に関する学術的学習から多様な人間が共生できる社会をめざします。

多面的な視点からの考察力を身に付けるため、3つのコースそれぞれの科目を横断的に履修できるカリキュラムを用意し、人間・社会・文化に関する学術的学習を行います。また、討論、調査、発表などの経験を積めるよう、演習を必修としていますが、総合性を高めるために副演習も履修することや、多言語運用能力を高めるために英語以外の外国語も積極的に履修することを推奨しています。グローバル化が進む現代社会において、人間を総合的に理解したうえで、多様な人間が共生できる社会を形成する人材を育てます。

国際教養学系長 教授 村松 茂 (むらまつしげる) ■ 身体運動論



人間科学コース

人間を精神、身体、価値、発達の側面から多面的に考察します。



「人間」を知るには、人間の体と心と価値に関する考察が必要です。人間科学コースでは、人間の身体的構造、心理的メカニズム、価値判断の問題、成長・発達・教育などについて、原理的・実践的に考察を深め、新たな社会を築く視座と能力を身に付けた人材を育てます。そのために哲学、心理学、精神分析、身体科学、教育学などの分野の科目を置いています。

このような志向を持つ人へ

- 人間の心のメカニズムについて学びたい
- これからの社会の人々の生き方・価値観を考えたい
- 身体の機能をメカニズムから健康・スポーツを考えたい
- 人間の発達や成長について学びたい

卒論テーマ例

- 大学生の主観的幸福感とその社会的要因の探索
- 人はなぜ化粧をするのか
- 胸式呼吸と腹式呼吸が発声の音圧と音程に与える影響

社会関係論コース

日本および世界における社会的諸問題にアプローチします。



社会的な視点から現代の諸問題をとらえ、解決策を考えることができる人材を育てます。社会を歴史的経緯を含めて構造的に理解し、格差社会や貧困化・人権問題・ナショナリズムなど、さまざまな社会現象をタブーに臆することなく取り上げます。社会理論、多文化社会論、日本・欧米社会史、福祉社会論、コミュニケーション論などの領域の科目があります。

このような志向を持つ人へ

- 社会の諸問題の構造を知り、その解決に取り組みたい
- 社会問題を歴史的背景から理解し、その本質を的確に把握したい
- 社会がどのように変化しているのかを知り、これからの社会を考えたい
- 日本と外国の社会を比較する中で、社会問題の解決策を探りたい

卒論テーマ例

- 社会の変容とともに現れたニューホームレスの福祉
- テレビCMにおいて「好感度」とはどれほど重要なのか
- 地方創生～将来のあるべき姿とは～

国際文化コース

世界の諸文化をさまざまな視点から考察し、国際理解を深めます。



日本文化と比較しながら世界の多様な文化への理解を深め、国際化時代における人間の在り様を探究できる人材を育成します。エスニシティ文化論、比較文化論、文化交流史、日本文化史、言語学などの分野について幅広く学べます。翻訳・評論・演劇などに関わる教員も多く、創造の世界に触れることも可能です。

このような志向を持つ人へ

- 文化の違いを理解して、世界の人々の間の相互理解に貢献したい
- 外国語をその背景となる文化・歴史から理解したい
- 日本と外国のさまざまな文学作品に触れて、世界の人々の考え方や生き方を知りたい
- 世界のさまざまな文化を学び、文化交流に取り組みたい

卒論テーマ例

- 入浴の歴史にみる日本の温泉～大衆化する入浴施設～
- 日本独自の感性「かわいい」—価値観から文化まで—
- 文学における人間の「成長」の描かれ方

学生の声

アットホームな雰囲気の中、現代教育を多角的に研究しています。

YCUを選択した理由は、専攻分野にとらわれることなく幅広く学べ、多様な価値観や考え方を培うことができる大学だから。「現代教育論」のゼミに所属し、教育分野を専攻しつつ他分野も広く履修することで、「現代教育」を多角的に研究でき、今は教員免許取得を目標に日々勉強に励んでいます。また、「環境ボランティアStepUp↑」に所属し、環境に関するさまざまなイベントの企画・運営を行いました。YCUをひとりで表現するならば、アットホーム。学生一人ひとりの「人の良さ」も大きな魅力だと思います。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1				現代教育論	
2		心理学		イギリス文学A	社会理論
3	生活健康論	地域福祉論	PE	PE	PE
4	ディスコース研究	トレーニング科学B	英語学B	教育課程論	演習II
5	教育制度論		英語科教育法		



今島 史昭 (いまじま ふみあき)
人間科学コース 4年
神奈川県立松陽高等学校卒

学生の声

幅広くと奥行きを両方を備えた学び、学部の学びは大学の魅力そのものでした。

自らの専門分野の理解を深めるには、関係する分野も一緒に学ぶことが大切で、YCUは、「専門分野の理解を深めたい」という学生にも、「さまざまなことを広く学びたい」という学生にも対応できる大学です。私は、言葉やコミュニケーションを専門に、それに関係した社会学や心理学などを履修しています。「国際総合科学部」という名称を初めて耳にしたとき、何を学ぶのか想像できなかったのですが、その答えは「自分が学びたいことを幅広く学ぶことができる」というYCUの魅力そのものでした。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		心理学	ロール・プレイング		社会理論
3	演習II		現代社会論		家族社会学B
4	ディスコース研究	ドイツ文化論	発達心理学		演劇文化論
5	教育制度論	世界の福祉	教育心理学		



加藤 香穂 (かとう かほ)
社会関係論コース 4年
神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校卒

学生の声

学びのチャンスを活かすことで、異文化への理解を実感できました。

所属以外の学系やコースの授業も幅広く受講でき、視野を広げられるのがYCUのいいところ。ゼミでは社会学を専攻し、文献講読のほかフィールドワークでの聞き取りなどを通して、当事者の視点から学びを深めています。YCUは、国際機関や地域社会とのつながりが深く、学びのチャンスがたくさんあります。私は、フィリピンやパキスタン出身の子どもたちへの学習支援ボランティアという貴重な体験ができ、自分の成長につながりました。国籍や年齢の異なる人と出会い、異文化理解を深めることができたと感じています。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1	韓国・朝鮮語基礎II		韓国・朝鮮語基礎II		韓国・朝鮮語基礎II
2		演習II		フィールド研究	社会理論
3		中東社会論	現代社会論		家族社会学
4		東アジア社会論	多文化社会論		演劇文化論
5					



高橋 安奈 (たかはし あんな)
国際文化コース 4年
青森県立弘前高等学校卒

国際都市学系

- まちづくりコース
- 地域政策コース
- グローバル協力コース

学位：学士（学術）

都市・地域・世界の課題に、「実践力」で挑む。

育成
目標

グローバルな知識と学問的な洞察力を備えつつ、現代的な課題に応える国際社会・都市社会を構想し、地域やコミュニティの問題について解決策を導き出せる人材を育成します。社会科学・空間科学・地域研究などの諸分野から、国際社会理解、都市社会理解、多文化理解へとつながる幅広い知識と教養を蓄えるため

のカリキュラムを構築し、それらを社会の具体的な問題に応用することが可能です。また、フロンティア精神や起業マインドを身に付け、鋭敏な感覚をもって課題を「発見」し、諸問題の状況を積極的に「調査」し、得られた知見を綿密に「分析」して「考察」するという、一連の知的なプロセスを修得することもできます。



諸岡 美咲 (もろおか みさき) 東京都 国立東京学芸大学附属国際中等教育学校卒
 金田 まりな (かねだ まりな) 神奈川県 私立捜査女学校高等学部卒
 赤嶺 成美 (あかみね なるみ) 沖縄県立開邦高等学校卒
 高橋 菜々美 (たかはし ななみ) 茨城県立牛久栄進高等学校卒
 中川 快 (なかがわ かい) 横浜市立横浜商業高等学校卒
 浅野 早衣子 (あさの さえこ) 愛知県 私立聖堂高等学校卒
 久保谷 夢 (くぼや かなえ) 横浜市立南高等学校卒
 教授 齊藤 広子 (さいとうひろこ)
 竹井 紅史朗 (たけい こうしろう) 静岡県立静岡東高等学校卒
 林 杏奈 (はやし あんな) 神奈川県 私立桐光学園高等学校卒
 平山 航希 (ひらやま こうき) 富山県立奥羽高等学校卒

まちづくりコース
不動産マネジメントゼミ
 教授 齊藤 広子 (さいとうひろこ)

まち・すまいのマネジメントを考え、実践する。

日本のまちづくりは大きく転換を求められています。今までは、行政主体でつくることが中心のまちづくりでしたが、地域が主体となり、つくり育てるマネジメント型のまちづくりが求められています。これは世界共通の課題で、グローバルな視点を持ち、地域政策との連携が必要です。そのなかで、私たちのゼミは、私たちの暮らしやビジネスを支える不動産（土地・建物）を中心に、コミュニティや景観のよい住宅地や住宅のプラン・デザイン・マネジメント、さらに人口減少による空き家や空き地問題、持続可能なマンションのマネジメントやエリアマネジメント等について、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランスをはじめとした海外や身近な横浜市を題材に取り組み、実践的な解決策を考えています。

国際都市学系専門科目一覧

	まちづくりコース	地域政策コース	グローバル協力コース
学系基幹科目 (2単位必修)	国際社会と都市を考える		
コース基幹科目	都市計画論、景観まちづくり論、市民まちづくり論、都市解析、都市デザイン論、都市交通政策、都市防災計画論、環境計画論、国土及び広域計画、横浜の都市づくりと課題、海外まちづくり実習、地域まちづくり実習、まちづくりインターンシップ実習 (14単位選択必修)	事業創造論A、比較社会システム論、地球環境政策論、地方自治論、都市の経済と政策、グローバル地理学、都市財政論、地域社会論 (10単位選択必修)	グローバル協力論、グローバル政治論、グローバル経済論、グローバル公共政策論、国際機構論、地域開発論、社会開発論、アジア地域論、アジア近現代史、東アジア社会論、Learning Global Cooperation in English (14単位選択必修)
実習	まちづくり実習 I-II (16単位必修)	実習A~E (4単位選択必修)	海外調査実習A~C、地域調査実習A-B (4単位選択必修)
コース展開科目	<p>A(3コース共通) 都市と農、環境ビジネス、資源循環論、環境教育論、環境経済学、観光振興論、中心市街地活性化のまちづくり、不動産マネジメント論、地域ブランディング論、地域統計学、コミュニティビジネス論、事業創造論B、ISO基礎/実践(環境・品質)、地域CSR論、産業政策論、経済立地論、コンテンツ産業論、公共投資と地域経済、地域再生の地理学、グローバルイノベーションと産業集積、比較地方自治、比較憲法、グローバル平和論、平和構築論、多文化社会論、世界都市論、開発経済学、アメリカの都市と地域政策、Sustainable Urban Development、ヨーロッパの地域政策、Human Settlements and Global Awareness、地域情報とまちづくり、キャンパス起業体験実習I-II、地域教育とまちづくり、ファッションビジネス戦略、International Cooperation in Urban Development、グローバル社会論、中小企業のCSR戦略、環境経営の最先端、日本外交論A-B、Japan International Cooperation、アメリカ大統領選挙論、アメリカの外交政策 ※学系内他コースの基幹科目を展開科目に読み替えられます。</p> <p>B(まちづくりコース・地域政策コース共通) 社会基盤と都市づくり、まちづくりのための調査法、文化政策論、プロジェクトマネジメント論、マーケティング論 I-II、財政学I-II、地方政治論、社会保障論、男女共同参画社会論、大都市経営論、農村振興論、参加・協働論、社会福祉論、地域福祉論、海外調査実習A~C</p> <p>C(地域政策コース・グローバル協力コース共通) 資源経済学、文化人類学、地理情報システム論、移住とアイデンティティ1・2、国際人権法A-B、国際法A-B、現代中国社会学A-B、現代韓国社会学A-B、東南アジア社会学、南アジア社会学、中東社会学、アフリカ社会学、ラテンアメリカ社会学、アメリカ社会学A-B、ヨーロッパ社会学、メディア英語、イギリス文化論、アメリカ文化論、European Culture in English、Global Issues</p> <p>D(まちづくりコース) 行政法 I-II (まちづくりコースはA+B+Dの中から20単位選択必修)</p> <p>E(地域政策コース) ミクロ経済学I-II、経営組織論I-II、経営情報論I-II、国際経営論I-II、行政学、都市発達史、福祉NPO論、高齢社会論A-B、開発経済学 (地域政策コースはA+B+C+Eの中から36単位選択必修)</p> <p>F(グローバル協力コース) ディスカース研究、社会言語学1・2、英米言語文化A-B、Literary Criticism 1~3、Japanese Literature in English A-B、International Literature in English A-B、Explication of American Literary Text A-B、Literature in English A-B、Elements of Fiction、東南アジア史、グローバル市民社会論A-B、自然環境保全の国際協力と実践、中東諸言語、グローバル民主主義論 (グローバル協力コースはA+C+Fの中から32単位選択必修)</p>		
コース関連科目	<p>A(3コース共通) 語学演習</p> <p>B(まちづくりコース・地域政策コース共通) ディスカース研究、社会言語学1・2、英米言語文化A-B、Literary Criticism 1~3、Japanese Literature in English A-B、Explication of American Literary Text A-B、Literature in English A-B、Elements of Fiction、経済統計 I-II</p> <p>D(まちづくりコース) 資源経済学、文化人類学、地理情報システム論、移住とアイデンティティ1・2、国際人権法A-B、国際法A-B、現代中国社会学A-B、現代韓国社会学A-B、東南アジア社会学、東南アジア史、南アジア社会学、中東社会学、アフリカ社会学、ラテンアメリカ社会学、アメリカ社会学A-B、ヨーロッパ社会学、メディア英語、イギリス文化論、アメリカ文化論、経営組織論 I-II、経営情報論 I-II、国際経営論 I-II、European Culture in English、Global Issues (まちづくりコースはA+B+Dの中から8単位選択必修)</p> <p>E(地域政策コース) サービス・ビジネス論 I-II、経営財務 I-II、公共経済学、地方自治法、現代社会学、ジェンダー論、家族社会学A-B、都市文化論A-B</p> <p>F(グローバル協力コース) ミクロ経済学 I-II、国際経営論 I-II、社会基盤と都市づくり、まちづくりのための調査法、文化政策論、プロジェクトマネジメント論、マーケティング論 I-II、財政学 I-II、経営組織論 I-II、経営情報論 I-II、参加・協働論、男女共同参画社会学、社会保障論、社会福祉論、地域福祉論、大都市経営論、地方政治論、農村振興論 (グローバル協力コースはA+C+Fの中から8単位選択必修)</p>		
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	演習 I~IV		
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒論演習 I・II 卒業論文		

教員メッセージ 都市や地域の課題解決に取り組み、世界の舞台で活躍できる人材を育成します。

格差や貧困、過労死、超高齢化、環境破壊、地域の疲弊、紛争、衛生問題など、世界は複雑に絡んだ深刻な問題があふれています。国際都市学系は、まちづくり・地域政策・グローバル協力という3つのコースを設定し、地域課題から地球規模の課題に至るまで、その解決に取り組み、地域においても、国際社会においても、指導的役割を果たせる人材を育てることを目指しています。そのために、広い視野と深い専門知識、複雑な現実を読み解く洞察力、異なる社会や文化を理解する力、高度な議論ができる外国語力などを身に付けてもらうとともに、国内・国外フィールドに積極的に出ていく「実習」を行い、都市や地域が抱える生の現実に向き合い、解決に向けて取り組む経験を養っています。「世界を変えたい」「地域に貢献したい」という皆さん、待っています。

国際都市学系長 教授 影山 摩子弥 (かげやま まこや) ■比較社会システム論



まちづくりコース

都市が抱える課題に
具体策を提案できる人材を育てます。



横浜という「まち」を実践のフィールドとして、時代の変化に対応した都市の姿を構想し、プランニングや都市デザインを通して都市の課題の解決に貢献できる人材を養成します。安全で住みやすい「まち」、環境に配慮した持続可能な「まち」など、豊かな将来を市民参加で築いていくためのプランニング手法を実習やフィールドワークを通して身に付けていきます。

このような志向を持つ人へ

- まちづくり・都市計画・都市デザインに関心がある
- 具体的な都市の諸課題を解決したい
- 地理情報システムやプランニングに関わる手法を身に付けたい
- 将来は公務員やNPO・NGO職員などとして働きたい

卒論テーマ例

- 高齢者の暮らしやすいまちづくり—横浜市におけるデジタル放送を活用した高齢者見守り事業の可能性の検討—
- 都市部における買い物難民の発生要因—横浜市保土ヶ谷区・旭区を事例に—
- 孫世代とシニア世代の日常的外出と地域交流に関する研究—金沢シーサイドタウンを事例に—

地域政策コース

地域の問題に政策面から
提言できる能力を身に付けます。



少子高齢化、環境問題、新たな産業の創出など、都市はこれまでにない問題の解決を迫られています。物があふれる現代に本当に豊かな暮らしを実現する、そうした将来の展望をどのように描いていけるのか。「地域」が直面するさまざまな課題を的確に把握し、その解決に必要な方策を提言できる人材を養成します。

このような志向を持つ人へ

- 都市・地域の問題に関心がある
- 都市・地域に関する学問を幅広く学びたい
- 都市・地域を元気にしたい人・故郷の窮状を憂えている
- 公務員や起業家などを目指す

卒論テーマ例

- 生ごみ処理政策の提案—ゼロ・ウェイスト政策移転に向けて—
- 災害時における自治体間連携とその課題
- 女性のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて企業がCSRとして取り組むことの有効性について

グローバル協力コース

地球社会の多様な問題解決に
果敢に挑戦する若者を養成します。



地球規模の課題や世界各地の諸問題を深く考察し、フィールドワークなどの体験を重視。国際協力に関する幅広い知識と確かな語学力を身に付け、地球社会の問題解決に果敢に挑戦する若者を育てます。主にアジア地域の都市および大学、そして国際機関との協力関係を活用し、活躍の舞台を広げます。

このような志向を持つ人へ

- 将来は国際機関や国際NGOで働きたい
- 地球環境・貧困・平和・途上国などに興味がある
- 地球規模問題が起こる仕組みや解決策を考えたい
- アジアなど海外の地域について深く研究したい

卒論テーマ例

- 失業率と犯罪発生率の関係性—南アフリカ共和国・ケープタウンを事例に—
- "Invisible" Racial Inequalities in the United States Racially Segregated Schools Create "Gap" and "Discrimination"
- ODAを活用した中小企業海外展開事業の現状と課題—国際協力の視点からみた影響分析—

学生の声

地域での活動で実践的なスキルが身に付き
自分自身の成長にもつながりました。

ゼミでは「地域活性化プロジェクト」のリーダーを務め、地域の方との交流を深めながらチーム一丸となって活動。バーチャルではなく実際の地域で活動することで、実践的なスキルが身に付いたと実感しています。YCUの最大の特徴は、実習形式で学べるカリキュラムです。特に「まちづくり実習」では自ら考え提案することを経験し、主体的に学ぶことによって成長できたと思います。また、友人や先生方との距離も近く、充実した大学生活を送ることができています。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		思想研究入門	都市デザイン論	現代韓国朝鮮社会論B	
3		中東社会論	地域CSR論	特講(キャンパス起業体験実習II)	経営組織論II
4			演習II		
5		まちづくり実習I			まちづくり実習I



竹井 一真 (たけい かずま)
まちづくりコース 4年
宮崎県立宮崎西高等学校卒

学生の声

企業の方と関わる機会が、たくさんの刺激と
学びの場を提供してくれます。

現在、CSR(企業の社会的責任)についてゼミで研究しています。もともと経営学に興味があり、「社会に必要とされる企業の在り方」を考えられるこのゼミに魅力を感じ地域政策コースを選択しました。実際に企業の方々と関わる事ができる活動も多く、たくさんの刺激を受け、多くのことが学べる環境だと感じています。また、体育会の女子バスケット部、大学内の全運動部を統括する運動部連合会にも所属していて、学業以外でも多くの人と関わり合いながら大学生活を楽しんでいます。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2			都市財政論	マクロ経済学II	
3	マーケティング論II	中東社会論	地域CSR論	特講(中小企業のCSR論)	
4	地方自治論	東アジア社会論	演習II	特講(環境経営の最先端グリーン購入が関する環境都市)	
5				ミクロ経済学II	



林 侑生子 (はやし ゆうこ)
地域政策コース 4年
横浜市立横浜商業高等学校卒

学生の声

国際的な観点から幅広く展開される授業で、
世界で活躍するための素地がつけられます。

世界を舞台に活躍できる人間になりたい、それがYCUを志望した理由でした。学部名にもある通り、幅広く「国際」的な観点から授業が展開されていて、実際に履修した科目も、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアなど、非常に幅広い地域にフォーカスされています。さらに、政治学、開発学、経済学、社会学など、学問領域が多岐にわたるのも大きな特徴です。将来、国際機関や外務省への進路を目指しているなら、グローバル協力コースが夢実現への一歩です！きっと望んでいる知識と情報、経験の機会が提供されることでしょう。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		グローバル政治論	地域開発論	マクロ経済学	
3	社会開発論	アメリカ文化論	ヨーロッパ社会	地方政治論	東南アジア社会論
4	健康スポーツ実習II(バスケットボール)				
5			演習II(ゼミ)		



石月 康聖 (いしづき やすまさ)
グローバル協力コース 4年
青森県 私立松風塾高等学校卒

経営科学系

- 経営学コース
- 会計学コース
- 経済学コース

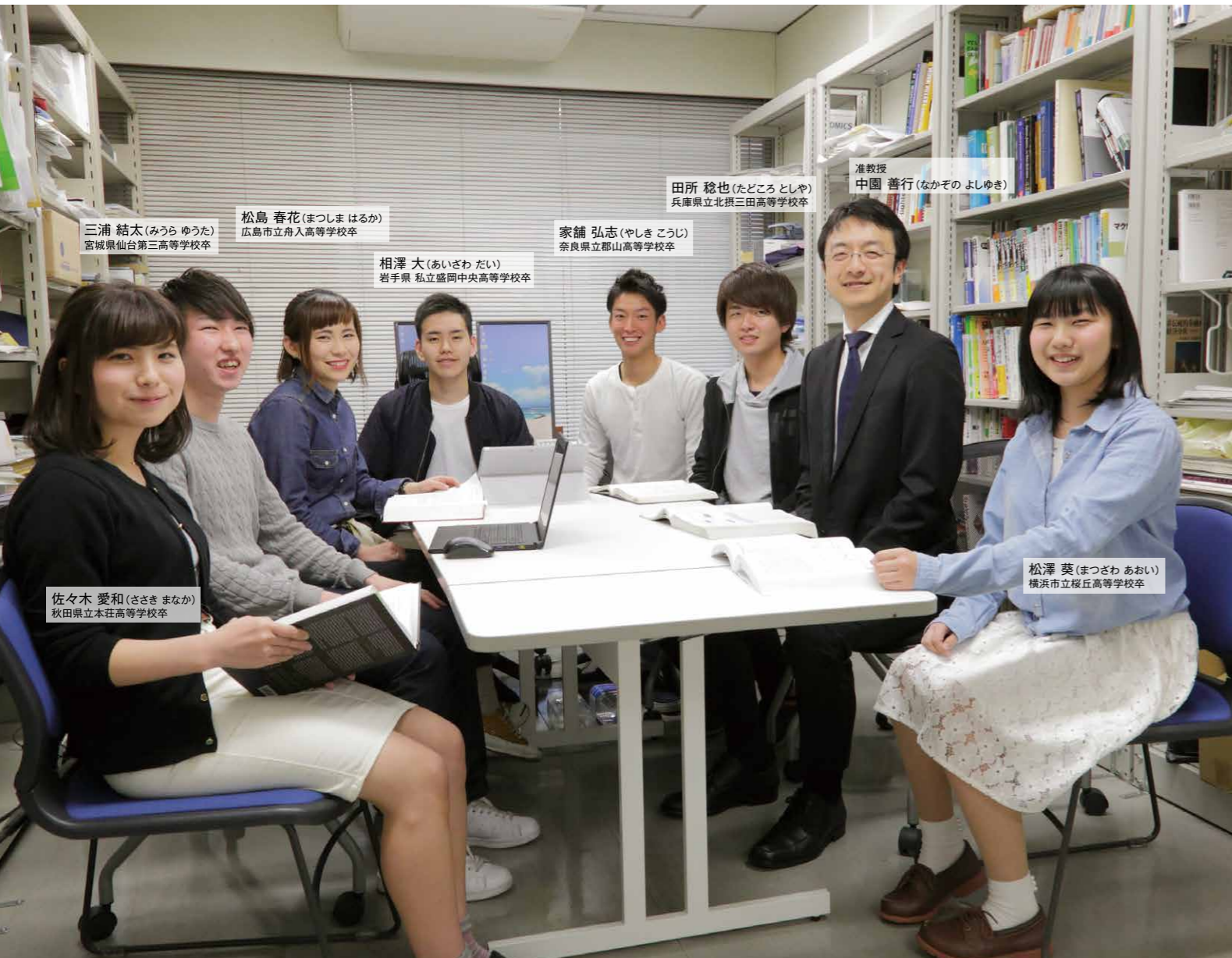
学位：学士（経営学）、（会計学）、（経済学）

世界基準でビジネスを考える。

育成 目標

グローバルなビジネス・経済社会での多様な価値観を理解し、合理的な意思決定能力と実行力を備えた人材を育成します。そのために必要となるのが、問題発見や課題解決の際に必要な分析力と他者を説得するコミュニケーション能力です。これらは経営科学系の学生に共通の素養となりますが、さらに経営学・会計学・経済学の3コース

を設け、専門性を深化させた学びを展開します。経営学コースではグローバルに企業経営の課題をとらえ、解決できる人材を育成し、会計学コースでは世界共通のビジネス言語である会計の数字を的確に理解できる人材を育成します。そして経済学コースでは、国際標準の経済学の理解と現実への応用力を備えた人材を育成します。



三浦 結太(みづら ゆうた)
宮城県仙台第三高等学校卒

松島 春花(まつしま はるか)
広島市立舟入高等学校卒

相澤 大(あいざわ だい)
岩手県私立盛岡中央高等学校卒

家舗 弘志(やしき こうじ)
奈良県立郡山高等学校卒

田所 穂也(たどころ としや)
兵庫県立北摂三田高等学校卒

准教授
中園 善行(なかの よしゆき)

松澤 葵(まつざわ あおい)
横浜市立桜丘高等学校卒

経済学コース

マクロ経済学ゼミ

准教授

中園 善行 (なかの よしゆき)

なぜ世界には貧しい国と豊かな国が存在するのか？

『経済』という言葉聞いて連想する言葉は何ですか？——授業で問いかけると、「お金」、「格差」、「景気」といった答えが返ってきます。では、お金の役割とは何でしょうか？なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのでしょうか？なぜ景気は良くなったり悪くなったりするのでしょうか？マクロ経済学は、経済に関するこのような疑問を研究の対象としています。ゼミでは、まず取り組むべき問題の所在を明らかにします(課題発見力)。次に、問題への処方箋を書くために経済理論を学び、データを用いてその妥当性を検証します(課題解決力)。最後にこの思考プロセスを論文にまとめプレゼンを行います(発表技術の体得)。これら一連の知的訓練を通して、簡単には陳腐化しないスキルの習得を目指しています。

経営科学系専門科目一覧

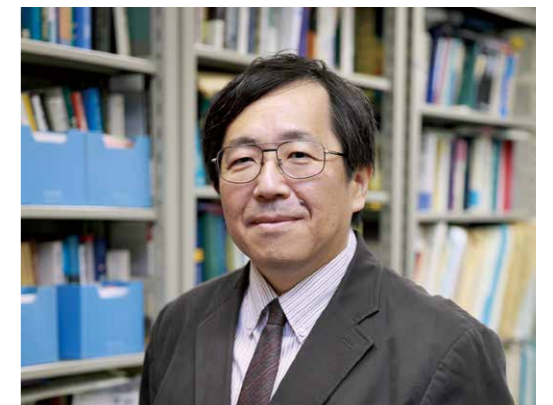
	経営学コース (学士:経営学)	会計学コース (学士:会計学)	経済学コース (学士:経済学)
学系基幹科目 (16単位選択必修)	企業論 I・II 経営管理論 I・II	商業簿記 I・II 会計学原論 I・II	ミクロ経済学 I・II マクロ経済学 I・II
コース基幹科目 (16単位選択必修)	経営戦略論 I-II 経営組織論 I-II 国際経営論 I-II 人的資源管理 I-II	経営財務 I-II マーケティング論 I-II サービス・ビジネス論 I-II 経営情報論 I-II	原価計算論 I-II 監査論 I-II 会社法 I-II 管理会計論 I-II Introductory Accounting I-II Intermediate Accounting
コース展開科目 (16単位選択必修)	流通ロジスティクス論 生産管理論 イノベーション・マネジメント 経営史 中小企業論	証券市場論 消費者行動論 組織文化論 組織行動論 医療経営論	証券市場論 金融商品取引法 租税法 所得税法 I-II 国際税務戦略 Introduction to IFRSs Fundamentals of Investments Basics of Corporate Analysis and Valuation
コース関連科目 (12単位選択必修)	倒産法 環境法 契約法 経済法 地域金融論	中小企業金融論 行政法 I-II 地方自治法	融資判断のための企業分析講座 財務省・財務局・財務事務所(横浜)の業務と役割 経営と税務 学系内他のコースの基幹・展開科目
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	演習 I~IV		
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒論演習 I・II 卒業論文		

教員 メッセージ

国際標準的知識の修得で
グローバルに活躍できる人材を育成します。

経営科学系では、将来、企業や官公庁等の組織の中核を担う人材を育てることを目標としています。世界のどの国や地域でも通用する、標準的な経営学や経済学、会計学、法学の基礎から応用までを、1ステップずつ積み上げながら学習し、目標に到達できるようにカリキュラムが編成されています。国際標準的な理論や分析方法の修得は、グローバルに活躍するための必要条件です。高校までの学習を土台とし、大学で国際標準的な知識を身に付け、将来、グローバルに活躍することを希望する皆さんの入学を期待しております。

経営科学系長 教授 和田 淳一郎 (わだ じゅんいちろう) ■公共経済学



経営学コース

企業などの組織をリードし、諸問題を解決するマネジメントを学びます。



経営学は企業を対象に発展してきましたが、今日その成果は官公庁、病院、NPO等あらゆる組織で活かされています。経営学、経営管理、経営戦略、国際経営、人的資源管理、経営財務、マーケティングなどを通してマネジメントの理論と実践を学び、社会現象の分析、戦略と組織の理解、問題の発見と解決につながる力を養います。

このような志向を持つ人へ

- 経営やビジネス活動を深く体系的に理解したい
- 企業をはじめ組織でのマネジメントを学びたい
- グローバル経営の課題に理論・実証面から取り組みたい
- 戦略的思考・企画力・分析力・表現力を習得したい

卒論テーマ例

- 特保茶飲料のパッケージと売上高の相関関係についての分析
- コンビニコーヒーの成功要因
- 財布の紐が緩む要因と消費者心理～心理的財布の観点から～

学生の声

実務経験者の話が聴けるなど、「経営の今」を学ぶ絶好の環境が整っています。

1年次に共通教養として学系の垣根なく、興味に応じた授業を選択できる点がYCUの魅力です。また、小規模な大学なので、学生同士の仲がとて深まり、友人に恵まれた大学生活を送っています。私が所属している経営科学系の先生の中には、シンクタンクや産業再生機構、銀行など、大学以外の組織で活躍されていた方が多くいらっしゃるの、リアリティ溢れる授業を受けることができます。さらに、現役の企業経営者による講演も数多く実施され、経営学を学ぶには本当に恵まれた環境です。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1			民法・物権Ⅱ	経営管理論Ⅱ	
2		演習Ⅱ	人的資源管理Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	
3		簿記入門Ⅱ	企業論Ⅱ	国際経済学Ⅱ	
4		特講(寄附講座:フアッションビジネス戦略)		ミクロ経済学Ⅱ	
5		経営戦略論Ⅱ		マーケティング論Ⅱ	



蓑和 ジェシカ (みのわ じぇしか)
経営学コース 4年
静岡県立浜松湖南高等学校卒

会計学コース

会計理論を学び、企業経営の本質を数字の面から理解します。



企業業績を適切に測定するための会計学の理論を基礎とし、これに国内および国際的な会計基準や企業法、税法の知識などを付加します。これら“土台”となる知識をもとに、財務諸表(決算書)を分析するためのスキル、企業業績を改善するための手法、および株式への投資判断の基礎となる企業価値評価の手法を身に付けます。また、英語による会計学の講義も複数開講しています。

このような志向を持つ人へ

- ビジネスの言語である会計を学びたい
- 会計専門職(公認会計士、税理士など)を目指したい
- 企業の業績改善のためのスキルを学びたい
- 証券投資の分析手法を学びたい

卒論テーマ例

- 酒税がもたらす企業と消費者への影響
- 取締役会の現状と社外取締役の有効性
- 環境会計情報は企業価値向上につながっているのか

学生の声

基礎から応用に移行する学習でスムーズに理解を深めることができます。

前期に基礎を、後期に応用を学ぶというカリキュラムが組まれているため、講義の内容をより深く理解することができます。自分が専攻している会計学だけでなく、統計学や経済学も学び、幅広い知識を身に付けることができました。経営科学系全体の授業の中から興味に沿って受講できることも魅力のひとつだと思います。また、授業以外の空き時間に資格取得のために勉強をしたり、サークル活動やアルバイトをしたりなど、充実した生活を送ることができる環境があるのも魅力です。

2年次後期の時間割

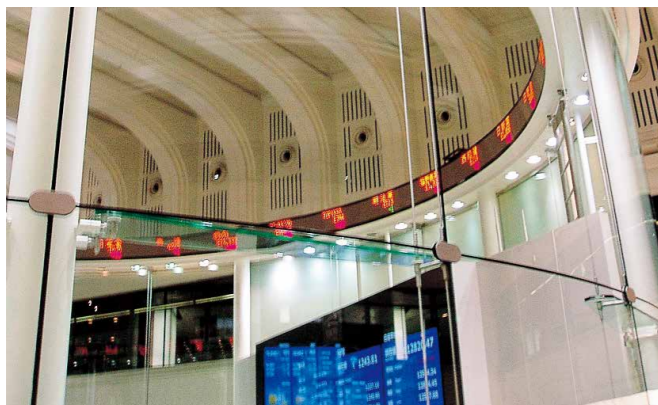
	月	火	水	木	金
1					
2	経済統計Ⅱ	行政法Ⅱ	会計学原論Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	
3			国際会計論Ⅰ	株式会社簿記Ⅱ	
4		原簿計算論Ⅱ	地理学入門	ミクロ経済学Ⅱ	
5			ゼミ	財務諸表分析Ⅱ	



伊東 優 (いとう ゆう)
会計学コース 4年
長野県諏訪清陵高等学校卒

経済学コース

経済学や金融論の理論的理解と数量的分析力を育成します。



ミクロ経済学、マクロ経済学、データ分析などの基本的知識を習得したうえで、グローバルに広がる市場経済や国際的な金融市場、公的分野に関わる社会経済現象について分析・理解する能力を身に付けます。その上で“Cool Head”で“Warm Heart”を持つてものごとを評価することのできるバランス感覚を鍛えます。

このような志向を持つ人へ

- 経済の現状と課題を体系的に学びたい
- グローバル化する国際経済を舞台に活躍したい
- 金融政策や金融機関の活動に興味がある
- 民間企業から国、地方の公務員まで、幅広い可能性に対応したい

卒論テーマ例

- TPP加盟による日本の金融市場への影響
- ふるさと納税による地方創生
- 観光市場における市場の失敗と政策提言

学生の声

専門的に学びたい分野に合わせて、計画的に科目を選んで受講しました。

YCUのカリキュラムは、学系・コースに縛られず、幅広い分野の科目を履修できるので、文系の学生であっても、理系の科目を履修することが可能で、私も1年次に「行列とベクトル」「微分積分」を履修しました。2年次以降の専門教養ゼミで経済学の学習を進めるうえで、数学は必須の知識。それらの授業で学んだ内容は、とても役に立ちました。また、5限終了後の時間など、空き時間に自分がやりたいことに打ち込める環境が整っています。4年間という短い貴重な時間を何かひとつのことに取り組み、有意義な学生生活を送ってもらいたいですね。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1	歴史学入門b			経営管理論Ⅱ	
2	演習Ⅱ	APEI	情報の経済学Ⅱ	社会科学の方法Ⅱ	
3	流通ロジスティクス論		マクロ経済学Ⅱa	株式会社簿記Ⅱb	
4	財政学Ⅱ		経済統計Ⅱa	経済思想史	
5				ミクロ経済学Ⅱc	



田辺 輝 (たなべ ひかる)
経済学コース 4年
神奈川県 私立鎌倉学園高等学校卒

理学系

- 物質科学コース
- 生命環境コース
- 生命医科学コース

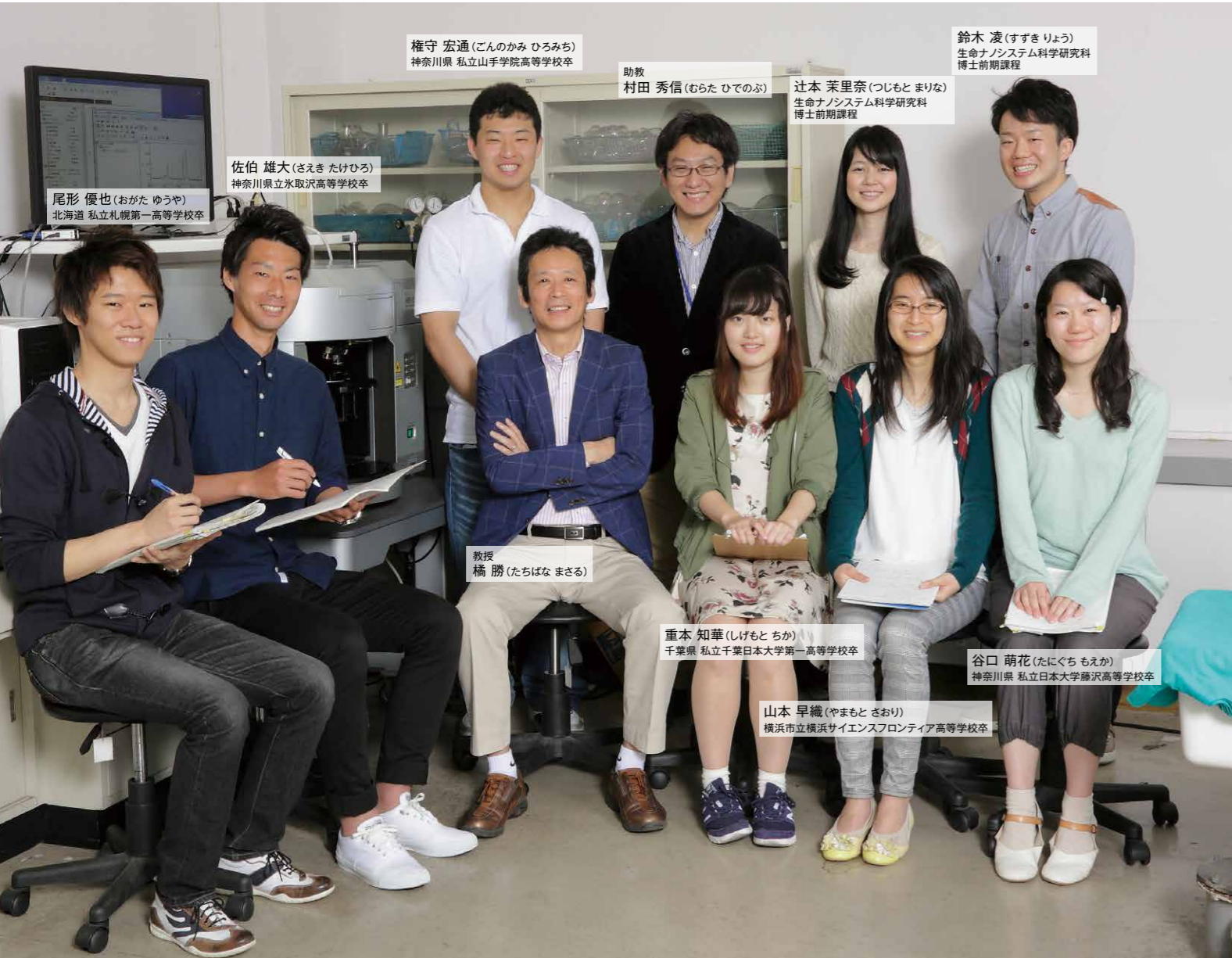
学位：学士（理学）

サイエンスを、グローバルに発信する。

育成
目標

物理学・化学・生物学・地学・数学分野を統合的に理解して自然現象を物質と生命の観点から多角的に捉えることを目指しています。理学に携わる人間には、社会における自然科学の意義を認識し、自らのテーマを社会に説明する能力も求められます。専門分野においては自らの研究テーマを追究するための理論の修得や実

験手法への習熟はもとより、計画立案能力、研究成果を国際的舞台で発表する豊かな表現力、他分野の研究者とも円滑にコミュニケーションを図れる能力が必要です。理学系では、共通教養とも連携してこのような基礎を構築しつつ、専門分野においては学問的背景に根ざしたオリジナルな研究を展開できる人材を育成します。



権守 宏通(ごんのかみ ひろみち)
神奈川県 私立山手学院高等学校卒

助教
村田 秀信(むらた ひでのぶ)

辻本 茉里奈(つじもと まりな)
生命ナノシステム科学研究科
博士前期課程

鈴木 凌(すずき りょう)
生命ナノシステム科学研究科
博士前期課程

佐伯 雄大(さえき たけひろ)
神奈川県立水取高等学校卒

尾形 優也(おがた ゆうや)
北海道 私立札幌第一高等学校卒

教授
橋 勝(たちはな まさる)

重本 知華(しげもと ちか)
千葉県 私立千葉日本大学第一高等学校卒

谷口 萌花(たにくち もえか)
神奈川県 私立日本大学藤沢高等学校卒

山本 早織(やまもと さおり)
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校卒

物質科学コース 先進材料科学研究室

教授
橋 勝 (たちはな まさる)

未来を拓く革新的な材料の創製を目指して

当研究室では、物理学、化学、生物学といった既存の分野にとらわれることなく、むしろこれらの境界領域に注目で革新的な材料の創製を目指しています。研究対象とする物質も、無機物のカーボン物質から有機物のDNAまで多種多様になります。現在は、新物質のフラレンやカーボンナノチューブから生体超分子のタンパク質といった巨大分子に至るまで、さまざまな種類の分子性結晶を作製しています。また、その力学的、電気的、光学的性質などの新奇物性の探索も行っています。これらの新材料を用いたトランジスタや燃料電池は次世代の電子・エネルギーデバイスの開発にもつながります。

理学系専門科目一覧

	物質科学コース		生命環境コース		生命医科学コース		
学系基幹科目 (20単位選択必修)	電磁気学 振動と波動 熱力学	分析化学 有機物の化学 化学熱力学	周期表の化学 分子生物学 細胞生物学	生化学 I 地学概説 I-II 地球科学実験	自然科学数学A~D 基礎量子力学 基礎統計力学	回折結晶学 有機物質化学 無機物質化学	計算分子化学 遺伝学 微生物学
コース基幹科目 (30単位選択必修) (●は必修)	物質創製実験● シミュレーション実験● 先端物性測定講義 I-II 先端物性測定実習 I-II● 化学演習 物理学演習 物質機能科学 I-II 量子力学 統計力学 界面表面科学	分子構造化学 分子機能化学 溶液化学 地震学 電子物性 量子化学 天然物化学 エネルギー変換 触媒化学	生化学 II 動物生理学 I-II 動物解剖組織学 動物細胞工学 植物生理学 I-II 植物細胞工学 資源生物利用学 ゲノム遺伝学 分子細胞生物学 再生発生物学	基礎生命科学実習● 環境毒性学 比較動物生理学 極限環境生物学 先端植物科学 生命機能実習 I-IV●	生体高分子構造科学 生体高分子機能科学 人体の解剖生理学 分子細胞医学 脳神経科学 遺伝子機能科学 薬理学 プロテオーム科学 生命情報科学 臨床概論・疾病病態学	発生・再生医学 生体分子計測科学 生体分子設計科学 生命医学実習 I~III● 生命医学特別講義	
コース展開科目 (10単位選択必修)	組合せ論 計算機科学概論 先端科学技術 I-II	科学論文表現法 物質科学キャリアデザイン 生命環境コース・ 生命医科学コースの コース基幹科目	データ解析 バイオインフォマティクス 環境保全学 環境衛生学 放射線生物学 生命環境科学	物質科学コース・ 生命医科学コースの コース基幹科目	データ解析 物質科学コース・ 生命環境コースの コース基幹科目		
コース関連科目	計算とアルゴリズム 情報理論 集合と位相 I-II 集合と位相演習 I-II 代数構造論 微分積分学 微分積分学演習 線形代数学	線形代数学演習 代数学 計画数学 解析学 情報数学 I~III 計算機科学 I-II データ解析 語学演習、特講	語学演習、特講		語学演習、特講		
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	物質科学ゼミ I-II	物質科学演習 I-II	生命環境ゼミ I-II 生命環境演習 I-II		生命医科学ゼミ I-II 生命医科学演習 I-II		
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒業研究 I・II 卒業論文						

科学技術振興機構(JST)「理数学生育成支援事業」 理数マスター育成プログラム

次世代を担う研究者・技術者育成を目指し、高校・大学・大学院を通した一貫教育を行う本学理学系独自の教育プログラムです。「入学前教育」では、入学までの期間にモチベーション向上や未履修分野習得のためのサポートを行います。1年次には、数学・物理学・化学・生物学科目の真の理解を目指す「フレッシュマン講座」を開講しています。

「自主研究」では教員・大学院生・インストラクターのアドバイスを受けながら主体的に研究を進め、全国規模の研究発表会参加を目指します。また、4年次に大学院開講科目を早期履修できる学部と大学院が接続したカリキュラムを整備しました。平成28年3月、文部科学省が主催する全国規模の研究発表会「サイエンス・インカレ」に本プログラム参加学生が応募し、研究発表が評価され受賞するなど、自主研究活動におけるますますの活躍が期待されています。
http://www.yokohama-cu.ac.jp/sci_pro/

教員
メッセージ

物質と生命の“なぜ”を解き明かし、 未来の科学技術を切り拓く。

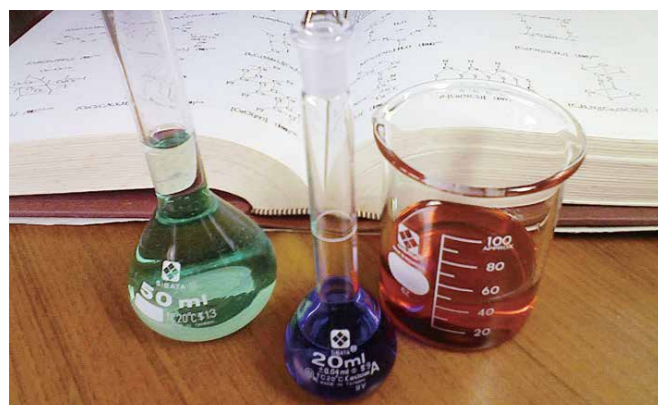
現代社会は環境破壊、エネルギー枯渇、高齢化と医療問題、近未来の食糧危機などの多様な問題を抱えています。理学系では、これらの課題を果敢に克服できる「教養豊かな理学の専門家」を育成するために、78名の教員が連携して段階的な積み上げ教育を行っています。まず、2年次前半までは物化生地数を幅広く学習して理学全般の基礎学力をしっかりと身に付けます。2年次後半からは各コースの専門分野を深く学習する傍ら、ゼミや演習を通して柔軟な思考力と豊かな創造力を培います。そして、卒業研究では、研究者や技術者として最も重要な問題発見能力と問題解決能力を実践的に養います。理学・薬学・農学・工学・医学など、理系分野のすべてを網羅する教員が勢揃いしていますので、ここで皆さんの真の興味を見つけ出し、フレッシュな頭脳を存分に磨き上げてください。

理学系長 教授 荒谷 康昭 (あらたに やすあき) ■免疫生物学



物質科学コース

現代の先端科学技術を基礎から理解し、
未来の技術へと展開できる人材を育成。



自然科学の基本原則に基づいて、物質の構造、性質、反応を電子、原子のレベルで理解し、それらを自在に制御する物質科学の基礎を学習できます。この基礎的な学習は、物質創製、計算科学、計測科学へと展開され、現代の最先端科学技術であるナノサイエンス、新エネルギー開発、先端医療などに結びついていきます。

このような志向を持つ人へ

- 最先端科学技術・未来科学技術に興味がある
- エネルギー・環境問題に関心がある
- 自然現象を理解し、イノベーションしたい
- 難しいサイエンスを分かりやすく伝えたい

卒論テーマ例

- アンピエント質量分析によるベチユニア花卉から放出される香気成分の同定
- ドナー・アクセプター性分子積層による分子ダイオード構造の作成
- 2009年箱根群発地震における応力降下量の時空間分布と地震発生メカニズム

学生の声

3年次後期から研究室で研究に専念、
恵まれた研究生活を送っています。

高校生のころから化学や物理に興味がありました。1年次にいろいろな分野の授業を受け、より強い興味を持つようになったのが化学で、光化学について研究しています。YCUでは、研究室に配属されるのが3年次後期からなので、他の大学と比べより多くの時間を研究にあてることができます。また、物質科学コースでは、教員と学生の交流を図るイベントが定期的に開催されます。自分の専門分野以外の先生方との交流や、全国各地から集まった学生同士の交流を通して視野を広げることができ、研究を深めていくことにもつながっています。

2年次後期の時間割

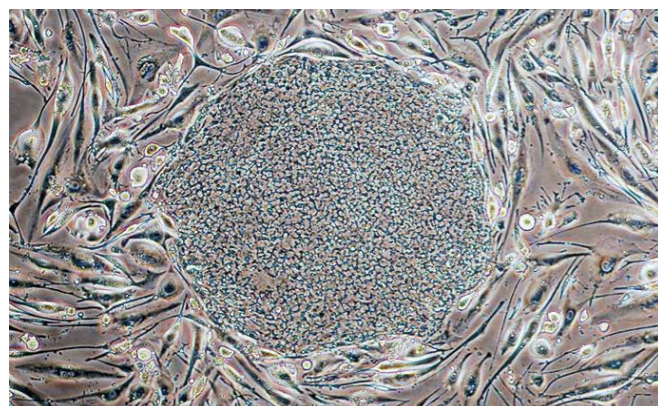
	月	火	水	木	金
1		計算分子化学		物質科学ゼミ	
2	物質科学ゼミⅡ	基礎統計力学	無機物質科学		自然科学数学C
3			有機物質科学	政治学入門	計画数学
4	シミュレーション実験				基礎量子力学
5					



浅原 正紘 (あさはら まさひろ)
物質科学コース 4年
静岡県立藤枝東高等学校卒

生命環境コース

生命の機能、環境、生物資源など、
バイオ領域に秀でたフロントランナーを育成。



動・植・微生物が見せる巧妙で多様な生命現象、内外の環境に対する応答と適応の仕組みを、遺伝子、細胞、個体のレベルから体系的に学習します。ここで学んだ科学知識や実験技術で、将来、器官再生研究や機能性食品開発、生命圏の維持など、次世代に必要な生命科学をリードし、安全で豊かな地球環境づくりに取り組める研究者、産業人を育みます。

このような志向を持つ人へ

- 環境に対する生命の適応機構を知りたい
- 食糧問題や環境問題に貢献したい
- 先端テクノロジーを学んで人々の健康に役立てたい
- 有用作物の開発や有用物質の発掘に興味がある

卒論テーマ例

- マウスES細胞EBRTcH3からの網膜の作製
- イネにおけるオーキシン生合成阻害剤の作用解析
- バンコムギの倍数性進化に伴う幼穂における遺伝子発現変化

学生の声

1年次に幅広く学びながら、じっくりと
自分の専門分野を絞り込むことができます。

理学系は、2年次にコース配属、3年次後期に研究室配属となるため、基礎科目を学びながら自分の興味のある分野についてじっくり考えることができるのが特徴です。私は生命環境コースで生命の機能、構造を分子レベルや化学的な切り口から学んでいます。資源や環境問題についても生命科学の観点から学べ、さまざまな学問や知識の結びつきを実感しています。研究室では花粉の形成や細胞分裂について研究。授業で学んだ知識や理論を実際の研究に活かすところを楽しんでいます。

2年次後期の時間割

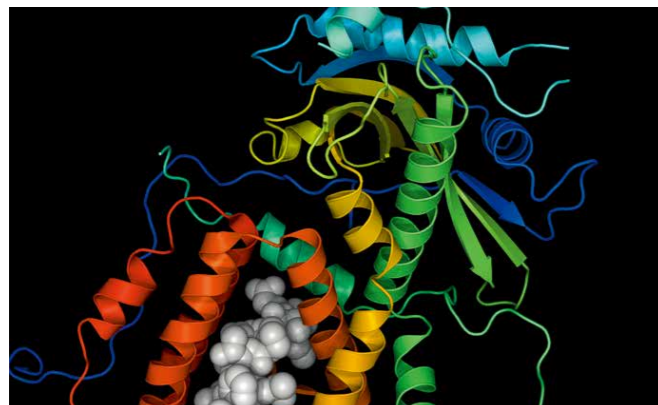
	月	火	水	木	金
1					
2	生化学Ⅱ	動物生理学Ⅰ	植物生理学Ⅱ	放射線生物学	
3			身体科学	生体高分子機能科学	
4		基礎生命科学実習		理科教育法	特別活動論
5	比較憲法				地学概説Ⅱ



芳野 明日香 (よしの あすか)
生命環境コース 4年
福岡県立嘉穂高等学校卒

生命医科学コース

21世紀に求められる生命医科学分野の
エキスパートを養成。



生命現象を原子・分子のレベルで学習し、生命医科学の独創的な研究に携わる人材を育成します。本コースの特徴は、医学系と理学系の教員によるハイブリッド型の教育を行うことで、生体物質の構造と機能に関する生命科学と生体の機能と病態に関する医学の双方を学び、新たな生命医科学分野を切り拓くパイオニア的な研究者や産業人を育成します。

このような志向を持つ人へ

- 生命現象の解明に意欲的に打ち込みたい
- 最先端の科学技術を習得したい
- 生命科学と医療の両面から社会問題を解決したい
- 生命科学や医療に関連した仕事や研究に興味がある

卒論テーマ例

- 質量分析のための糖ペプチド濃縮法の開発
- 海馬初代培養神経細胞におけるMTCL1の機能の検討
- NMRを用いた脂質二重膜中におけるヒト膜タンパク質C99の解析

学生の声

少人数で学びやすい環境により、
生命医科学への興味が深まりました。

YCUのこのコースを選んだのは、「生命医科学を学びたい」という思いから。「iPS細胞」がノーベル賞で話題になったのがきっかけでした。生命医科学コースは設備が充実し、少人数制でしっかりと学べるうえ、医学部や理化学研究所の先生方の授業も受けることができ、生命医科学に対する興味がますます深まりました。また、部活動では中学から続けているラグビー部に所属し、仲間と互いに切磋琢磨して目標を達成するために日々活動中。将来は、人の役に立てる研究者になりたいと思っています。

2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1		計算分子化学			
2	生化学Ⅱ	人体の解剖生理学	植物生理学Ⅱ	分子細胞医科学	
3	生活健康論		身体科学	生体高分子機能科学	
4		統計と確率	微生物学		
5	生体高分子構造科学	生命医科学ゼミⅡ			



鈴木 太基 (すずき たいき)
生命医科学コース 4年
神奈川県 私立桐蔭学園高等学校卒

教員紹介

専門分野（平成28年5月1日現在）

国際教養学系

有馬 齊 倫理学 アリマ ヒトシ 准教授	柿崎 一郎 アジア社会史 カキザキ イチロウ 教授	角田 隆一 現代社会論 ツノダ リュウイチ 准教授	三上 真司 現代哲学 ミカミ シンジ 教授
板垣 明美 文化人類学 イタガキ アケミ 准教授	加藤 千博 イギリス文化論 カトウ チヒロ 准教授	坪谷 美欧子 エスニシティ文化論 ツボヤ ミオコ 准教授	村松 茂 身体運動論 ムラマツ シゲル 教授
岩崎 徹 演劇文化論 イワサキ トオル 准教授	佐藤 響子 コミュニケーション論 サトウ キョウコ 教授	中谷 崇 文芸批評論 ナカタニ タカシ 准教授	村山 和行 言語学 ムラヤマ カズユキ 教授
浮田 徹嗣 精神分析学 ウキタ テツジ 准教授	塩尻 智之 身体文化論 シオジリ トモユキ 准教授	長谷川 真里 教育心理学、発達心理学 ハセガワ マリ 教授	本宮 一男 日本社会史 モトミヤ カズオ 教授
岡田 公夫 ドイツ語、比較言語論 オカダ キミオ 教授	庄司 達也 近代日本文化論 ショウジ タツヤ 教授	平井 美佳 臨床心理学 ヒライ ミカ 准教授	山根 徹也 欧米社会史 ヤマネ テツヤ 准教授
乙坂 智子 文化交流史 オトサカ トモコ 准教授	滝田 祥子 多文化社会論 タキタ サチコ 准教授	平松 尚子 フランス文化論 ヒラマツ ナオコ 准教授	渡會 知子 社会理論 ワタライ トモコ 准教授
小幡 敏行 中国文化論 オハタ トシユキ 准教授	高橋 寛人 現代教育論 タカハシ ヒロト 教授	松本 郁代 日本文化史 マツモト イクヨ 准教授	和仁 道郎 経済社会論 ワニ ミチロウ 准教授

国際都市学系

青 正澄 地球環境政策論 アオ マサズミ 教授	小野寺 淳 アジア地域論 オノデラ ジュン 教授	齊藤 広子 不動産マネジメント論 サイトウ ヒロコ 教授	三輪 律江 市民まちづくり論 ミワ ノリエ 准教授
石川 永子 都市防災計画論 イシカワ エイコ 准教授	影山 摩子弥 比較社会システム論 カゲヤマ マコヤ 教授	鈴木 伸治 景観まちづくり論 スズキ ノブハル 教授	山崎 和美 アジア近現代史 ヤマザキ カズミ 准教授
上村 雄彦 グローバル政治論 ウエムラ タケヒコ 教授	木村 琢郎 グローバル地理学 キムラ タクロウ 教授	瀬田 真 国際法 セタ マコト 准教授	吉田 栄一 グローバル協力論 ヨシダ エイチ 准教授
大島 誠 都市政策論 オオシマ マコト 准教授	Ghimire Kleber グローバル経済論 ギミールクレベール 教授	中西 正彦 都市計画論 ナカニシ マサヒコ 准教授	
大塚 章弘 都市の経済と政策 オオツカ アキヒロ 准教授	後藤 寛 都市解析 ゴトウ ユタカ 准教授	廣田 全男 地方自治論 ヒロタ マサオ 教授	

経営科学系

赤羽 淳 企業論 アカバナ ジュン 准教授	鞠 重鎬 財政学 クック ジュンホ 教授	中條 祐介 国際会計論 ナカジョウ ユウスケ 教授	丸山 宏 経営財務 マルヤマ ヒロシ 教授
芦澤 美智子 経営管理論 アシザワ ミチコ 准教授	黒木 淳 管理会計論 クロキ マコト 講師	中園 善行 マクロ経済学 ナカゾノ ヨシユキ 准教授	三浦 敬 会計学原論 ミウラ タカシ 教授
岩佐 朋子 ビジネスエコノミクス イワサ トモコ 准教授	坂口 利裕 地理情報システム論 サカグチ トシヒロ 教授	長畑 周史 会社法 ナガハタ シュウシ 准教授	安川 文朗 医療経営論 ヤスカワ フミアキ 教授
大澤 正俊 民法・物権 オオサワ マサトシ 教授	柴田 典子 マーケティング論 シバタ ノリコ 准教授	永松 陽明 経営情報論 ナガマツ アキラ 准教授	山藤 竜太郎 国際経営論 ヤマフジリュウタロウ 准教授
太田 暎 国際経済学 オオタ ルイ 准教授	白石 小百合 計量経済学 シライシ サユリ 教授	中村 彰宏 ミクロ経済学 ナカムラ アキヒロ 教授	吉永 崇史 経営組織論 ヨシナガ タカシ 准教授
大西 純 人的資源管理論 オオニシ ジュン 教授	随 清遠 金融論 ズイ セイエン 教授	中山 健 経営戦略論 ナカヤマ タケシ 教授	和田 淳一郎 公共経済学 ワダ ジュンイチロウ 教授
鴨志田 晃 サービスビジネス論 カモシダ アキラ 教授	高橋 隆幸 税務会計論 タカハシ タカユキ 准教授	西島 益幸 ゲーム理論 ニシジマ マスユキ 教授	
康 聖一 情報の経済学 カン ソンイル 教授	張 櫻馨 商業簿記 チャン インシン 教授	藤崎 晴彦 原価計算論 フジサキ ハルヒコ 准教授	

理学系物質科学コース

石川 裕一 天然物有機化学 イシカワ ユウイチ 准教授	小泉 和之 多変量解析・数理統計学 コイズミ カズユキ 助教	立川 仁典 量子物理化学 タチカワ マサノリ 教授	Ruggero Micheletto 知覚情報 ルジェロ ミケレット 教授
及川 雅人 天然物有機化学 オイカワ マサト 教授	小屋 良祐 数論的幾何 コヤ ヨシヒロ 教授	橘 勝 材料物性科学 タチバナ マサル 教授	村田 秀信 無機材料・物性 ムラタ ヒデノブ 助教
大月 俊也 統計力学 オオツキ トシヤ 教授	三枝 洋之 光化学 サイグサ ヒロユキ 教授	塚田 秀行 有機分子化学 ツカダ ヒデアキ 教授	望月 桂 生物無機化学 モチヅキ カツラ 教授
小野 陽子 統計学 オノ ヨウコ 准教授	重田 諭吉 表面科学 シゲタ ユキチ 教授	戸坂 亜希 表面科学 トサカ アキ 助教	山田 重樹 固体物理 ヤマダ シゲキ 准教授
北 幸海 量子化学 キタ ユキウミ 准教授	篠崎 一英 無機光化学 シノザキ カズテル 教授	野々瀬 真司 物理化学 ノノセ シンジ 准教授	横山 崇 表面・ナノ構造物性科学 ヨコヤマ タカシ 教授
木下 郁雄 固体電子物性 キノシタ イクオ 准教授	関本 奏子 大気イオン化学 セキモト カナコ 助教	藤井 一幸 数理物理学 フジイ カズユキ 教授	吉本 和生 固体地球物理学 ヨシモト カズオ 教授
金 亜伊 地震学 キム アイ 准教授	高見澤 聡 無機化学 タカミザワ サトシ 教授	藤田 慎也 グラフ理論 フジタ シンヤ 准教授	
清見 礼 アルゴリズム工学 キヨミ マサシ 准教授	高山 光男 質量分析学 タカヤマ ミツオ 教授	本多 尚 固体物性科学 ホンダ ヒサシ 准教授	

理学系生命環境コース

足立 典隆 分子生物学 アダチ ノリカ 教授	川浦 香奈子 植物ゲノム科学 カワウラ カナコ 准教授	嶋田 幸久 植物応用ゲノム科学 シマダ ユキヒサ 教授	東 昌市 生体分子機能制御学 ヒガシ ショウイチ 教授
荒谷 康昭 免疫生物学 アラタニ ヤスアキ 教授	木下 哲 植物エビゲノム科学 キノシタ テツ 教授	田中 一朗 植物細胞遺伝学 タナカ イチロウ 教授	藤井 道彦 不老長寿学 フジイ ミチヒコ 准教授
一色 正之 植物工学 イツシキ マサユキ 准教授	沓名 伸介 植物ゲノム生理学 クツナ シンスケ 准教授	辻 寛之 育種学 ツジ ヒロユキ 准教授	丸山 大輔 植物分子・生理科学 マルヤマ タイスケ 助教
内山 英穂 再生発生学 ウチヤマ ヒデホ 教授	小島 伸彦 再生生物学 コジマ ノブヒコ 准教授	中村 郁子 植物応用ゲノム科学 ナカムラ アヤコ 助教	山本 敏文 分子精神薬理学 ヤマモト トシフミ 教授
大関 泰裕 糖鎖生物学 オオセキ ヤスヒロ 教授	佐藤 友美 内分泌学 サトウ トモミ 教授	仁科 行雄 細胞生物学 ニシナ ユキオ 准教授	
Robert A. Kanaly 分子毒性学 ロバートカナリー 教授	塩田 肇 植物発生生物学 シオタ ハジメ 准教授	坂 智広 植物遺伝資源科学 バン トモヒロ 教授	

理学系生命医科学コース

明石 知子 構造生物化学 アカシ サトコ 准教授	片岡 浩介 生体機能医科学 カタオカ コウスケ 准教授	佐々木 幸生 神経細胞生物学 ササキ ユキオ 准教授	J.R.H. Tame 分子生物学 ジェレミーロビンティム 教授
荒川 憲昭 分子生物学 アラカワ ノリアキ 助教	川崎 ナナ プロテオーム科学 カワサキ ナナ 教授	佐藤 衛 構造生物学 サトウ マモル 教授	長土居 有隆 構造生物学 ナグドイ アリタカ 助教
有田 恭平 構造生物学 アリタ キョウヘイ 准教授	川崎 博史 タンパク質科学 カワサキ ヒロシ 准教授	鈴木 厚 分子細胞生物学 スズキ アツシ 准教授	禾 晃和 構造生物学 ノギ テルカズ 准教授
池上 貴久 構造生物学 イケガミ タカヒサ 教授	木寺 詔紀 計算生物学 キデラ アキノリ 教授	高井 直樹 生化学 タカイ ナオキ 助教	朴 三用 構造生物学 パク サンヨン 教授
池口 満徳 計算生物物理学 イケグチ ミツノリ 教授	古久保 哲朗 遺伝子発現制御学 コクボ テツロウ 教授	高橋 栄夫 構造生物学 タカハシ ヒデオ 教授	林 郁子 構造生物科学 ハヤシ イクコ 准教授
小川 毅彦 再生医学 オガワ タケヒコ 教授	坂倉 正義 構造生物学 サカクラ マサヨシ 助教	竹居 光太郎 神経生物学 タケイ コウタロウ 教授	湖上 壮太郎 理論生物物理学 フチガミ ソウタロウ 助教

医学部

常に医療・看護の原点に立ち、豊かな人間性や倫理観を重視する教育を展開。



医学科 ⇒P.50~

求める
学生像

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性、高いコミュニケーション能力を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学習意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 自ら生活習慣を改善し、健康推進に取り組む意欲を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人

看護学科 ⇒P.58~

求める
学生像

- 生命と個人の尊厳を尊ぶ姿勢のある人
- 高い責任感・使命感・倫理観を有する人
- 向学心を有する人
- 看護実践者として社会に貢献する意欲のある人
- 将来、看護実践における問題や課題に着目し、解決することへの学習意欲のある人

教員
メッセージ

社会の新しい仕組みを提案できる真の知力を養おう。



医学部長 教授
井上 登美夫 (いのうえ とみお) ■放射線医学

少子高齢化の時代、医療人が果たすべき使命はますます重要になっています。公立大学としての横浜市立大学医学部には、横浜市民、神奈川県民の医療全般を全うする責任があります。また、一方で社会のグローバル化に対応できる人材の育成が看護学・医学・医療の分野でも求められつつあります。このような時代の要請に応えることのできる“使命感あふれる医師・医学研究者・看護師・保健師・看護学研究者を育てたい”と考えています。

では、このような時代に医療人が備えるべきものは何でしょうか。それは専門知識と卓越したスキルに宿るべき倫理感です。患者さんに寄り添える細やかな心配りが、これからの医療には不可欠です。また、物事の真理を探究するリサーチマインドを養い、ひとつの事象に対して多角的な視点をもつ姿勢も大切です。そうした医療人としての深みは、医療に関わるすべての者が連携し、情報や意見の自由な交換から育まれます。横浜市立大学は附属2病院を有し、看護学科・医学科ともに実践的な教育を受けることができる恵まれた環境があります。

医学部教育の特徴

実習施設としての2つの附属病院

最新かつ高度な医療技術を実体験から学べる場

附属病院は29の診療科、654床を有する横浜市内で唯一の特定機能病院です。高度かつ先進的な医療を提供するとともに、医学研究成果を実際の医療へ応用する「トランスレーショナルリサーチ」など、臨床医学研究を積極的に行っています。

附属市民総合医療センターは、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、小児総合医療センターなどを含めた10の疾患別センターと20の診療科から構成され、高度専門医療と難度の高い急性期医療を担っています。この最新かつ高度な医療技術が導入された附属2病院を、医学科では5・6年生の主な実習の場として活用し、看護学科では全学年を通して病院実習を行うことができます。医学部ではこの恵まれた実習環境で、医学・医療の分野における指導的医師・研究者を育成しています。

附属2病院の紹介は [⇒P.66](#)



附属病院

- 診療科(29診療科)
 - 病床数654床
 - 外来患者数約1,900人/日
 - 手術件数約6,200件/年
 - 分娩件数約430件/年
- (平成27年度実績)



附属市民総合医療センター

- 疾患別センター(10センター)
 - 診療科(20診療科)
 - 病床数726床
 - 外来患者数約2,000人/日
 - 手術件数約7,900件/年
 - 分娩件数約1,200件/年
- (平成27年度実績)

優れた医療人を育成するカリキュラム

医学科

グローバル化や超高齢社会など急激な社会構造の変化により、医学・医療の分野では、これまでよりも早いスピードで高度化、専門化が進んでいます。医学科では、こうした時代の変化にも適切に対応できる優れた実践能力とリサーチマインドを持った人材を育成しています。

- ・ シミュレーターの活用などによる医療体験教育の充実
- ・ 地域における福祉、保健、医療施設での実習の充実
- ・ 基礎、臨床教室での体験型学習としての教室体験演習や研究実習(リサーチ・クラークシップ)の実施
- ・ 学生参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)の推進
- ・ 学生、教職員の積極的な学習意欲に応える講演会、FDなどの実施



看護学科

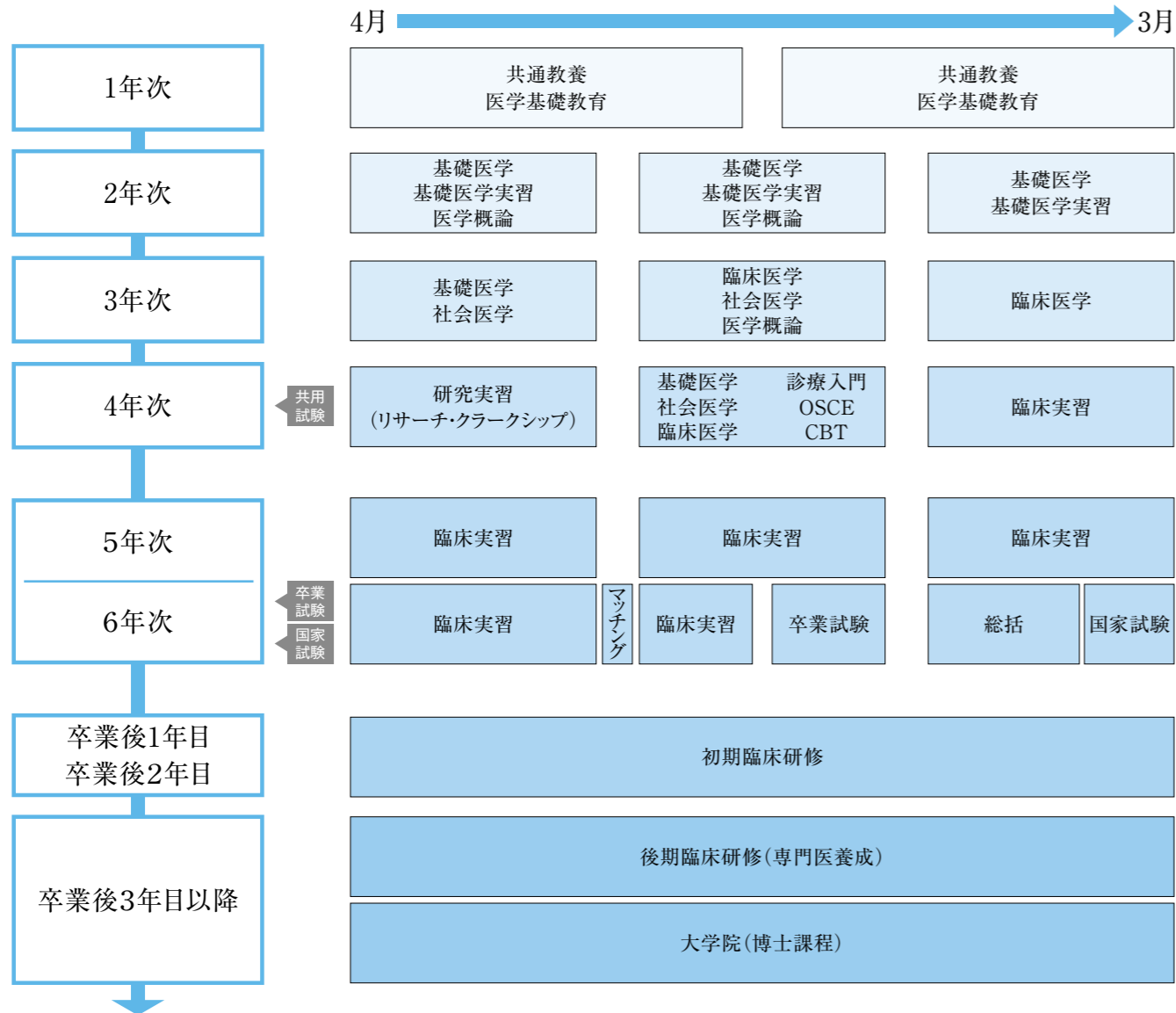
看護学科では、1年次に金沢八景キャンパスにてPractical English・教養ゼミ・総合講義などの共通教養科目を、他学部・他学科の学生と合同で学びます。あわせて専門支持科目・専門科目の履修も始まり、一部の科目は福浦キャンパスにて授業を受けます。2年次からは学生生活の拠点が福浦キャンパスへ移り、本格的な専門教育が始まります。各領域の授業科目、実習などを履修して、4年次に学びの成果を卒業論文にまとめます。



医学科

新しい時代の医学・医療を担う医療人を育成。

医学科では、大学院医学研究科、附属2病院と連携して医学教育を行い、医学・医療分野における課題を解決するための創造的研究を推進し、最新の医療技術を臨床現場に導入して、全人的医療を実践できる人材の育成を目指しています。教育カリキュラムを通じて、地域医療の担い手たるプライマリ・ケア医をはじめとする医師に加え、生命科学・医学・医療の分野をリードする臨床医・医学研究者・医学教育者・医療行政官など、医学・医療の分野における指導的医師・研究者を育成します。基礎科学から先端医療まで、幅広い分野で活躍するための基本となる医学・医療倫理と知識・技術の修得にも大きく力を入れています。



医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の福浦キャンパスでの「医学科専門教育科目」のカリキュラムから成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム(文部科学省が提言する学習ガイドライン)を踏まえて学習します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習などを履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は医学知識の学習レ

ベルを評価するCBTと診療技能や態度を評価するOSCEから成ります。両方に合格しないと臨床実習に進むことができません。附属病院か附属市民総合医療センターでの臨床実習を終え、卒業試験ですべての必修科目に合格すると卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、学生一人ひとりに担当が配置され、就学面をサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を取っています。

1年次・5年次

医学基礎教育



教養ゼミ、Practical Englishに加えて、物理学・化学・生物学・臨床心理学などの分野を学習し、専門教育を受けるための基盤となる知識や考え方を修得します。また、医療を実践するうえで必要不可欠な探求心・想像力・柔軟な思考力・コミュニケーション力などを養うため教室体験演習を行い、診療や研究が行われている医療現場や教育における活動を体験します。さらに、英語力を医療現場で活かせる能力を養うため、5年次で医学英語を学びます。

2年次～4年次

基礎医学



医学の基礎となる学問領域で、正常な人体の構造と機能、およびさまざまな疾患の原因と引き起こされる病態・薬物の作用などについて、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで、幅広い視点から学習します。解剖・発生学、組織学、分子細胞生物学、生化学、生理学、微生物学、薬理学、免疫学、基礎病理学、遺伝学、再生医学などについて、講義、演習、実習を通して、知識、論理的な考え方と研究手法を学びます。

3年次～4年次

社会医学



個人と集団、健康に影響するさまざまな環境や社会要因、政策との繋がりについて学びます。疫学や予防医学、臨床統計学、地域保健医療学、法医学などについて理解を深め、最終学年では地域保健医療学を学ぶ一環として、診療所などの地域医療機関や保健所で地域保健医療学実習も行われます。

2年次～3年次

医学概論



医師には、さまざまな医療スタッフと連携して患者さんと信頼関係を築くことが求められます。医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズムのほか、患者と医師の関係のためのコミュニケーション技法などについて、医療倫理学や医療コミュニケーション論などの科目を通して学びます。

3年次～4年次

臨床医学



臨床医および医学研究者になるために必要不可欠な臨床医学の基本的な重要事項について、主に講義による授業を通して学びます。内科系科目として、アレルギー・膠原病学、血液学、呼吸器内科学、感染症学、循環器内科学、腎臓内科学、内分泌・代謝学、神経内科学、脳卒中医学、消化器内科学、外科系科目として、外科学、産婦人科学、麻酔科学、救急医学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、皮膚科学、泌尿器科学、整形外科、眼科、口腔外科学、および内科系・外科系以外の科目として、小児科学、精神医学、放射線医学、リハビリテーション医学、形成外科学、臨床薬理学、東洋医学、臨床検査医学、臨床腫瘍学などを学びます。また、症候と病態について、問題基盤型の授業(PBL)やチーム基盤型(TBL)の授業も行われます。

4年次

研究実習

(リサーチ・クラークシップ)



基礎医学教室または臨床医学教室に15週間所属して、医学研究に参加します。医療人として医学知識と医療技術を駆使するためには、科学的な視点を培う必要があります。この科目では、研究手法の習得にとどまらず、それらを基に未解明の医学的課題に取り組むための倫理性を養い、問題解決能力を身に付けることを目的とします。研究体験を通して、医学、医療の進歩を継承し、さらなる発展に貢献するための考え方や心構えを身に付けます。

4年次

診療入門



診療に関する基本知識・技能・態度について学びます。また、医療面接法や身体診察法などの診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの実践的な学習内容(実技や態度)は、共用試験(OSCE)により評価されます。

4年次～6年次

臨床実習

(クリニカル・クラークシップ)



4年次までのすべての科目と共用試験(CBT・OSCE)に合格すると、スチューデントドクターとして、クリニカル・クラークシップと呼ばれる診療参加型の病棟実習を行う資格が与えられます。チームの一員として診療に参加し、上級医の指導のもとさまざまな職種とのスタッフと連携して、患者さんとの間に信頼関係を築くことを学びます。また、ケース・プレゼンテーション、診療計画の立案、カルテ記載、侵襲度の高い医療行為などを行います。



永石 妙美 (ながいし たえみ)
医学科 2年
神奈川県立横浜国際高等学校卒

学生の声 大学と地域、教員と学生の距離が近いのがYCUの魅力です。

YCUの魅力は、大学と地域の距離の近さです。福祉施設実習では、障害のある方やご家族の地域生活を支援する施設で、利用者や職員の皆さんにケアのあり方を教えていただきました。学生が地域の方々に育てられていると感じ、社会に対して責任を果たす医師になりたいと思う1年間でした。教員と学生との距離の近さもYCUの魅力です。教室体験演習や自然科学基礎実験などで基礎医学や臨床医学の先生方と接点ができ、何かと相談したり研究室を訪れたりしています。懇切な助言や勉強の機会をくださる先生方、熱意ある同級生や先輩方に恵まれ、日々楽しく学んでいます。

1年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1	APE V	教養ゼミ			
2	APE V	教養ゼミ			
3	化学結合と構造	倫理学			社会統計学 I
4	微分と積分	行列とベクトル	生体分子と細胞	総合講義 (医療と社会)	総合講義 (科学技術の創成)
5	総合講義 (現代社会とジェンダー)		リメディアル講座 (基礎物理学)	病気を科学する	総合講義 (生命科学と環境)

学生の声 海外の研究室への留学、仲間との語らい、そのすべてが自分の成長につながっています。

小6の時に葉山ハートセンターで見学した心臓血管バイパス術への純粋な感動が、自分をこの道に導いてくれました。幅広い視野を持つ学生になろうと選んだのは他学部との交流もあるYCU。部活動やサークルで出会えた仲間は、お互いに本気で語り合い、刺激し合える大切な存在です。学習面では、4年次に海外への研究室留学という貴重な経験もできました。また、5年次からの病棟実習ではstudent doctorとして患者さんと直接に関わり、チームの一員として医療に携わっています。日々充実した学生生活を通し、毎日の経験が自分の成長に繋がっていると実感しています。

4年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2					
3	リサーチ・クラークシップ	リサーチ・クラークシップ	リサーチ・クラークシップ	リサーチ・クラークシップ	リサーチ・クラークシップ
4					
5					



太田 慧子 (おおた けいこ)
医学科 5年
東京都 国立東京学芸大学附属高等学校卒



久米 菜緒 (くめ なお)
医学科 3年
神奈川県 私立横浜雙葉高等学校卒

学生の声 多くの学びとさまざまな人との交流から医師としてのビジョンを確立したい。

2年次から福浦キャンパスに移動し、医学生としての学校生活が始まりました。前期にはご献体の解剖実習、後期にはあらゆる分野の研究をしている先生方との実習や、実際に顕微鏡で組織を観察する組織実習など、毎日の授業や実習が密で医学生であることの自覚や責任感が芽生えた学年でした。YCUでは研究も盛んで、その研究に携わっている先生方と深く交流できる実習はとても充実していました。これからも同級生、サークルそしてアルバイトを通してたくさんの人、たくさんの年代の方と触れ合い、医師としての価値観や将来のビジョンをYCUで考えていけたらと思っています。

2年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
2	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
3	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学
4	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学
5					

学生の声 皮膚縫合や腹腔鏡手術など実践に近い環境で知識も技術も学べます。

医師を志したのは、外科医となり多くの患者さんの苦しみを取りたいという思いから。しかし多くの医学部では座学が中心であり学生が手術などの手技を学ぶ機会は多くありません。YCUでは学生でも皮膚縫合や腹腔鏡手術、胃カメラ・大腸カメラ、心肺蘇生など、手技のトレーニングができる環境があります。また私自身、課外活動で中学・高校生に大学で学んだ外科手技を教えることなどを通して、学ぶ喜びとそれを教える喜びを感じることができました。学生のうちからより実践に近い環境で知識や技術を習得したいと考えている人は、ぜひYCUで多くを学んでもらいたいと思います。

5年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2					
3	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
4					
5					



窪田 硫富人 (くぼた りくふと)
医学科 6年
神奈川県 私立聖光学院高等学校卒



正木 哲寛 (まさき てつひろ)
医学科 4年
神奈川県 私立栄光学園高等学校卒

学生の声 仲間とともに目標に進むスタンスは、チーム医療に通じるものがあります。

医学の知識は膨大かつ多岐にわたりますが、根気強くそれらを紐解いてくれる熱心な先生方によるYCUのカリキュラムを経て、体系的に整理されていくのを感じました。特に3年次から始まった臨床医学の講義を受け、医師になるという実感と重責を感じる毎日です。また、部活動が活発であることもYCUの特色の一つです。私はバレーボール部に所属していますが、さまざまな能力・考え方を持つ仲間たちとともに目標に向かって努力することを通じて得た経験は、多職種が連携するチーム医療の中心となる際に大きな財産になると確信しています。

3年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1	病態代謝生理学	環境分子医学	法医学	疫学・社会予防医学	病態代謝生理学
2	病態代謝生理学	環境分子医学	法医学	疫学・社会予防医学	病態代謝生理学
3	基礎病理学	薬理学実習	基礎病理学	疫学・社会予防医学	基礎病理学
4	基礎病理学	薬理学実習	基礎病理学	疫学・社会予防医学	基礎病理学
5					

卒業生の声 世界で活躍したいという夢に踏み出す機会にあふれた環境です。

在学中に西海岸のサンディエゴ、サンフランシスコに留学する機会を得られ、夢として描いていた“世界中を飛び回り目の前で困っている患者さんを治したい”の第一歩を踏み出すことができました。医療の最先端を進む米国では、技術を限界まで極めたプロフェッショナルたちが互いに協力して働く“効率化された医療現場”を目の当たりにし、とても驚きました。YCUは、世界に目を向けた指導に力を入れていて、近年米国を目指す意欲の高い学生も増え、サークル活動、医学英語を意識した勉強会が盛んに行われています。みなさんもYCUから私たちとともに世界に羽ばたいてみませんか？

平成28年度より研修医として勤務



能條 眞 (のうじょう まこと)
平成28年3月卒業
神奈川県 私立桐光学園高等学校卒

医学教育センター

探求心(リサーチ・マインド)を持った医療人へ



本学医学部および2つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図ることにより、リサーチマインド(探求心)を持った優れた臨床医・医学研究者を育成することを目的としています。

「医学教育センター」はYCUにおける「教育重視」、「学生中心」、「地域貢献」の3つの基本方針のもとに、公立大学の使命としての地域医療の充実や「国際都市横浜」ならではの国際標準を踏まえた質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

医学教育センターの取り組み

新入生合宿

医学科では例年、入学直後の5月に1泊2日の「新入生合宿」を行っています。
平成28年度の新入生合宿では医学科教員からの講話をはじめ、国際総合科学部教員による授業、実際にYCUの医学科で学んでいる先輩たちからの体験談などを聞いた後、グループワークで与えられたテーマについて仲間とじっくりと議論し、2日目に全体発表を行いました。合宿終了後のアンケートでは、9割以上の学生が「学習のモチベーション向上につながった」と回答していました。こうした活動から医学生としての自覚、高いモラル、協調性を確立し、以降の学生生活へのモチベーションを高めています。



グループワーク

グループワーク発表会



医師国家試験対策

医学教育センター試験管理部門のバックアップにより、医師国家試験の合格率は日本の大学でもトップクラスを維持しています。

詳細は ▶P.93~

リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ(研究実習)が始まり、15週間の医学研究に参加します。リサーチ・クラークシップの目的は、各教室の研究活動に一定期間主体的に関わることで、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組むこと」、「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らないこと」といった物事の本質に迫ろうという姿勢—リサーチ・マインド—を養成することです。
科学的根拠、発想に基づいた新しい診断、新しい生命現象や病態解明、疾患の診断・治療を開発していくリーダー的な医師・医学研究者を養成するためには学生のうちから、リサーチ・マインドを養成することが重要であると考えています。



リサーチ・クラークシップ配属先

配属先	人数
横浜市立大学 基礎研究系教室	24
横浜市立大学 臨床研究系教室	41
東京大学 理学研究科	1
東京工業大学 科学技術創成研究院	2
東京工業大学 生命理工学研究科	1
東京工業大学 ソリューション研究機構	1

配属先	人数
国立感染症研究所	3
国立成育医療研究センター	2
医薬基盤・健康・栄養研究所	1
神奈川県立がんセンター 臨床研究所	1
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	1
シンガポール国立大学	2

平成28年度実績



学生の声 YCUで学ぶ誇りをもってさまざまな見地から医療に貢献したい。

私は小学校・中学校と横浜市立の学校で、幼い頃から自分の住んでいる街に親しみと愛着心を持っていました。私にとってYCUは最も身近な大学であり、そこで医師となり市民の役に立ちたくて入学しました。医学科での講義では、医療の国際化に先駆けグローバルな視点で考える力を養う機会があり、その中で自分が興味を持ったことはとことん突き詰めることができる環境があります。4年次には、医学研究のためにアメリカ・カリフォルニア大学に留学することで、知見を広めることができました。また、所属する分子医学研究会では他の学生たちとさまざまな議論を深め、充実した生活を送っています。今では世界に目を向けさまざまな角度から医療に貢献できる医師を目指しています。YCUで学ぶことは自分にとっての誇りです。

中村 亮太 (なかむら りょうた)

医学科 5年
神奈川県立神奈川総合高等学校卒

■配属先：カリフォルニア大学 サンディエゴ校

医学科

シミュレーションセンター

最先端の医療を支える、高度なシミュレーションを提供



YCUのシミュレーションセンターは、医学部学生、医師、看護師等の医療従事者のスキルアップを行い、附属病院で安全で質の高い医療を提供するとともに、地域社会に貢献することを目的に平成19年に開設しました。現在では年間約8,000名以上の方が利用しています。当センターには腹腔鏡手術、内視鏡検査や救命救急のトレーニング

のための高機能シミュレーターなど、数多くの機材を取り揃えており、医学部のカリキュラム以外にも、医学科学生を対象とした多くの講習会を定期的開催しています。医学部学生はもちろん、現役の医師も、技術向上のために日々トレーニングをしています。

実習・講習会を多数実施

医学科のカリキュラムの中では、心音の聴診を行う医学科2年生の生理学実習や、医学科5、6年生の病棟実習中のトレーニングを中心に、当センターで実習が行われます。それ以外にも学生・研修医を対象とした外科手術手技の講習会を行う「外科寺子屋」や、臨床研修開始前に基本的な診療技能の実習などを行っています。外科寺子屋は医学科1年生から参加することができ、入学直後から、最先端の医療を体験することができます。



オープンキャンパスでシミュレーション体験!

毎年行っている医学科 夏のオープンキャンパス(平成28年は8月27日(土)に開催)では、シミュレーションセンターの機器を使って、医療体験を行うことができます。腹腔鏡シミュレーター、採血シミュレーター、救急蘇生のシミュレーターなど、実際に学生が実習で使用する物品を利用できます。減りに体験できないシミュレーション体験に、ぜひお越しください!



昨年のオープンキャンパスの様子

医学科領域紹介

基礎医学系

[基礎系教室名]

組織学	R I 研究センター	遺伝学
神経解剖学	微生物学	社会予防医学
循環制御医学	免疫学	臨床統計学
生理学	病態病理学	法医学
生化学	分子病理学	医学教育学
分子生物学	臓器再生医学	医療情報学
薬理学	実験動物医学	



臨床医学系

[臨床系教室名]

血液・免疫・感染症内科学	消化器・腫瘍外科学	放射線医学
呼吸器病学	麻酔科学	精神医学
循環器・腎臓内科学	救急医学	眼科学
消化器内科学	脳神経外科学	視覚再生外科学
肝胆膵消化器病学	産婦人科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
内分泌・糖尿病内科学	小児科学	皮膚科学
神経内科学・脳卒中医学	泌尿器科学	口腔外科学
がん総合医科学	運動器病態学	総合診療医学
外科治療学	形成外科学	リハビリテーション科学



看護学科

明日の看護のリーダーへ。

看護学科は、1898年(明治31年)に創設された横浜市立十全看護婦養成所が源流となり、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。看護学の専門教育機関として関係職種や地域住民とも連携し、人々の健康や生活の質の向上に貢献し、高度先端医療を担い、新しい時代の実践の場を改革できる、誇り高い人材の育成を目指しています。



		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教養科目		語学は Practical English 3単位 もしくは Essential Practical English 2単位 + 看護英語1単位								
		情報コミュニケーション入門 教養ゼミ								
		【総合講義(4単位選択必修)】								
		【基礎科学講義】 病気を科学する 生物学入門				【基礎科学講義】 心を科学する 倫理学				
専門支持科目	看護生命科学	看護形態・機能学 I 看護形態・機能学 II		看護生化学 看護微生物学 看護栄養学		看護薬理学 看護形態・機能学演習* 臨床病態看護学II				
	看護社会科学			保健医療統計学 社会福祉学 保健福祉行政論		人間発達学 公衆衛生学 対人関係論		対人関係論演習* 医療安全学* 看護経済学*		
専門科目	健康生活基礎看護学	基礎看護学		看護学概論 基礎看護学 I 基礎看護学 II 基礎看護学実習 I		基礎看護学助産 II 基礎看護学助産 III 基礎看護学方法論 II 基礎看護学実習 II				
	健康生活応用看護学 I	成人看護学 I 成人看護学 II			成人看護学概論 成人看護学方法論 I 成人看護学方法論 II 成人看護学演習 I		成人看護学演習 II 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II		成人看護学実習 III	
		母性看護学			母性看護学概論 母性病態・治療学		母性看護学方法論 母性看護学演習		母性看護学実習	
	小児看護学			小児看護学概論 小児病態・治療学		小児看護学方法論 小児看護学演習		小児看護学実習		
		老年看護学			老年看護学概論 老年看護学方法論		老年看護学演習 老年看護学実習 I		老年看護学実習 II	
	精神看護学			精神看護学概論 精神病態・治療学		精神看護学方法論 精神看護学演習		精神看護学実習		
	健康生活応用看護学 II	在宅看護学			在宅看護学概論		在宅看護学方法論 I 在宅看護学方法論 II		地域看護学実習 II	
		地域看護学			地域看護学概論 地域看護学実習 I		地域看護学方法論 I 地域看護学方法論 II		地域看護学演習 I 地域看護学演習 II 地域看護学実習 III	
	健康生活統合看護学	統合実践看護学	看護の統合と実践 I (看護学の紹介)				看護の統合と実践 II (卒業研究 I)		看護の統合と実践 III (統合実習) 看護の統合と実践 IV (卒業研究 II)	
		専門共通看護学			看護倫理学 家族看護学 感染看護学*		災害看護学		看護管理学 看護教育論*	
国際看護学				国際看護学 I 国際看護学 II						

専門支持科目の看護形態・機能学演習もしくは、対人関係論演習より1科目1単位選択必修。 *印は、選択科目を示す。 下線の科目は、保健師課程(選択制)のみ必修科目。

看護学科カリキュラムの概略と進捗

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動

の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業の認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(選択制)が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を取っています。

- 取得できる資格 ●看護師国家試験受験資格
●保健師国家試験受験資格(選択制)

1年次～2年次 看護生命科学



看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤となる身体の形態・機能などに加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態・機能学I～II、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学I・IIなどを配置しています。さらに身体各部の構造や位置関係および生理機能について演習を通して理解を深めるために選択科目として看護形態・機能学演習を配置しています。

2年次～4年次 看護社会科学



看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支える仕組みを広く理解する科目である人間発達学・対人関係論・社会福祉学・保健福祉行政論・公衆衛生学などを配置しています。さらに選択科目として医療安全学・看護経済学のほか、心理学の諸理論を用いて医療・看護の対象である人の心理プロセスを理解できるようにゼミ形式で行う対人関係論演習なども配置しています。

1年次～2年次 健康生活基礎看護学



健康生活基礎看護学は、基礎看護学を配置し、後続する健康生活応用看護学I・IIならびに健康生活統合看護学の基盤となる内容を学習します。バイタルサインやフィジカルアセスメント、日常生活を整える援助、診療の補助、看護を提供する際に用いられる科学的思考過程などについて、講義・演習・実習を通して学びます。具体的には、看護学概論、基礎看護学方法論I～II、基礎看護学助産I～III、基礎看護学実習I～IIの科目を配置しています。

2年次～4年次 健康生活応用看護学 I



健康生活応用看護学Iは、成人看護学I・II・母性看護学・小児看護学・老年看護学・精神看護学の6領域から構成されています。ここでは人間の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防、健康破綻や課題を有する人々の看護や精神機能の障害や危機状態にある患者・家族の看護について学習します。各看護学は概論、方法論、演習、実習で構成され、体系的に学べるよう配置しています。

2年次～4年次 健康生活応用看護学 II



健康生活応用看護学IIは、在宅看護学・地域看護学で構成されており、個人・家族・集団・地域の健康の回復、維持、増進に焦点をあて、地域で生活する人々への看護実践に求められる知識、技術、資質の育成を図ります。また、保健医療福祉における看護の役割と機能、看護活動の在り方についての理解を深めます。科目は在宅看護学概論、在宅看護学方法論I・II、地域看護学概論、地域看護学方法論I～III、地域看護学実習I・IIなどを配置しています。選択制として保健師教育課程があり、科目として地域看護学演習I・II、地域看護学実習IIIを配置しています。

1年次～4年次 健康生活統合看護学



健康生活統合看護学は、統合実践看護学、専門共通看護学、国際看護学より構成されています。統合実践看護学はI～IVで構成されており、Iでは看護学の紹介、IIでは看護実践の向上に関わる課題探究に向けて研究方法論を学び、IIIでは看護実践活動の中から、各自テーマを持ち看護実践をします。そして、IVでは実践した課題追求の成果を看護学の体系の中で科学的に論証し卒業論文としてまとめます。専門共通看護学は、健康生活応用看護学I・IIに横断的に関与し、健康生活応用看護学をより円滑に理解できる科目群として、感染看護学、看護管理学、家族看護学などを配置しています。



リーダーシップを発揮できる、優れた人材を育成。

看護学は、新生児から高齢者まで幅広い対象の方々へ健康的な生活を送る、もしくは人生を全うできるよう支援する方法を探究する学問です。人の体についての基本的な知識はもちろんのこと、心理面や社会面に関する幅広い知識が必要とされます。少子高齢社会といわれる現代社会で看護職の需要は増える一方です。国際都市横浜にある総合大学であるYCUでは、幅広い教養と看護学を学び、将来リーダーシップをとることができる看護職の育成を目標としています。このような看護職を目指す方々の入学を教職員一同お待ちしております。

看護学科長 教授 叶谷 由佳 (かのや ゆか) ■老年看護学





長尾 晏寿美 (ながお あずみ)
看護学科 2年
神奈川県 横浜国立大学附属サイエンスフロンティア高等学校卒

学生の声 幅広い視野を持つ看護師になるため、看護の現場を体験しながら学ぶことができます。

看護学科へ進んだ理由は、患者さんと向き合い、寄り添う看護師になりたいという思いから。2つの附属病院があり、実習環境が充実していることと、1年次に他の学部の学生との交流ができ、さまざまな考えを持った人と関わることからYCUを選びました。早い時期にPractical Englishを修得したことで、言語、国際関係、科学関係などさまざまな分野の授業を受講することができ、視野を広げることができました。また、1年次から実習があり実際の看護の現場を体験するので、授業で習ったことの確認はもちろん、自分に足りないところを再確認する良い機会にもなりました。

1年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1	フランス語教養基礎I		フランス語教養基礎I	教養ゼミ	フランス語教養基礎I
2		多文化交流ゼミ(外国人の日本人研究)	情報コミュニケーション入門	教養ゼミ	
3	看護学概論			看護形態・機能学II	生物学入門
4	看護形態・機能学I		総合講義(Education in the world)	総合講義(医療と社会)	
5	看護形態・機能学II			病気を科学する	総合講義(生命科学と環境)

卒業生の声 YCUでの学びと出会いが私自身を成長させてくれました。

看護師を志した頃から救急医療に興味があり、第三次救急医療体制を備えている附属市民総合医療センターや高度な医療を提供する附属病院といった充実した学習環境があるYCUを志望しました。医療者としての多くの経験を持つ先生方の授業、実習での患者さんとの出会いは、私を人として、看護師を目指す者として大きく成長させてくれました。また、学習面だけでなく充実した学生生活を送ることができたのも、修学資金貸与制度など支援が充実しているYCUならではの環境があったからだと感じています。今後はYCUで学んだ看護の知識と技術、感じた気持ちを忘れずに、自らが目指す分野で理想の看護師となれるよう、精進していきます。

横浜市立大学附属市民総合医療センター 就職



宇賀神 真美 (うがじん まみ)
平成28年3月卒業
栃木県立宇都宮中央女子高等学校卒



土屋 花優 (つちや かゆ)
看護学科 3年
千葉県立長生高等学校卒

学生の声 授業の枠を飛び出した実践的な学び、看護師を目指す私に必要な医療現場の今を学べる環境です。

YCUを選んだ理由は、高度で専門的な医療を担う附属病院を有し、実践的で質の高い知識・技術を学ぶことができると考えたからです。看護の各専門領域の先生方の授業だけでなく、附属病院の医師や患者さん、そのご家族の方からお話を聴く機会もあり、実際に行われている医療や病中の思いなど教科書には書かれていないことを学ぶことができます。今後、さまざまな価値観に触れながら、物事を自身で考え、多角的に捉える力を身に付け、人の心に寄り添ったケアができる看護師を目指して勉学に励みたいと考えています。

2年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1	臨床病態看護学I	地域看護学概論	臨床病態看護学I	基礎看護援助論II	保健福祉行政論
2	臨床病態看護学I	母性看護学概論	看護実理学	基礎看護援助論III	保健福祉行政論
3	精神看護学概論	在宅看護学概論	看護倫理学	基礎看護援助論III	看護形態・機能学演習
4	母性病態・治療学	保健医療統計学	看護倫理学	基礎看護方法論II	看護形態・機能学演習
5	精神病態・治療学	保健医療統計学	社会福祉学	基礎看護方法論II	

卒業生の声 実習で患者さんに寄り添った看護を実践し、笑顔が見られる喜びを体感しました。

さまざまな人が集まる日本有数の都市であり、国際都市でもある横浜市で看護を学びたいと思いYCUを選択しました。1人でも多くの人を笑顔にすることができる看護師になりたいと考えていたため、実習で患者さんを受け持った際に常に考えていたのは「その人らしさとは何か」ということ。医師や看護師からアドバイスを受けながら、個性に沿った看護を考え、それを実践。患者さんの笑顔を見ることができたとき、看護の喜びとうれしさを感じました。高度先端医療を行う附属病院が2つあることや、修学資金貸与制度などがあるYCUには看護を学ぶための恵まれた環境があると思います。今後は、患者さんやご家族の生活背景や心にある思いを理解し、寄り添うことができる看護師になれるよう頑張りたいと思います。

横浜市立大学附属病院 就職



川端 菜央 (かわばた なお)
平成28年3月卒業
愛知県 国立名古屋大学教育学部附属高等学校卒



片岡 真貴子 (かたおか まきこ)
看護学科 4年
神奈川県立柏陽高等学校卒

学生の声 実習を終えるたびに、看護職の魅力とやりがいを強く感じています。

附属病院を2つ有している恵まれた学習環境で、実習では、実際に1人の患者さんを受け持ち、看護ケアを考え実践します。臨床の場において患者さんとの出会いの中で感じることや気づくことは非常に多く、学びを深めることができます。実習を終えるたび、患者さんに寄り添い支えるという経験を通して、自分自身も成長できる看護師という仕事への魅力を強く感じています。患者さんやご家族一人ひとりの気持ちを大切にしながら、心身ともにケアすることのできる素敵な看護師となれるよう頑張ります。

3年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1			地域看護方法論II		
2	対人関係論演習	在宅看護方法論I	小児看護方法論	国際看護学II	母性看護演習
3	成人看護演習II	精神看護演習	老年看護方法論		母性看護演習
4	成人看護演習II	精神看護演習	老年看護方法論		
5					

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次生で、YCU卒業後直ちに、附属2病院(附属病院・附属市民総合医療センター)に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。

主な就職・進学先

- <主な就職先>
 - 横浜市立大学附属病院
 - 横浜市立大学附属市民総合医療センター
 - 虎の門病院
 - けいゆう病院
 - 横浜市(保健師)
 - がん研有明病院
- <主な進学先>
 - 横浜市立大学大学院 医学研究科看護学専攻
 - 神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科
 - 新潟大学看護教諭特別別科

国家試験合格状況

本学科では毎年、全国トップクラスの国家試験合格率を実現しています。平成27年度の看護師、保健師国家試験合格率も、全国平均を大きく上回る実績を残しました。この高い合格率を維持するため、目標点数を定めて模擬試験を受験し、弱点分野の把握と強化を図るなど、万全なサポート体制を整えています。



看護学科 海外フィールドワーク

看護学科では、「海外フィールドワーク」の一環として、平成27年度は以下の日程で学生が海外を訪れました。実習や演習で多忙な看護学生でも、YCUで培った語学力を活かして、海外での教育研究活動に取り組んでいます。

平成27年度実績

渡航先	対象学年	実施時期
ブラジル（南リオグランデ州・サンタカタリーナ州）	4年次	8月
フィリピン共和国	2年次	8月
フィリピン共和国（イロイロ市）	2年次	3月

※内容は変更になる場合もあります。

BRAZIL — ブラジル

日系高齢者を対象にした巡回診療・家庭訪問に参加

ブラジルで在伯日系高齢者を対象に行っている日本人医師による巡回診療・家庭訪問に参加し、学生たちは南リオグランデ州において巡回診療活動を行い、問診、身体計測、血圧測定、心電図測定を担当しました。在伯日系永住者の方との交流を通して、日本では知ることのなかった歴史や思いに触れ、身体面のみならず、心理面や社会面についても把握した上で支援を行う必要性、さらに実践を通して健康教育の在り方についても学ぶことができました。

また、現地での健康教育の現状や病院を見学する中で、ブラジルでの医療提供の実態を学び、日本の医療現場との違いを感じることで、将来国際性豊かな人材、医療従事者として活躍する礎となる機会を得ることができました。



PHILIPPINES — フィリピン

フィールドワークで感染症予防などの健康教育を実施

平成27年8月23日から10日間、フィリピン共和国に看護学科2年の学生5名と教員2名で海外フィールドワークを行いました。

世界保健機関（WHO）や国際協力機構（JICA）、日本国大使館、フィリピン大学等からフィリピンの保健衛生状況や活動内容について説明いただきました。フィリピンでの健康課題の一つに感染症があり、マニラ市にある孤児院や地方の幼稚園で施設職員やフィリピン大学の学生にも協力していただき、手洗いや歯磨きの必要性和正しい方法について、紙芝居や実際の指導を通して健康教育を行いました。



紙芝居を用いて健康教育を行う学生

JICAプロジェクト参加と現地小学生への妊婦体験学習を実施

平成28年3月2日から6日間、フィリピン共和国イロイロ市にて看護学科2年生11名、教員3名が海外フィールドワークを行いました。本学とCITYNET横浜と横浜市が提携して行っているJICAプロジェクト「イロイロ市におけるコミュニティ防災推進事業」の一環である防災教育に参加するとともに母子保健の現状を学びました。学生が現地小学生に対する妊婦体験学習を企画し、大変好評でした。またマニラを訪れた際、さくらサイエンスで来日したフィリピン大学の看護学生と交流する機会が得られ、感動的な再会を果たしました。



現地小学生に妊婦体験を企画・実施

学生の声 現地の医療・看護を目の当たりにし看護観の確立につながりました

YCUで学ぶからには海外へ出てみたいとずっと思っていました。病院の見学、英語での医療に関する講義、現地の看護学生との交流、WHOへの訪問…といずれも旅行や語学研修ではできない経験がたくさんできました。一番思い出深いのは、防災キャンプで運営させてもらった小学生向けの妊婦体験です。自分たちの持っている知識、英語の力を最大限に使って準備、運営し、とてもやりがいがありました。このフィールドワークを通して、フィリピンの医療を学べただけでなく、日本の医療や看護を客観的に見る視点を獲得ことができ、それらは看護師になる上で大いに役立つと信じています。自分が一歩踏み出そうとすればその背中を押してくれる環境がYCUにはあります。



小島 早紀子（こじま さきこ）
看護学科 3年
神奈川県立多摩高等学校卒



日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）

フィリピン大学との交流事業を実施

平成28年2月に、フィリピン大学から学生5名と教員を受け入れ、「高齢化と健康—高齢社会における看護—」をテーマに交流事業を行いました。フィリピン大学の学生は、YCUが用意した5日間の研修プログラムを受講しました。この研修は、講義と施設見学を1日の基本プログラムとして、日本の保健医療制度、看護制度に関する講義から始まり、高齢社会、老年看

護・介護についての講義を中心に構成しました。施設見学は、本学附属病院や近隣の介護老人福祉施設、リハビリテーション病院やNGOなど、講義の内容を確認できる施設を選定しました。高齢者体験後に福祉施設の見学など、短期間ながら内容の濃い充実したプログラムに、参加した学生からは貴重な体験になったとの声をいただきました。



TOPICS アカデミックコンソーシアムでフィリピン大学との共同研究を発表

平成27年8月に横浜で開催された「アカデミックコンソーシアム」において、フィリピン共和国を代表する国立大学であるフィリピン大学と共に「公衆衛生」を中心とした調査、研究等で交流を深めました。同コンソーシアムでは、パネル展示、プレゼンテーション、フィリピン大学学生との交流も、全て英語で行いました。異なる文化や背景を持つ両大学生が、学び合える機会を共有できた喜びを感じる機会となりました。



看護教育研究棟 施設紹介



7F 屋上スロープ

看護教育研究棟の屋上には、車椅子移動・移送練習用スロープがあり、実際に学生を乗せて、車椅子移動の練習を行います。また、晴れた日には一面の海を見渡すこともできます。



6F 在宅看護学実習室

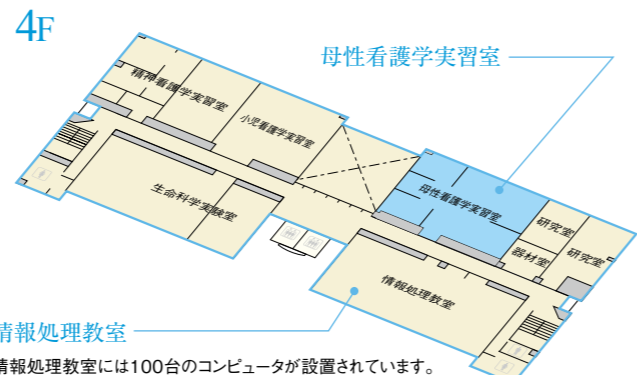
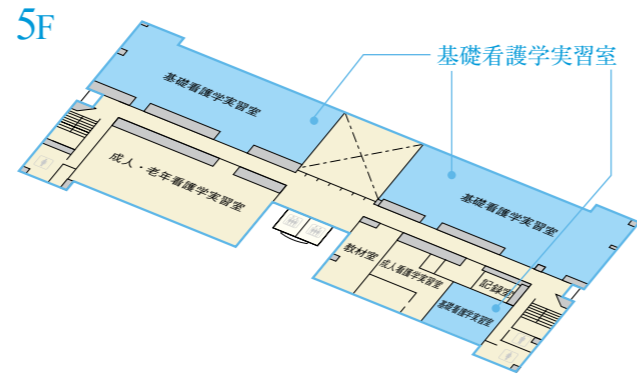
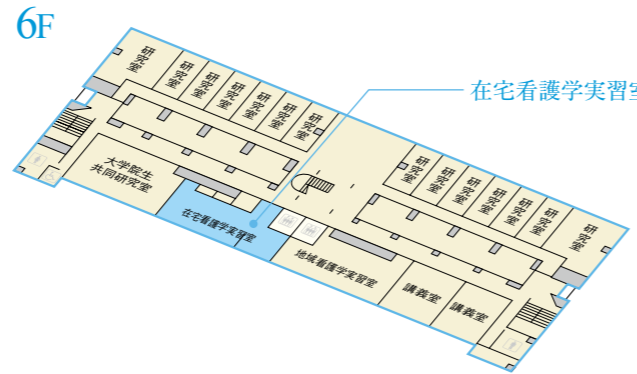
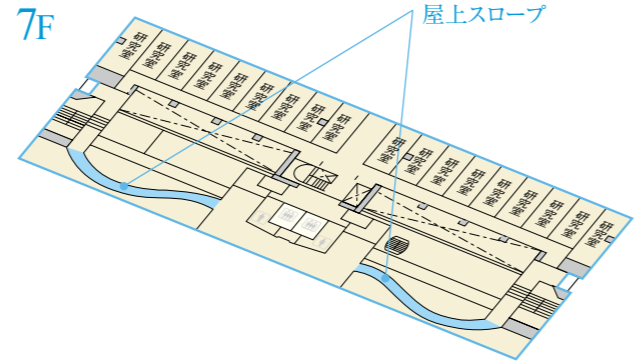
和室、キッチン、浴室、トイレ、玄関までが備わった実習室で、リアルな居宅環境を再現。高齢者や障害者・見などの地域や在宅における生活をシミュレーションしながら、さまざまな在宅ケアを学びます。



5F 基礎看護学実習室

病気や障害を持った人の日常生活動作（清潔、食事、移動など）を助け、安全・安楽に生活できるようにするための看護の技術や、検査・診療の補助に関する基礎的な看護技術（血圧測定や採血など）を学びます。

看護教育研究棟には、講義室のほかに領域ごとに看護学実習室があり、130インチのビデオプロジェクターをはじめとするAV設備が設置され、講義などに利用されています。また、ランチタイムや講義の合間に過ごせる食堂やラウンジもあります。

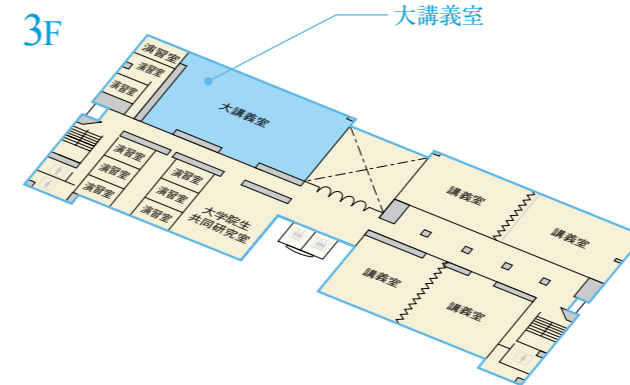


情報処理教室
情報処理教室には100台のコンピュータが設置されています。搭載されている主なソフトは、Word、Excelはもとより、統計ソフトSPSS、プレゼンテーションに欠かせないPowerPointなどです。学生は、これらのソフトを駆使し、レポート作成に励んでいます。



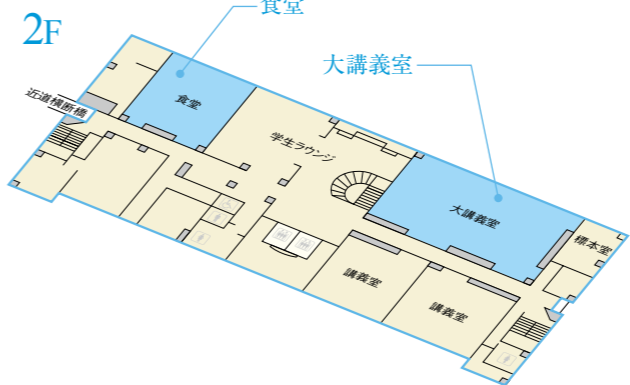
4F 母性看護学実習室

母性看護に関する妊娠から出産までの技術について学びます。特に、新生児（赤ちゃん）のモデル人形で沐浴や授乳、オムツ交換などを、妊婦モデル人形で妊婦の診察を演習でき、分娩室も完備しています。



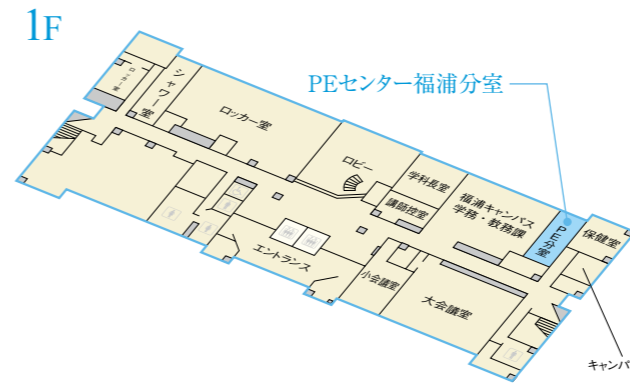
2・3F 大講義室

棟内で最大の講義室で140席あります。電動式黒板を取納すると大型スクリーンになります。VTR・DVDなどの教材を視聴しながら効果的な授業が展開されます。



2F 食堂

ビュッフェ形式（グラム量り売り）の食堂で、豊富なメニューの中から選ぶことができます。お弁当を持参してきて友だちと食べる学生も多くいます。



1F Practical English センター福浦分室

2年次以上の医学部学生が継続的な英語学習を行えるよう、Practical Englishセンター分室を設置しています。



身近な実習機関として貴重な場を提供する2つの附属病院

横浜市立大学附属病院〈福浦キャンパス〉

福浦キャンパスの医学部臨床研究棟に隣接する横浜市立大学附属病院は、370万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供するとともに、高度先進医療の開発と発展を推進する特定機能病院として、「地域がん診療連携拠点病院」「神奈川県エイズ治療の中核拠点病院」「災害拠点病院」など、各領域で最高水準の医療・看護を提供しています。さらに、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協同して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。また、地域医療連携の中核として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。



横浜市立大学附属市民総合医療センター〈横浜市南区浦舟町〉

附属市民総合医療センターは、横浜市民の生活に密着した医療機関であると同時に、高度救命救急センターを有する第三次救急医療の拠点でもあります。さらに、市内医療機関の連携の中心的役割も果たしています。高度な医療を提供するために、10の疾患別センター、20の専門診療科、4つの専門外来を置いています。こうした環境下で、学生たちは実習・研修を通じて「地域に密着した医療の大切さ」と「高度医療の必要性」を感じ取ることができます。さまざまな臨床・症例に触れ、自分が進む専門分野の選択肢を増やすことに繋がっていくでしょう。



病院長
メッセージ

患者さんの思いをくみ取り、
最善を尽くす医療人を育てます。

ここでの病棟実習では、さまざまな疾患・症例を目の当たりにし、多くの患者さんと触れ合う機会に恵まれています。実習で大切なのは、人を思いやる心を育むこととコミュニケーション力を向上させることで、「人としての成長」と言い換えられるでしょう。私たちが教えられるのは、知識と技術です。人間的な成長は、自分に足りないものに気づき、それをひとつずつ積み重ねていけば良いことで、一足飛びにこなす必要はありません。医学科の5年生は、よりドクターに近い立場で臨床に立つようになります。そのときに、医学的な最善策が患者さんの望む方法とは限らないといったような、「医療と医学の違い」に直面するかも知れません。医療には相手の気持ちをくみ取る心が必要です。安全性を確保しながら、医療人として患者さんの気持ちと医療に関わるすべてのスタッフのことも考慮した最善策を実行するプロセスを学び取ってほしいと思います。

附属病院長 相原 道子 (あいはら みちこ)



病院長
メッセージ

二つの附属病院が連携をして
良質な医療人を育成。

附属市民総合医療センターは、地域医療の拠点病院として長い歴史と伝統を持っています。地元に着目しながら、高度専門医療や救急医療を通じて地域社会に多大な貢献をしてきました。また、良質な医療人を育成するために、福浦キャンパスの附属病院とともに、学生たちに幅広い実習・研修の場を提供しています。歴史と性質の異なる複数の病院を有し、最先端の高度医療から地域医療の最後の砦となる地元密着型医療まで、多くの症例に接しながら実習・研修できる環境を整えている大学は決して多くありません。この恵まれた環境が、国家試験の合格率の高さや初期臨床研修医受け入れのフルマッチの達成に繋がっていることはいうまでもありません。医療職は、身に付けた専門知識を目の前にいる患者さんに直接役立てることができ、目の前で患者さんの喜びを直接感じることもできるやりがいのある職業です。YCUで社会に貢献する医療人としての資質を大いに高めていってください。

附属市民総合医療センター病院長 後藤 隆久 (ごとう たかひさ)

活躍する
卒業生



榎本 義久 (えのもと よしひさ)
附属病院 臨床研修医
平成27年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業
神奈川県立横浜翠嵐高等学校出身

洲川 仁美 (すかわ ひとみ)
附属病院 看護師
平成27年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業
北海道札幌旭丘高等学校出身

医師は一生勉強。それが叶う環境で経験を積んでいきたいです。臨床研修2年目を迎え、現在は外科医を目指して附属病院でさまざまな科をローテーションしています。附属病院は、福浦キャンパスと同じ敷地内にあり、外科手術のトレーニングなどを行える大学の施設「シミュレーションセンター」を利用し、日々技術の向上ができるので、とても良い環境といえます。学生時代は、病院実習で先輩研修医の方々に大変お世話になりました。研修医となった今は、自分がお世話になった分を後輩たちに還元したいという思いで、後輩たちをサポートしていきます。

患者さんに元気・希望を与えられる存在に。看護師は高校生のころから思い描いていた道で、大学在学中もナース服を着て仕事をしている自分の姿をイメージしながら授業を受けていました。現在、消化器外科を担当していますが、この科には実習で訪れ、「自分が働くならここ」と思えたところなんです。病棟にはこれから手術を控えた患者さん、手術を終え回復期を迎えた患者さんなどさまざまな立場の方がいて、一人ひとりの思いも異なります。そうした中で患者さんやご家族から「元気づけられたよ」と声をかけていただけるよう、多くの人を支えていきたいです。

活躍する
卒業生



田中 翔平 (たなか しょうへい)
附属市民総合医療センター 臨床研修医
平成27年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業
愛知県 私立滝高等学校出身

佐々木 理恵 (ささき りえ)
附属市民総合医療センター 看護師
平成27年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業
東京都 私立香蘭女学校高等学校出身

専門性を高め、救急にも幅広く対応できる医師に。1次救急から3次救急まで幅広く経験したいと思い、研修医1年目は市中病院で働き、2年目の今は学生時代に臨床実習をした附属市民総合医療センターで働いています。YCUの医学部に進学したのは、首都圏にある大学ということが大きな理由の一つです。首都圏は人口が多く、臨床研修でも多くの症例に接することができます。また、姉もYCUの出身で、とても良い大学だと聞いていたことも決め手になりました。専門性を高め、将来は患者さんの気持ちを第一に考えることができる腎臓内科の専門医になりたいと思っています。

常に誠実に敬意をもって患者さんと接していきたい。看護師になって2年目でまだまだ学ぶことが多くありますが、患者さんに対して常に誠実に敬意を持って接していくことを心がけながら仕事をしています。私が勤務している呼吸器病センターは、患者さんの退院後の在宅療養の支援にも力を入れていますので、専門性の高い看護技術とともに在宅医療の支援に関する知識も深めていきたいと思っています。看護師は患者さんにとって一番身近な存在。だからこそ、常に患者さんの視点に立って、思いやりのある看護をしていきたいと思っています。

都市社会文化研究科 ■都市社会文化専攻

関連する学部の学系：国際教養学系・国際都市学系

多分野融合型のカリキュラム編成と地域社会との実践的連携。

都市に関わる課題を中心に、人文科学を基盤としつつ、社会科学、さらに自然科学の一部におよぶ豊富な授業科目を用意し、人間と文化の理解を基礎に社会の多様な課題に取り組むことのできるカリキュラムを提供します。また、国際都市横浜の公立大学に開設された大学院という特性を活かし、横浜市関連団体・市内に立地する国際機関・NPOなど

と連携して講師の受け入れ・インターンシップ・研究生の受け入れ・共同研究などの取り組み、さらに実践的な感覚を養う目的でフィールドワークを推奨しています。半数近い授業科目を平日夜間および土曜日に開講し、修士論文によらない修了も可能とするなど、社会人も学びやすい条件も整え、積極的に受け入れています。



カリキュラム構成と修了要件

■博士前期課程

次の科目群から、2年間で合計30単位以上取得して修了します。
(下記は修士論文による修了の場合)

総合研究科目(4単位)	学外講師を招聘し、実践的関心の喚起を図る科目
特講科目(14単位)	専門性を深める講義科目
特講基礎科目(4単位以上)	人間・文化に対する認識を深める人文系科目
特講展開科目(6単位以上)	都市や社会に対する認識を深める応用的科目
演習科目(8単位)	修士論文作成に向けた研究指導を行う演習科目
修士論文(4単位)	修士論文の提出により単位を取得

■博士後期課程

次の科目群から3年間で合計20単位以上取得し、
博士論文審査を経て修了します。

多分野交流演習(2単位)	総合的・学際的視点の獲得を図る科目
攻究科目(6単位)	各分野の専門性を深めるための講義科目
研究演習科目(12単位)	博士論文作成に向けた研究指導を行う科目

教員メッセージ

都市・地域社会・国際社会の課題に取り組みます。

国際化する現代の都市社会には、地球環境問題や、少子高齢化時代に持続可能な福祉社会の形成、多文化共生社会の創生、地域ガバナンスの構築など、これまでの知的枠組みではとらえきれない複雑な問題が山積しています。これらの諸課題を構造的に掘り下げ、長期的な展望を持って問題解決に当たるためには、専門分野のディシプリンを身に付けるだけでは不可能です。特定の専門分野にとらわれることなく、領域横断的・学際的なアプローチが必要になってきます。と同時に、基本的な世界観や人間認識において、人文科学の築き上げてきた人間や文化についての深い理解を、確実に身に付けておくことも欠かせません。本研究科は、そうした基盤分野とともに、応用的な領域にも対応できる多分野融合型の教育システムを備えていることが大きな特徴です。地域に開かれた研究科として、地域社会との連携や、社会人の積極的な受け入れも進め、現代の問題に積極的に取り組むことのできる人材を養成しています。

都市社会文化研究科長 教授 鈴木 伸治 (すずきのぶはる) ■景観まちづくり論



学生の声 先生との距離が近く、気軽に相談もできます。

中国四川省の省会都市成都を調査対象に、オフィス立地や産業集積という視点から1990年代から現在に至るまでの変遷と、これからどう発展していくかを研究しています。大学時代に中国都市問題に関心を持つようになり、もっと勉強したいと思い、都市問題・地域研究・中国研究に取り組んでいる先生方が多数いらっしゃるYCUの大学院に進学しました。YCUの魅力は、授業内容が多様であることはもちろん、何より先生との距離が近いことです。研究相談や進路相談のほか、雑談も気軽にできる雰囲気があります。今後も大学院生活を満喫しながら研究成果を上げていこうと思います。



田 秋香 (でん しゅうか)
都市社会文化専攻 博士前期 2年
麗澤大学外国語学部卒

学生の声 広い視野を持って研究を深化させていきます。

私は、衛生研究所で臨床検査技師として勤務しながら大学院で学んでいます。大学では情報工学を学び、大学院ではシステムデザインを専攻してきました。今、YCUの都市社会文化研究科でGIS(地図情報システム)を学んでいます。この研究を進め、インフルエンザなどの感染症情報を地図上に分かりやすく表示し、市民に伝えたいと考えています。皆さんは、土を深く掘っていくには何が必要と考えますか？狭い範囲でしか掘れなければ深さに限界が生じます。広い範囲から掘り進めば、より深く掘って行けるのではないのでしょうか。広い視野を持ち、いろいろな方々との幅広い交流を通して、研究をより深めていくつもりです。



青野 実 (あおのみのる)
都市社会文化専攻 博士後期 2年
工学院大学大学院工学研究科修了

■都市社会文化研究科 修了後の主な進路 平成22年度～27年度修了者

博士前期・後期課程

【就職】

株式会社大手広告通信社	積和不動産株式会社	株式会社毎日新聞社	【進学】
近畿日本ツーリスト株式会社	テルモ株式会社	藤沢市役所	横浜市立大学大学院
株式会社近鉄エクスプレス	株式会社日立製作所	横浜市役所	名古屋大学大学院
			上智大学大学院
			など

■修士論文テーマ例 平成27年度修了者

- 港都横浜における音楽文化の形成と変遷に関する 一考察
- ソーシャルワークにおける全人的支援とは何か
一生活福祉資金貸付制度に関わる相談援助の実践について 再帰的省察とソーシャルワーク論の再構築一
- 伝言板から見る鉄道および社会の変化
- 他所との相互関係の中で規定される場所とイメージ 一金沢八景と江戸文化との結びつきを通じて
- 中国企業の社会的責任(CSR)について
- 東日本大震災の被災中心市街地の商業集積における復旧・復興マネジメントの実態と評価
- 乳幼児親子の行動圏からみた地域資源の利活用・選択構造と地域評価に関する研究
- 横須賀における旧軍施設の社会的意味 一在日米海軍基地と周辺地域の事例
- 韓国語学習者における「よい聞き手」のためのあいづち 一「ほめ」におけるあいづちを中心に一

国際マネジメント研究科 ■国際マネジメント専攻

関連する学部の学系：経営科学系

グローバル経済に対応したカリキュラムとサービス・サイエンス研究プログラムの提供

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」とで構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えるとともに、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。重要度が高まってきているサービ

ス・ビジネスについて専門的かつ科学的に研究を進めることを目的とする、「サービス・サイエンス研究プログラム」が提供されている点も、本研究科の特色です。所定の条件を満たす科目を履修し、サービスを対象とする研究課題を設定し、研究成果を修士論文として完成させた場合、本研究科により、サービス・サイエンス研究プログラム修了者として認定されます。



カリキュラム構成と修了要件

■博士前期課程

次の科目群から、2年間で合計30単位以上取得し、修士論文審査を経て修了します。

研究指導(8単位以上)	修士論文作成に向けた研究指導を行う演習科目
基礎科目(6単位以上)	マネジメント教育の前提となる基礎を固める科目
応用科目(16単位以上)	研究の深化およびキャリアデザインに関連した科目

■博士後期課程

次の科目群から3年間で合計20単位以上取得し、博士論文審査を経て修了します。

特殊研究指導(12単位以上)	博士論文作成に向けた研究指導を行う演習科目
専門応用科目(8単位以上)	各分野の専門性を深めるための講義科目

教員メッセージ

企業のアジア進出を支援できる人材を育成します。

TPP(環太平洋パートナーシップ)協定交渉が大筋合意に達し、平成28年2月、協定への署名が行われました。わが国企業の海外での生産活動・市場開拓は、さらに加速することが予想されます。とりわけ、サービス産業には、貿易自由化や統一ルール策定による大きなメリットがもたらされることが期待されています。国際マネジメント研究科は、設置以来、グローバル化する企業で活躍できる人材、特に成長が著しいアジア圏での企業活動に携わる人材の育成を教育目標としてきましたが、本年度、成長が期待されるサービス産業を念頭に置き、「サービス・サイエンス研究プログラム」を開設し、グローバル化を進める企業はもとより、医療・福祉機関、行政機関や非営利組織等を含め、サービス・ビジネスで活躍できる人材育成にも取り組んでいます。

国際マネジメント研究科長 教授 丸山 宏 (まるやま ひろし) ■ファイナンシャル・マネジメント



学生の声 グローバルな視点から研究活動を進めています。

YCU大学院を選択した一番の理由は、グローバルな視点で授業を行う先生がいらっしゃるからです。授業の中で、多国籍企業の業績、目標、人的管理などを経営者の視点から見ることができ、将来就職した時にいろいろな問題の解決にも役に立つと思います。私は、コンビニエンスストア発展の日中比較について研究しています。日本のコンビニエンスストアの普及に関心を持ち、その発展の成功要因を抽出し、中国の現状と結びつけながら、中国のコンビニエンスストアの発展に何らかの示唆を与えられればと思っています。



張 静 (ちよう せい)
国際マネジメント専攻 博士前期 2年
青島大学(中国) 卒

学生の声 学費、教育の質、研究環境ともに魅力的です。

本研究科を選んだ理由は3つあります。1つ目は、学部・博士前期課程の5年一貫プログラムで1年で修士号が取得できることです。学部4年間で高い水準の教育を受けられることはもちろん、博士前期課程を1年で終えることができるので、費用面においても魅力的でした。2つ目は、教育の質です。経済学をはじめとする社会科学の分野で、国内外で活躍する先生方の個別指導を受けることができます。3つ目は、研究の環境です。先生方から事務職員の方々に至るまで、アットホームな雰囲気の中で学生を支援してくれます。グローバルに活躍できる研究者になれるよう、大好きなYCUで学業、研究に励んでいきたいです。



中村 公亮 (なかむら こうすけ)
国際マネジメント専攻 博士後期 1年
国際総合科学部卒

■国際マネジメント研究科 修了後の主な進路 平成22年度～27年度修了者

博士前期・後期課程

【就職】

株式会社アイネット	株式会社桑山	ヤマハ株式会社
株式会社NTTデータ	総合警備保障株式会社	
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	ナブテスコ株式会社	
NTTデータ・システム技術株式会社	日東電工株式会社	
川島金属株式会社	株式会社富士通ゼネラル	
京セラ丸善システムインテグレーション株式会社	フューチャーアーキテクト株式会社	など

■修士論文テーマ例 平成27年度修了者

- 寄附金控除及びみなし寄附金制度が公益法人の寄附金収入に与える影響
- アジア新興国企業による日本企業M&A後のマネジメント・スタイルに関する研究
- 中国東部地域における日系企業、米系企業に勤務する中国女性従業員の働く満足度の比較研究
- 購買前の情報探索量が購買満足度に与える影響に関する研究 — スイートスポット概念に基づく検討—
- 中国における日系企業の労務管理に関する研究 — 山東省における日韓企業に発生している労使紛争の分析と解消策について—
- 日本のインフラ産業に関するTPPの計測
- INVESTIGATING THE RELATIONSHIPS BETWEEN CUSTOMERS' PERCEIVED VALUE PRE-PURCHASE AND BEHAVIORAL INTENTIONS THE CASE OF CRUISE TOURISM IN JAPAN
- 中国乳製品企業における品質向上の研究
- Political regimes and economic growth : An empirical test of an economic model of dictatorship

生命ナノシステム科学研究科

■物質システム科学専攻
■生命環境システム科学専攻

関連する学部の学系：理学系

自然科学の階層的専門研究を融合するカリキュラム編成と国際化推進。

ゲノム科学・生化学・細胞生物学・構造生物学・計算機科学・物質科学を基盤にした新しい統合生命科学のもとに、複雑な生命現象を分子・原子のシステムとして理解するカリキュラムを編成しています。次世代の薬品設計開発・食品開発・環境問題の解決、情報・エネルギーに関連する有機デバイス開発などの幅広い分野で活躍するための教育を行います。

また、国内外の先端的な研究機関と連携するとともに、海外の研究者との交流や学生の交換交流を積極的に図り、国際的な人材の育成を目指しています。さらに、知的財産管理の知識、起業に関する知識を修得するための講義科目を設け、社会的なキャリア形成の構築ができるよう支援します。



TOPICS グローバルな高度専門性教育の親身な指導

自然科学における高度な専門分野の実践教育を、複数の主・副研究指導教員体制により、きめ細かく行っています。研究室での定期的な討論に加え、中間発表・本発表でプレゼンテーション能力、ディスカッション能力を鍛えることができます。また、国際会議や海外の連携大学にでかけ、英語による発表も行っています。これらの「研究教育」により、専門分野における問題を自ら見出し、解決する能力が身に付きます。身に付けた能力をグローバルな社会で応用する展開力も育めます。博士前期課程・後期課程それぞれに短縮課程を設けて、優秀でやる気のある学生は最短3年で博士(理学)の学位取得が可能です。また、学部コースとのシームレスな融合を図るため、大学院科目を学部生が受講できる早期履修制度も整備されています。さらに、教員の専修免許も取得可能です。



修士論文中間発表会の様子

教員メッセージ 学部コースとの連携でグローバルな高い専門性が身に付きます。

近年の自然科学の飛躍的な発展は、従来の物理学・化学・生物学といった学問領域を統合し、生命を含む自然現象を原子・分子のシステムとして解明しようとする学問体系に基づいています。生命ナノシステム科学研究科は、「生命の持つ複雑な機能・組織を物質要素のシステム化により発現すると考える」という研究科の共通した理念のもと、2専攻固有の階層的研究を対象に専門性の高い教育研究を行います。特に、文部科学省理数学生育成支援事業「YCU型高大院一貫科学者養成プログラム」の支援を受けて学部コースとの強い連携に基づく専門性の高い学識を身につけられるよう教育研究を行っています。また、国内の独立行政法人(理化学研究所、海洋研究開発機構、物質・材料研究機構、農業生物資源研究所)やNTT物性科学基礎研究所と連携大学院を組むことにより最先端の教育・研究環境を整備することができました。さらに、国外の研究教育機関とのネットワークにより、グローバルな視点から教育研究を行っています。これに加え、科学技術者の社会との融合を図るため、科学者の社会的倫理や生命倫理、特許や知的財産管理の知識、起業に関する知識を習得するためのカリキュラムを設け、社会的キャリアの構築や次世代を担うグローバルな人間形成の構築ができるよう支援します。

生命ナノシステム科学研究科長 教授 橋勝 (たはな まさる) ■材料物性科学



学生の声 幅広くかつ深く学べる環境で研究者に必須のスキルも身に付けられます。

YCUでは多様な講義を通して自身の専門に限らず、広い分野の知識を身に付けることができます。1つの分野について詳しく学んでいく「特論」や、毎回異なるテーマについて学ぶ「概説」、「横浜国立大学交換講義」などといった講義から幅広い知識を得て、自身の研究に役立てていくことがYCUでは可能です。また、「英語プレゼンテーション」の講義を通して、研究者にとって必須といえる発信力を磨くこともできます。身に付けたスキルは、研究成果とともに学会や海外フィールドワークなどで披露する機会があります。そうした知識や発信力は、大学の外へ出ていくこととなっても、役立つものだと考えています。



谷村 大樹 (たにむら たいじゅ) 物質システム科学専攻 博士前期 2年 国際総合科学部卒

学生の声 分野を越えた交流や国際交流も活発。将来は再生医療に関わる研究をめざしています。

YCUの魅力は、先生と学生の距離が近く、分野の垣根を越えて気兼ねなくディスカッションできることです。また、「国際リトリート」では海外の大学と研究を通じた国際交流ができ、昨年度は台湾の大学と交流を行いました。学内の研究活動にとどまらず海外で研究発表する機会が得られ、英語によるプレゼンテーション力が身に付くことも魅力の一つだと思います。私が所属する研究室では、バラバラの状態の細胞を3次元的に組み立てて、「ミニチュア臓器」を再構築させる研究をしています。国内外の学会発表や論文執筆にも積極的に取り組んでおり、充実した研究生活を送っています。将来は再生医療に関わる研究をしたいと思っています。



佐用 かなえ (さよう かなえ) 生命環境システム科学専攻 博士前期 2年 国際総合科学部卒

生命ナノシステム科学研究科 修了後の主な進路 平成22年度～27年度修了者

物質システム科学専攻	生命環境システム科学専攻
博士前期課程 【就職】 株式会社I H I エスエス製薬株式会社 株式会社NTTデータ カシオ計算機株式会社 気象庁 小松精練株式会社 株式会社住化分析センター チロルチョコ株式会社 TDK株式会社 テルモ株式会社 富山化学工業株式会社 トヨタ自動車株式会社 日産化学工業株式会社	博士前期課程 【就職】 アース製薬株式会社 小野薬品工業株式会社 オリエンタル酵母工業株式会社 自然科学研究機構 国立天文台 ジャパンゴアテックス株式会社 日本臓器製薬株式会社 ネスレ日本株式会社 バイエル薬品株式会社 武州製薬株式会社 ホーユー株式会社 株式会社ボンパドール 丸大食品株式会社 三菱化学メディエンス株式会社 株式会社明治
日本発条株式会社 株式会社野村総合研究所 日立化成株式会社 株式会社日立製作所 独立行政法人理化学研究所 【進学】 横浜国立大学大学院 博士後期課程 【就職】 エーエムアル株式会社 国立大学法人東京工業大学 独立行政法人理化学研究所 など	Meiji Seika ファルマ株式会社 独立行政法人理化学研究所 【進学】 横浜市立大学大学院 京都大学大学院 博士後期課程 【就職】 旭硝子株式会社 大阪大学工学研究科附属高度人材育成センター 沖縄科学技術大学院大学 国立研究開発法人海洋研究開発機構 公益財団法人がん研究会がん研究所 済州大学校 など

修士論文テーマ例 平成27年度修了者

- 物質システム科学専攻**
- cis-Ru(dbb)₂(CN)₂の光学分割および光ラセミ化反応
 - Diverted synthesis of heterocyclic glutamate analogs via multi-component coupling reaction toward creation of neuronally active agent
 - C₆₀(Ferrocene)₂ナノシートの圧力誘起相転移と光照射効果
 - Cotton Valley, TX での水圧破壊実験によって誘発された微小地震の震源メカニズム
 - プロモ基を有したトリフェニルアミン誘導体の金属表面上での自己組織化の研究

- 生命環境システム科学専攻**
- 転写因子Tbx6の発現による胚性幹細胞の分化制御
 - アニス培養細胞における2,4-ジクロロフェノキシ酢酸の作用と代謝
 - オーキシン応答性に関わる新しいシス制御配列の探索
 - CRISPR/Cas9によるイネの高効率・高精度標的変異システムの開発
 - Zymosan刺激による好中球の活性酸素産生機構の解析

物質システム科学専攻

博士前期課程 博士後期課程

8つの部門

- ナノ物質科学 ● 光物質科学 ● 量子表面科学 ● 計算物質科学
- 集積情報科学 ● 知覚情報科学 ● 物質計測科学 ● 有機物質科学

ナノ科学の発展に大きく貢献できる人材を育成

基礎科学から生まれた知識・科学技術は現在ではナノ科学として開花し、物質現象だけでなく生命現象を解き明かす計測原理や情報解析原理のイノベーションを創出しています。本専攻では、電子・原子・分子の視点から、生命物質を含めたナノシステムに対して、“実験科学”（合成・計測・評

価）と“計算科学”（計算・情報・予測）を駆使することで、ナノシステムの原理を理解するだけでなく、新たなナノシステムを創出することにより、社会に貢献します。また、ナノシステムに基づいてエネルギー・環境問題を科学的にとらえる教育や、情報社会への寄与も積極的に行います。



クローズアップ

光物質科学部門

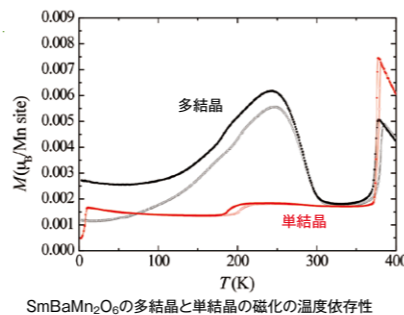
電氣的性質と磁氣的性質が強く結合した物質について研究しています

山田研究室では遷移金属酸化物の磁性や電気特性(伝導性・誘電性)について研究を行っています。特に、磁性と電気特性に強い相関があるような物質を対象としています。これまでの多結晶体による研究などです。これまでに大雑把な性質が知られている物質についても、良質な単結晶を作成し、精密な測定を系統的に行うことで得られる情報から、新た

な性質を発見したり、そのメカニズムを解明したりすることに挑戦しています。



山田研究室で世界で初めて作成に成功したSmBaMn₂O₆単結晶



SmBaMn₂O₆の多結晶と単結晶の磁化の温度依存性

連携大学院

物質・材料研究機構 (NIMS) つくば市



物質・材料を扱う研究所としては国内最大級を誇っている文部科学省所管の研究機関です。金属・セラミックスなどの無機材料から、バイオ、高分子などの有機材料まで、幅広い分野の研究について、ナノテクノロジーを活用して取り組んでいます。強磁場施設、超高圧電子顕微鏡など、最先端の実験装置を数多く取り揃え、充実した実験環境を有しています。

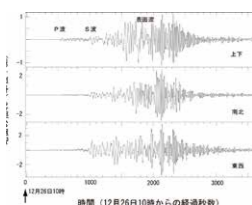
NTT物性科学基礎研究所 厚木市



日本電信電話株式会社 (NTT) の研究機関の一つです。ネットワーク、情報処理技術における処理能力、セキュリティの壁を越える新原理・新コンセプトの創出、イノベーションに繋がる基礎技術開拓をミッションとしています。代表的な研究分野は、半導体電子物性、量子工学、微細加工技術、新材料(半導体、カーボンナノ材料等)、バイオサイエンスです。

大学附置研究所

地震研究センター 金沢八景キャンパス

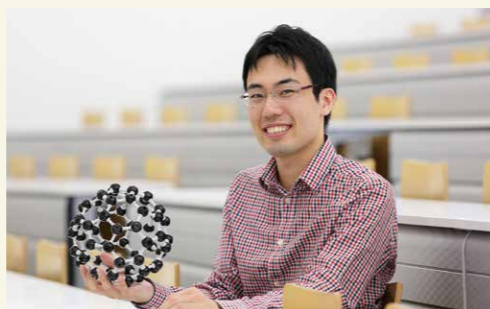


地震研究センターでは、地震に関する理学的な基礎研究と震災軽減のための応用研究を行っています。具体的には、日本および世界各地の地震波形データの解析から地震の発生メカニズムや地球の内部構造の解明を進めるとともに、スーパーコンピュータを活用して強震動や長周期地震動を予測するなどの社会貢献を目指しています。

TOPICS

素粒子が分子に与える磁気効果の機構を解明

ミュオンという素粒子が分子に与える磁気効果は、既に水素原子や短寿命な化学種の追跡などで多くの分野に応用されているものの、その機構は十分に解明されていませんでした。私は学部2年次より立川教授のもと、コンピュータシミュレーションを用いて、この機構を解明することに成功しました。この研究成果により、第3・4回サイエンス・インカレのファイナリストに、第4回ではサイエンス・インカレ奨励表彰に選んでいただきました。続く第5回や関東研究発表会などでは運営側となり貴重な経験を積めました。今後も自然科学分野を盛り上げていこうと思います。将来は研究職に就きたいです。同時に学生に学ぶことの楽しさを広く伝えることのできる先生でありたいと考えています。



大場 優生 (おおぼ ゆうき)
物質システム科学専攻 博士前期 2年
国際総合科学部卒

生命環境システム科学専攻

博士前期課程 博士後期課程

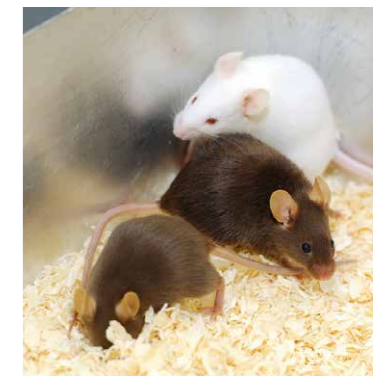
8つの部門

- ゲノム科学 ● 遺伝資源科学 ● 応用ゲノム科学 ● 極限環境ゲノム科学
- バイオプロダクト科学 ● 環境システム科学 ● 発生システム制御科学 ● 分子細胞ネットワーク科学

生命システムをゲノムの視点から研究し、高い専門性を身に付ける

生命の基本設計図であるゲノム生物学を基盤とし、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生体分子の構造と機能を解明します。基礎生物学、農学、薬学、生化学などをバックグラウンドとして、生体分子のネットワークとしての代謝、細胞、個体、生態系をシステムズ生物学の視点から明らか

にすることにより、食糧・健康・環境などの人類のかかえる課題の解決に貢献することを目指します。将来、環境生命科学分野で活躍できる専門家、時代が必要とするバイオ分野の学術・産業諸課題の解決に意欲と能力を持つ優れた人材を育てます。



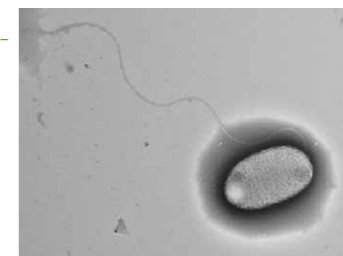
クローズアップ

バイオプロダクト科学部門

下等生物の遺伝子が持つ未知なチカラを研究!

微生物、無脊椎動物や植物など、下等生物は、高等生物から身を守るため、体内に毒素などの物質を作り、他の生き物が住めない過酷な環境で生き残れる力を確保して、生存競争に負けない工夫をしています。進化の初期に出現したこれ

ら生物は、生命活動に大切な遺伝子と、環境に適応した多様な遺伝子の両方を持ちます。それらの作る分子(=バイオプロダクト)の優れた作用を新たに発見し、生命のしくみの理解と環境課題の解決に役立っています。



環境汚染化学物質をすみやかに分解するKK22株細菌を、土壌から発見

大学附置研究所

木原生物学研究所 (舞岡キャンパス) P.85



「地球の歴史は地層に、生物の歴史は染色体に刻まれている」の言葉で有名な世界的遺伝学者である故木原均博士の業績を記念して設立されたYCUの附置研究所です。本研究所では、地球規模の課題に植物の機能を活用したプロジェクトで応えるため、保有するコムギトウガラシの遺伝資源を活用して国内外の研究機関と連携して研究を展開しています。これまでの研究・教育を礎として今後も植物ゲノム研究の拠点として活動していきます。

連携大学院

理化学研究所 横浜キャンパス 横浜市

環境資源科学研究センターでは、最先端ゲノム科学研究分野の研究技術を駆使して、植物の量的あるいは質的な生産性向上に関わる生理機能の探索と遺伝子の機能解明を進めています。

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 横須賀市

深海潜水艇「しんかい6500」などを駆使し、極限環境に生きる生物の適応や、有用物質を作る微生物の探索を研究する世界的拠点です。

農業・食品産業技術総合研究機構 つくば市

農業の生産性の飛躍的向上や農産物の新たな需要の創出を目指し、バイオテクノロジーを中心とする研究、技術開発を行っています。



TOPICS

連携大学院での研究で新種の深海生物を発見

連携大学院の海洋研究開発機構で深海インゲンチャクの生態について研究しています。深海生物の生態は謎に包まれていて、底引き漁や深海資源開発は大きな環境変化を引き起こすもの、深海生物がどのような影響を受けるのかを推測することは困難です。そこで、深海生物の気圧下飼育方法の検討から研究を始めました。現在では長期飼育に成功し、深海生物の行動解析や遺伝子解析が研究室で行えるようになりました。2014年には研究対象とする深海インゲンチャクが新種であることを突き止め、発表しました。今後は、深海生物の持つ遺伝子やタンパク質の解析、行動学的解析などを通じて生態の理解を深め、深海底生態系保全に貢献したいと考えています。



筒井 健太 (つつい けんた)
生命環境システム科学専攻 博士後期 2年
生命環境システム科学専攻 博士前期課程修了

生命医科学研究科

関連する学部の学系・学科： 理化学系・医学科

生命医科学専攻

8つの部門

- 構造医科学
- 機能構造
- 創薬基盤
- エピゲノム
- システム生物学
- 細胞医科学
- オミックス
- 生体医科学

ポストゲノム時代の新しい生命医科学の教育研究と最先端研究機関との密着した連携

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学をより一層総合化し、その手法を細胞生物学を含めた先端医科学研究へ応用展開できる教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスであり、現在の理化学研究所との連携大学院を継続することに加え、生命

医科学の出口を見据えた連携をより一層広げるために、本学医科学研究科をはじめ、産業技術総合研究所(AIST)、国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)とも連携して教育を行います。また、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進していきます。



TOPICS 理化学研究所・産業総合研究所との連携と国際交流

生命医科学研究科では、理化学研究所・産業総合研究所から研究者が客員教員として参加し、生命医科学を担う若手研究者の育成を行っています。海外の著名な研究者を交えた国際シンポジウムや最先端科学技術の講習会も開催しており、国際色豊かな研究生活を送ることができます。

大学では、生物学を専攻し、「より医療の発展につながる研究を最先端の環境で行いたい」と考え進学しました。理化学研究所と連携した教育と研究を行っていることに魅力を感じYCUを選びました。現在、博士後期課程で本研究科の免疫生物学研究室に所属し、連携先の理化学研究所内の研究室で、アレルギーをはじめとするさまざまな疾患に関わる自然免疫系のリンパ球についての研究をしています。その中でもとくに腸管の自然リンパ球に興味を持ち、アレルギーや腸炎などの炎症時における機能と役割を明らかにするために日々研究・実験を重ねています。理化学研究所では、多彩なセミナーやシンポジウムが開催され、研究に必要な英語力と知識を身に付けることができます。こうした機会が得られるのも、YCUの連携大学院の魅力だと思います。



宮島 優里奈 (みやじま ゆりな)
生命医科学研究科 博士後期2年
早稲田大学教育学部卒

教員メッセージ 生命医科学分野における世界的な研究拠点を目指して。

生命医科学研究科は、生体超分子系の立体構造という実体を伴った微視的なレベルの知見を基盤として、生命システムネットワークを介して、細胞、組織、そして個体という、より高次の階層に起こる生命現象を理解することを目指しています。さらに、そのような理解に基づいて、薬剤などによる分子レベルの操作を行うことによって、疾病を含んだ高次レベルの生命現象を制御することにチャレンジしていきます。このような生命医科学を実現していくためには、生命科学と医科学の融合のみならず、物質科学、情報科学、薬学などを幅広く統合した高度な生体系の計測、解析技術の基盤を確立していく必要があります。生命医科学研究科では、その基礎からはじまってさまざまな応用にいたるまでの生命医科学教育を、理学と医学の連携の理念のもと、理化学研究所、産業技術総合研究所と密接に連携することによって実現していきます。

生命医科学研究科長 教授 **木寺 詔紀** (きでら あきのり) ■計算生物学



学生の声 最先端を幅広く、深く学べる環境です。

学部時代に生命科学を専攻し、大学院でさらに知識を深めたいと考えてYCUに進学しました。YCUや連携している理化学研究所などの先生方による専門的な分野についての講義だけでなく、企業や外部の研究所の方の講義も受けることができますので、最先端の生命科学について幅広く学ぶことができます。現在、脳形成異常を引き起こすタンパク質の機能解析をしています。研究生活はとても充実していますが、研究の成果が出ずに落ち込むこともあります。しかし、その都度先生とディスカッションを行い、実験の改善を図るなどして、良い結果が得られるよう研究を続けています。将来はYCUで学んだことを生かして、社会貢献に携わりたいと思っています。



松野 圭悟 (まつの けいご)
生命医科学研究科 博士前期 2年
東京薬科大学生命科学部卒

学生の声 未知を解明し、今後の再生医療に役立てたい。

修士課程では、がん細胞の研究を専攻していましたが、研究を進めていく中で幹細胞にとっても興味を持ち、また日常的に英語を用いて研究ができる環境を求め、理化学研究所と連携のあるYCUの博士後期課程に進学しました。現在は、マウスのES細胞を使い、タンパク質へ翻訳されずRNAの状態のままさまざまな機能を持つノンコーディング(非コード)RNAの研究をしています。まだまだ未知の分野ではありますが、この研究により細胞内のメカニズムを解き明かし、今後の再生医療の役に立つと信じています。さまざまな国籍の研究者や異なる分野の研究者の方々と交流しながら、ここで学んだ技術をもとに、海外での活動も視野に研究を続けたいと考えています。



甲子 佳央理 (かし かおり)
生命医科学研究科 博士後期 3年
レスター大学がん細胞・分子生物学部卒

生命医科学研究科 修了後の主な進路 平成22年度～27年度修了者

博士前期・後期課程

【就職】

アサマコーポレーション株式会社
岩井化学薬品株式会社
エスピー食品株式会社
カルピス株式会社
川澄化学工業株式会社
協和発酵キリン株式会社
株式会社江東微生物研究所
JFEシステムズ株式会社

シミック株式会社
株式会社新日本科学臨床薬理研究所
ダイキン工業株式会社
中外製薬株式会社
鳥居薬品株式会社
株式会社ニチレイ
日本新薬株式会社
本田技研工業株式会社

公立大学法人横浜市立大学
ライオン株式会社
独立行政法人理化学研究所

【進学】

横浜市立大学大学院
京都大学大学院
東京工業大学大学院 など

修士論文テーマ例 平成27年度修了者

- オメガ3 脂肪酸の機能性に関わる酵素活性の包括的解析
- 微小管架橋タンパク質(MTCL1)が示す微小管安定化能の分子基盤研究
- マウス皮膚表皮における内在性レトロウイルスプロテアーゼの解析
- 乳がん細胞のタモキシフェン耐性獲得に関するトランスクリプトーム解析
- DNA維持メチル化に関与するUHRF1とDnmt1複合体の構造生物学的研究
- 化合物-タンパク質間相互作用を検出する新規バイオセンシングプローブの開発
- B型肝炎ウイルスコアタンパク質とhNPM1の複合体構造解析
- ヒトタンパク質リン酸化サイトの構造的特徴の網羅的解析
- NMRを用いたAMPA型グルタミン酸受容体リガンド結合ドメインの構造解析
- 細胞のリプログラミングにおける部位特異的DNA脱メチル化誘導因子の同定

医学研究科

医科学専攻

医科学は現在、基礎研究とその臨床応用・開発研究が最も盛んな科学分野の一つです。本医科学専攻が目指すことは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を持ち、さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続けることのできる独創性と人間性の豊かな人材を育成することです。

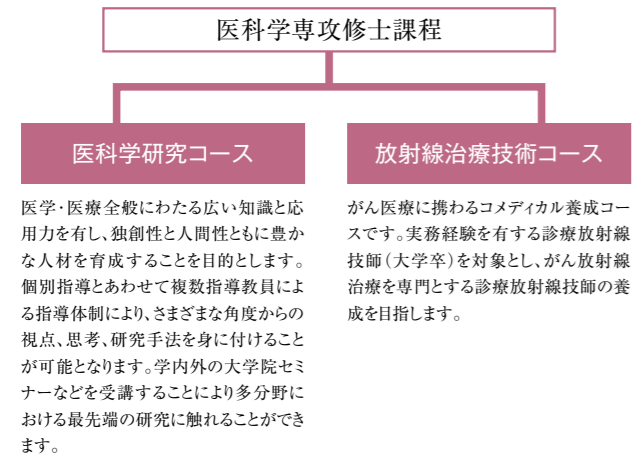


医科学専攻修士課程

医科学、医薬品食品の基礎研究、臨床開発の分野で貢献できる研究者、高度専門職業人を育成

修士課程は、医学部医学科以外の大学卒業生(すなわち学士を取得した人)で、医学研究を希望する学生のために開かれた2年間のコースです。修了生は博士課程に進学、あるいは企業や研究所などにおいて研究開発に携わります。本専攻の特徴は、ヒトの生物学と臨床現場で遭遇する未知の現象や疾患の発症メカニズムを視野に入れ、生命個体をシステムとして解明する研究分野を扱う点にあります。

〈コース編成〉



教員メッセージ

グローバルな視点で活躍できる人材を養成します。

医学研究科は、修士課程・博士課程において、高度な研究能力を持つ医師・看護師・研究職を養成することを使命としています。大学院では、教員の指導のもと、研究倫理を理解し、医学および看護学における新しい知見を導き出す研究手法を習得し、実践する力を培うことを目標とします。また、医学研究科は、大学院教育と同時に研究組織として、現在の医学・看護学が持つ課題や疑問の解決に挑戦し、学問を進歩させるとともに、横浜市をはじめとした地域社会から、わが国、さらにグローバルな視点で人類の健康増進に貢献できる成果を達成していく責務を持っています。本学の次世代臨床研究センター、先端医科学研究センター、先進医療推進センターとも連携し、教育・研究を進めてまいります。

医学研究科長 教授 大野 茂男 (おおの しげお) ■分子細胞生物学

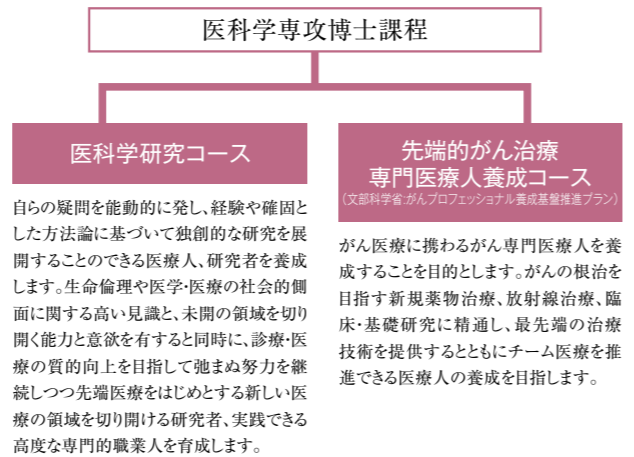


医科学専攻博士課程

医学、医療分野の発展に貢献できる指導者を育成

博士課程は、大学の医学部医学科・歯学部歯学科・薬学部薬学科または獣医学部獣医学科(6年課程)・および大学院修士課程または博士前期課程を修了した方を対象とします。本課程の目指すことは、修士あるいは博士前期課程での取り組みや、臨床現場の経験から発する疑問や発想を発展・深化させ、独自の視点をもとに研究を展開することのできる独創的かつ人間性豊かな研究者・教育者および指導者・高度な専門的医療人を育成することにあります。

〈コース編成〉



学生の声

世界的にも著名な先生のもとで新しい抗がん剤開発に関わる研究をしています。

学部時代は生薬の抗炎症メカニズムについて研究していましたが、世界的にも著名な先生のもとで最先端の研究に携わりたいと考え、医学研究科に進学しました。現在は、肺癌に対する新たな抗がん剤の開発に関わる研究を行っています。肺癌は診断から5年以内で90%以上の患者が亡くなってしまふ非常に予後不良のがんであり、新しい抗がん剤の開発には大きな社会的意義があると考え、研究を始めました。YCUには最新の実験機器が揃っており、一流の指導を受けることができることが特徴です。研究室の先輩や同期も非常にレベルが高く、切磋琢磨し合いながらスキルを磨くことができる最高の環境が整っています。



佐藤 準也 (さとう じゅんや)
医科学専攻 修士課程 2年
立命館大学生命科学部卒

学生の声

臨床検体をを用いた研究や他分野との共同研究も盛んで、知識が深まり、研究の幅も広がっています。

理工学部で医工連携を学ぶ中で、より医療に近い現場で研究してみたいという思いを持ち、YCUの大学院医学研究科に進学しました。現在は、心臓・血管病変の発症メカニズムの解明および治療法の開発に関する研究に携わっています。本研究科の魅力は、基礎教室と臨床教室の連携が密なところです。また、バイオバンク(※)などの施設も充実しており、臨床検体を用いた研究も盛んです。動物実験のみに留まらない、臨床応用の可能性がある研究に携われることにやりがいを感じています。また、他分野の教室間での共同研究も盛んで、専門家の先生の指導を通して知識が深まるとともに、研究の幅が広がるきっかけになっています。

※バイオバンク: YCU附属2病院の患者さんから、医学の発展のための研究に提供していただいた、手術や検査の際に抽出あるいは採取された血液、組織、体液などの試料ならびに診療情報を保存する施設。



石渡 遼 (いしわた りょう)
医科学専攻 博士課程 4年
早稲田大学先進理工学部卒

研究テーマ例 平成27年度修了者

- 皮膚血流測定による内皮機能評価の可能性
- 悪性中皮腫に於ける新規治療法の開発
- シナプス可塑性促進によるスパイン形態変化の解析
- 風疹ウイルスの赤血球凝集活性および感染性を阻害する低分子量化合物の探索と同定
- 磁性メトトレキサートを用いたがん治療法の検討
- 18F-FDGによるγ-セクレターゼ阻害剤の治療効果判定の基礎的検討
- 三次元培養装置を用いたヒト耳介軟骨前駆細胞による弾性軟骨の創出
- 周期的静水圧印加によるヒト動脈平滑筋細胞の三次元層状構築
- Utility of ultrasound evaluation for ankle joints in rheumatoid arthritis patients.
- 交感神経活性化による心房細動の延長作用のメカニズムについての検討
- ヒト肺癌オルガノイドを用いた新規薬剤評価系の構築
- Hedgehog伝達系における、α PKCの機能解析
- 異種動物生体由来材料を化学架橋する際に生じる細胞毒性をグリシン処理により除去する一方法
- PGE2-EP4はFibulin-1を介して生理的・病的内膜肥厚の形成に関与する

医学研究科 修了後の主な進路

- | 修士課程 | 博士課程 |
|--|---|
| [就職]
日本調剤株式会社
中外製薬株式会社
第一医科株式会社
昭和産業株式会社
株式会社ワールドインテック
株式会社エスアールディ
横浜市教育委員会
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
パレクセル・インターナショナル株式会社
シミック株式会社
クリニプロ株式会社 | 横浜市立大学附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院
南東北がん陽子線治療センター
独立行政法人地域医療機能推進機構
横浜保土ヶ谷中央病院
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
特定医療法人財団慈恵会 大口総合病院
大和市立病院
埼玉メディカルセンター
国立保健医療科学院
国立大学法人東京医科歯科大学
国際医療福祉大学 熱海病院
公益財団法人がん研究会有明病院
茅ヶ崎市立病院
横浜労災病院
横浜南共済病院
横須賀市立市民病院
横須賀共済病院
エイツーヘルスケア株式会社
アステラス製薬株式会社 |
| [進学]
横浜市立大学大学院
日本獣医生命科学大学 | |

など

長期履修学生制度

職業を有しながら大学院で学ぶ学生のために設けられた制度です。本学附属2病院や他の病院で後期研修を行いながら、また、後期研修終了後に勤務医として働きながら、あるいはその他の職業に就きながら、社会人として学位取得を目指すことができます。学業に専念する方と異なり、職業に費やす時間によっては、博士課程の場合、通常の4年で修了できないケースがありますが、5年目以降の授業料は通常の20%相当に減額されます。修士課程の場合は、修業年限2年を超えた3年目以降の授業料が、通常の20%相当に減額されます。

看護学専攻

目的

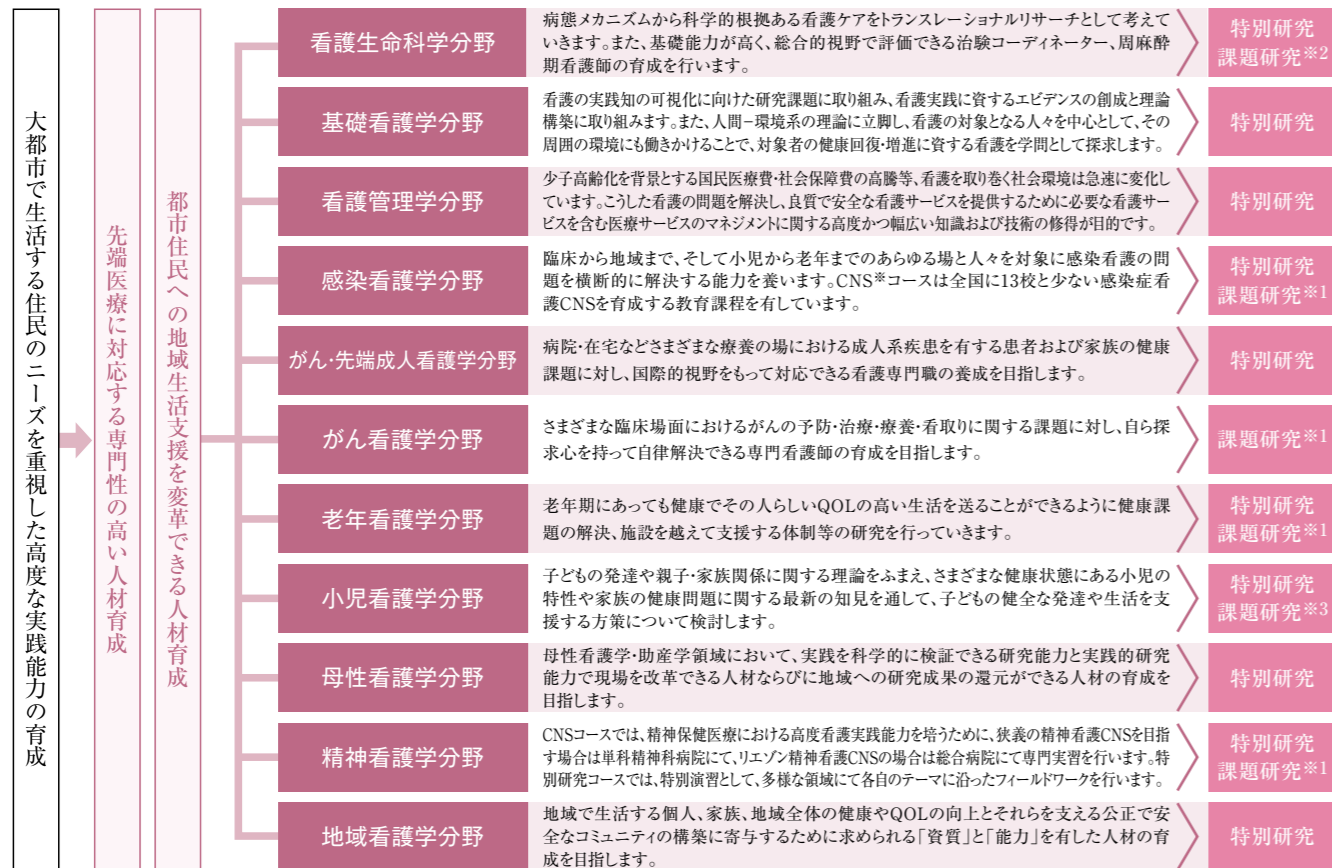
国際都市横浜に初めて設立された、公立の看護専門職の高等教育機関としての使命に基づき、地域貢献を重視するとともに、広い視野に立脚して看護学の専門性を追究できる人材ならびに、看護学の実践的研究能力をもって現場を改革できる人材を育成します。

教育理念目標

保健医療福祉および看護サービスを受ける利用者の生命・人権・ニーズを尊重し、高度な専門性に立脚した質の高い看護を追究・提供できる人材の育成を目指します。



教育課程の編成と特徴



※1 感染看護学・がん看護学・老年看護学・精神看護学は、一般社団法人日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程として認定されています。
 ※2 周麻酔期看護学教育課程(26単位)、老年看護学(38単位)は、文部科学省のBPプログラムに認定されました。
 ※3 小児看護学分野では、一般社団法人日本看護系大学協議会に専門看護師教育課程審査を申請する予定です(平成28年度中)。
 ※CNS(専門看護師/Certified Nurse Specialist)

教員メッセージ 看護の新たな可能性を発信できる人材を育成します。

高齢社会の到来と経済的不況を背景にわが国では、急性期医療と地域医療の二極化および、チーム医療の実現が喫緊の課題となっています。一方、ここ数年間、看護界を中心に看護の専門性の在り様についてさまざまな議論が展開されています。こうした状況にあって、臨床や現場を熟知した上で、看護の果たし得る役割や可能性を発信できる人が真に求められています。患者さんや当事者の状況を理解し、適切に擁護できる人、そのプロセスを学術的に説明し得る人が求められています。私たちは、これらの要件にかなう人材を育成することを目指しています。

医学研究科看護学専攻長 教授 松下 年子 (まつしたとしこ) ■精神看護学



学生の声 学びのきっかけや展開を自分から見つけることができます。

ストレスに直面した時に「ストレスとどのように向き合い、どのように対処すればいいのか」と抱いた疑問から、メンタルヘルスの分野に興味を持ち、大学院への進学を決意し、「人々の健康」を多面的に捉えることができる地域看護学分野でメンタルヘルス(心の健康)について研究を行っています。研究を進めていく中で、地域の人々が身体的にも精神的にも健康な状態で生活することができるような社会の構築に貢献したいと考えるようになりました。そのため、研究のための授業だけでなく、実際に現場で働くことを見据えた授業を受けることができるYCUは、とても魅力的だと感じています。看護の現場と研究をつなぐ役割を担うことができるよう、さまざまなことを吸収しようと思っています。



遠宮 菜都香 (とのおみや なつか)
看護学専攻 修士課程 2年
医学部看護学科卒

学生の声 就業しながら学べる制度が整っています。

附属病院で看護師として働きながら大学院で学んでいます。先生をはじめ先輩・同級生のサポートと職場の理解を得て、兼務することができています。このように、働きながら学ぶことができる体制があることも、YCUを選択した理由の一つです。経験豊富な先輩方との交流を深め、いろいろな相談に乗っていただいたり、ノウハウを教えていただける環境があるのも魅力だと感じています。現在は、感染看護学分野において、在宅療養をしている人に関する感染症について研究しています。近年在宅療養者が増えていく中で、感染症が生命を脅かすような事態となる可能性があります。そうした状況が起きないように看護者として何か支援ができないかと考え、研究テーマとして日々勉強しています。



野口 京子 (のぐち きょうこ)
看護学専攻 修士課程 2年
横浜市立大学附属病院勤務

看護学専攻修士課程修了者の主な就職先(現職・復職を含む)

病院など ・横浜市立大学附属病院 ・横浜市立大学附属市民総合医療センター ・神奈川県立がんセンター ・横須賀市立市民病院 ・横浜労災病院 ・自治体(横浜市、東京都特別区) など	教育研究機関 ・横浜市立大学 ・慶應義塾大学 ・公益財団法人日本訪問看護財団 など
---	---

CNS(専門看護師) 合格者 (過去3年実績) 感染看護学 2名 がん看護学 1名 精神看護学 3名

学位論文題目(一部)

- 都市部地域医療支援病院の高齢入院患者の社会的入院に関する要因
- 看護師の採血および静脈注射時の手袋着用の実態と介入の効果
- Margaret Newman理論に基づく若年性乳がん患者への看護実践 ― ケアリングパートナーシップの過程を通して ―
- 生後4か月の児をもつ母親の対処行動と母親の特性、SOC、育児に対する自己効力感との関連
- 先天性疾患のある子どもの病気に対する母親の理解 ― 新生児期から乳児期の療育体験を通して ―
- 学校におけるメンタルヘルス教育の普及啓発活動に取り組む精神障害者家族の行動体験と心理の過程
- A cross-sectional study on loneliness and related factors among community-dwelling people with schizophrenia in urban areas : Individual and environmental factors

履修内容は、WEBサイトをご覧ください。 <http://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/dn.html>

研究指導教授(分野長) (平成28年5月1日現在)

赤瀬 智子 教授 ●看護生命科学分野 基礎医学的な手法により看護実践を科学し、適切な予防治療管理ができる看護師および看護研究者を育成します。	佐藤 政枝 教授 ●基礎看護学分野 看護における実践・教育・研究に関する課題を学問として探求し、看護学の発展に資する新たな知見を生み出せるよう支援します。	勝山 貴美子 教授 ●看護管理学分野 大学院生が今までの臨床経験の中で持ってきた看護管理の研究疑問を明確にし、自律的に学び、研究するための力を身に付けることを支援します。
渡部 節子 教授 ●感染看護学分野 感染看護学は感染症の看護や管理の視点で感染予防や拡大防止を学ぶ学問です。臨床現場における問題点を見出し、研究的視点で解決できるように支援します。	千葉 由美 教授 ●がん・先端成人看護学分野/がん看護学分野 高度実践家としての活動に必要な資質・能力向上を図るため、積極的に主体的な姿勢を持って授業に参加、運営することを求めます。	叶谷 由佳 教授 ●老年看護学分野 老年看護学分野における学生自身が追究したいテーマについて深められるように指導します。
廣瀬 幸美 教授 ●小児看護学分野 小児看護の実践に根ざした研究課題を探り、看護方法の研究・開発を行うとともに、実践の革新に寄与する研究に取り組んでいけるよう支援します。	中村 幸代 教授 ●母性看護学分野 母性看護学分野における実践での「クエスチョン」を科学的知見から探究し、母性看護学・助産学への貢献の一助となる研究が遂行できるように支援します。	松下 年子 教授 ●精神看護学分野 看護や援助の本質を理解し、対等かつ自立した関係性を構築できる能力、現象や心の在り様を学術的観点から掌握し、理論化できる能力の修得を目指します。
田高 悦子 教授 ●地域看護学分野 地域住民や地域全体(コミュニティ)の健康の向上に寄与する地域看護学の立場から、社会に有為な学術的知見を生み出す人材を育成します。		

最先端の研究施設・連携研究機関

先端医科学研究センター（福浦キャンパス）

がん、生活習慣病などの克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル研究）を推進しています。

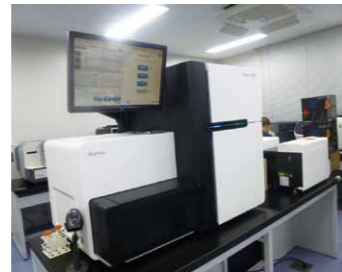


センター長 [平成27年4月着任]
教授 折館 伸彦 (おりだてのぶひこ)
■耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

横浜市立大学先端医科学研究センターは、平成18年に設置された大学直属の研究センターです。臨床への橋渡し研究を推進するとともに、各解析室における共同研究活動を基盤として国家プロジェクト等に参画し、国内有数のライフサイエンス分野における研究拠点を形成するなど、着実な実績を重ねてきました。平成27年からは、研究推進支援を行うURA推進室と連携し、より一層の戦略的な取組を強化している他、企業との共同研究を行う「産学連携ラボ」も拡充し、こうした取組を通じて、質の高い研究人材の輩出や市民医療の創出、新産業の促進を目指しています。



プロテオーム解析センター



ゲノム解析センター



産学連携ラボ

4解析センター

ゲノム解析センター



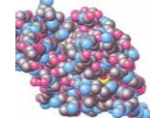
センター長
教授 松本 直通 (まつもと なおみち) ■遺伝学
遺伝子およびゲノム解析を行う共同研究室です。遺伝性希少難病に関する医療の推進や、個人差を考慮した「オーダーメイド医療」の実現を目指しています。



プロテオーム解析センター



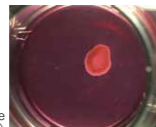
センター長
教授 川崎 ナナ (かわさき なな) ■プロテオーム科学
タンパク質、プロテオームの解析を行う共同研究室です。病気の原因タンパク質などを検出・同定し、診断マーカーや創薬標的分子としての有用性を検証します。



セローム解析センター



センター長
教授 谷口 英樹 (たにぐち ひでき) ■臓器再生医学
細胞レベルの解析を行う共同研究室です。「再生医療や新規抗がん剤開発」などの革新的な治療法の開発を目指します。



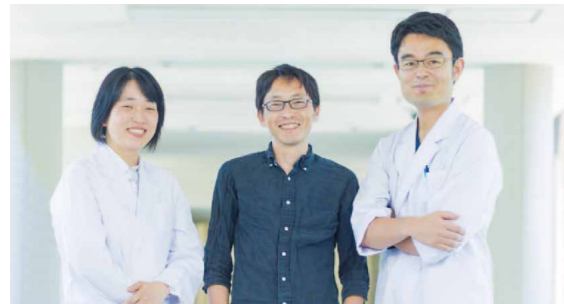
疾患モデル解析センター



センター長
教授 大野 茂男 (おおの しげお) ■分子細胞生物学
遺伝子操作した動物から取り出した組織や細胞の解析を行う共同研究室です。疾患モデル動物を開発し、解析することを目的としています。



専任教員



本センターでは、実績のある教員がスタッフを兼任し、学内共同研究、医理連携研究、産学連携研究を主宰してきましたが、平成26年10月に新たに3名の専任教員を迎えることができました。

プロテオーム解析センター

准教授 木村 弥生 (きむら やよい)

さまざまな疾患の診断マーカーを開発するなどプロテオミクスの研究成果を臨床につなげます。

バイオインフォマティクス解析室

准教授 中林 潤 (なかばやし じゅん)

ライフサイエンスと情報科学の知見を融合した先端技術を用いて、さまざまな医療系データの解析を行う研究室です。

トランスレーショナルリサーチ推進室

准教授 芝田 渉 (しば わたる)

臨床医と研究者の橋渡しの役割を担うトランスレーショナルリサーチを推進するための体制づくりに取り組んでいます。

平成27年8月に増築棟が竣工しました！

増築を機に最先端の研究開発の拠点として4つの解析センターが先端医科学研究棟に集約されました。これにより遺伝子レベルから、タンパク質、細胞レベルの解析を経て、前臨床研究である疾患モデル動物による解析を一貫して行う高度解析技術の開発および支援体制が大きく充実します。



細胞加工室



先端医科学研究棟



セローム解析センター



アイソレーター



疾患モデル解析センター

次世代臨床研究センター（Y-NEXT）

臨床研究を円滑かつ安全に実施するために

平成27年度に発足した次世代臨床研究センターは、平成28年度より、病院長を中心とした新たな体制、新たなスタッフを加え、全学的な臨床研究の支援を行っていきます。



センター長
附属病院 病院長

教授 相原 道子 (あいはら みちこ) ■皮膚科学
病気に苦しむ市民や国民の皆様へ、「次の一手」となる治療法の開発を推進することで、最先端の治療法をいち早くお届けできるよう、臨床試験の研究成果の早期還元に向けて取り組みます。

トランスレーショナルリサーチ体制



医療技術、医薬の開発などに貢献する研究

新しい薬や治療法、医療器具などの開発にあたって、その効果や安全性について検証し、人に効くかどうかを臨床試験で確かめます。臨床試験には統計家が計画段階から参画することが必須とされています。遺伝子治療など最先端の研究が進むにつれ、生物統計学的手法は非常にニーズが高くなり、すでにアメリカでは統計学者は人気職業の10傑に入っているほどです。平成28年からは次世代臨床研究センター（Y-NEXT）を拠点に臨床試験に関わる研究を行っています。横浜市立大学には生物統計学研究に適した環境があり、人材の輩出が期待されます。

准教授 田栗 正隆 (たぐり まさたか) ■臨床統計学



最先端の研究施設・連携研究機関

大型国家研究プロジェクト

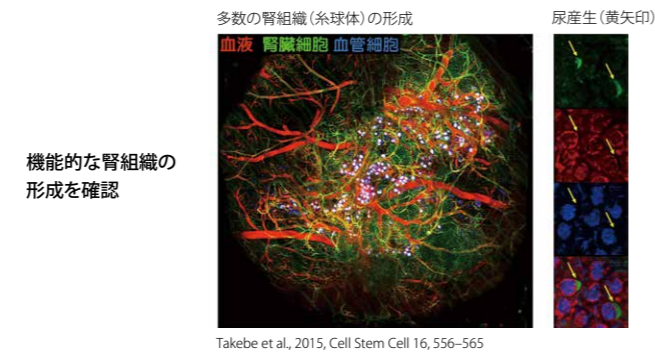
● 文部科学省イノベーションシステム整備事業
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム
【翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成】

〈研究成果〉
微生物学 梁 明秀教授らの研究グループにより、人体が本来もつ、エイズウイルスの感染を阻害するしくみを解明しました。人体が本来もつ宿主防御機構の解明に繋がる成果として、新たな治療法の開発への応用が期待されます。(Nature communicationsに掲載)

● 日本医療研究開発機構 (AMED) 脳科学研究戦略推進プログラム
課題名【AMPA受容体標識PETプローブを用いた精神神経疾患横断的研究】
今年度より、生理学 高橋 琢哉教授らの研究課題が採択されました。精神神経疾患の新規診断治療法の創出を目指します。

● 日本医療研究開発機構 (AMED) 再生医療実現拠点ネットワークプログラム(拠点B)
【iPS細胞を用いた代謝性臓器の創出技術開発拠点】

〈研究成果〉
臓器再生医学 武部 貴則准教授、谷口 英樹教授らの研究グループは、iPS細胞から立体的な器官原基(臓器の芽)を人為的に創出する培養手法を確立しました。創出された3次元器官原基は移植後、血管網を持つ機能的な組織を自律的に形成し、尿を産生する腎組織や、糖尿病治療効果を有する膵組織を生み出すことに成功。(Cell Stem Cellに掲載)



● 日本医療研究開発機構 (AMED) 難治性疾患実用化研究事業
【遺伝性難治疾患の網羅的遺伝子解析拠点研究】

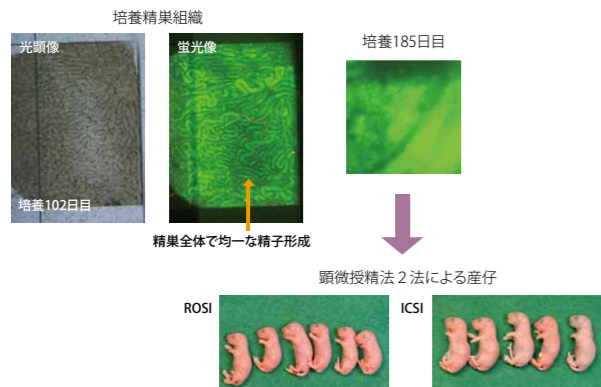
〈研究成果〉
遺伝学 松本 直通教授らは、難治性てんかんをきたす皮質形成異常症(Annals of Neurologyに掲載)、小児期発症のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群(American Journal of Human Geneticsに掲載)など、難病の原因となる遺伝子を見しました。



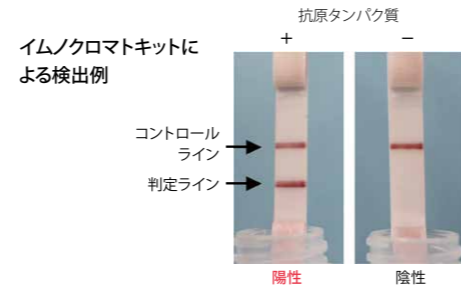
研究開発プロジェクトの研究成果

● 生命医科学研究科 小川 毅彦教授、医学研究科泌尿器科学 矢尾 正祐教授と大学院生 古目谷 暢医師らの研究グループは、新生仔マウスの精巣組織を体外で維持し精子産生を6か月間以上持続させることに成功しました。男性不妊の病態解明や治療法の開発が期待されます。(Scientific Reportsに掲載)

マイクロ流体デバイスによる精巣組織培養



● 微生物学 梁 明秀教授を中心とした共同研究グループは、MERSコロナウイルスを短時間で簡易に、かつ正確に検出可能なイムノクロマトキットの開発に成功しました。感染の拡大阻止への寄与が期待されます。



● 循環器・腎臓内科学 田村 功一准教授ら研究グループが肥満症に処方される漢方薬“防風通聖散”が動脈硬化の原因となる血圧変動性も改善することを発見。統合医療(東洋医療と西洋医療の併用療法)の効果が期待されます。

鶴見キャンパス

京浜臨海部研究開発拠点「横浜サイエンスフロンティア」の中核機関として、生命の神秘を原子・分子レベルで解明する生命医科学分野のパイオニアとして世界的に注目!

鶴見キャンパスでは、革新的な計測技術を駆使した生物学の新分野として原子・分子レベルでの生命医科学の確立を目指して、ポストゲノム時代に対応できる研究開発能力を持った人材を育成するための先端的教育・研究活動を行っています。

◇ 500 から 950MHz にいたる多目的 NMR 装置群
鶴見キャンパスには、500、600、700、800、950MHzとさまざまな静磁場強度の NMR 装置(核磁気共鳴装置: Nuclear Magnetic Resonance)があります。中でも 950MHz-NMR は、世界トップレベルの感度を誇り、液体クロマトグラフィー(LC)で分離した物質をリアルタイムでモニタリングできるように設計されています。これにより、超微量の化学物質を同定でき、より大きなタンパク質の立体構造やダイナミクスが解析できるようになりました。これらの成果は、生命現象の解明のほか、薬の設計、それら薬とタンパク質との相互作用の解析、機能的食品の開発などの最先端研究を推進しています。さらに 950MHz-NMR は、溶液の試料だけでなく固体の試料でも測定できるようになっており、企業や他大学からの開発研究者にも広く利用されています。



950MHz超高度LC-NMR装置

木原生物学研究所

舞岡から発信する植物研究の最先端

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は YCU の附置研究所としてコムギ・トウガラシ等をはじめとする最先端の植物研究を行っています。数千系統のコムギや数百系統のトウガラシを保有し、そこから集めた遺伝子の情報を基にしたバイオテクノロジーで、先端植物科学を展開しています。

◇アフガニスタン国際復興支援プロジェクト

厳しい自然環境と内戦後の復興途中にあるアフガニスタンに対して、木原生物学研究所の保有する貴重なコムギの遺伝資源と研究成果を用いて、耐旱性や耐病性を持つアフガニスタン在来のコムギ遺伝資源と近代品種とを掛け合わせることで、高収量・高品質を備えた新しい育種素材・育種技術の開発を行っています。



医学研究科 協定研究機関・連携大学院

大学院医学研究科では、国内・海外のさまざまな研究機関と連携して、最先端の研究を進めています。

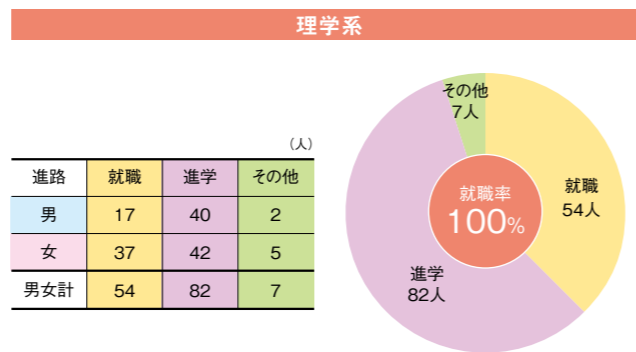
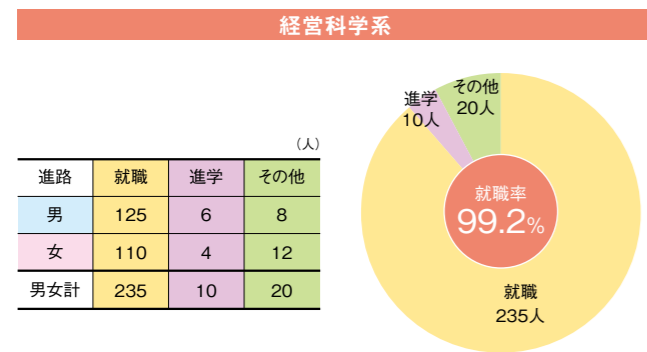
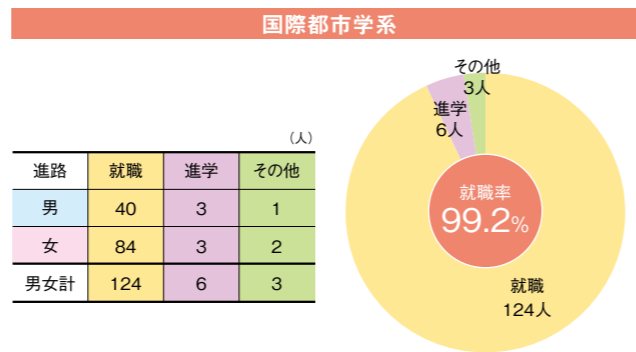
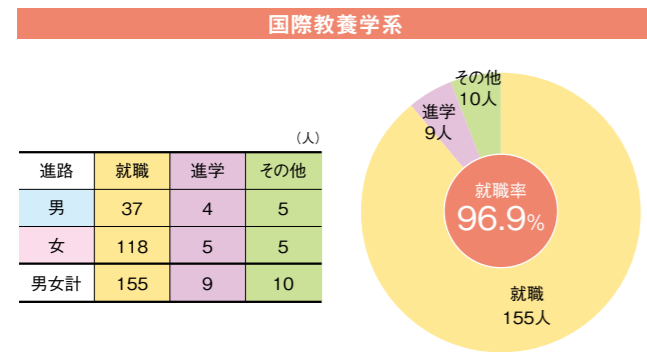
協定研究機関	連携大学院	その他の連携
MDアンダーソンがんセンター	放射線医学総合研究所 国立感染症研究所 国立国際医療研究センター 理化学研究所	横浜国立大学との医工連携 など
サンフォード・バーナム医学研究所	横浜市立市民病院 神奈川県立子ども医療センター 公益財団法人がん研究会 がん研究所 神奈川県立がんセンター臨床研究所	
カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 国立成育医療研究センター 横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	



国際総合科学部
就職率
平成28年3月卒業生 **98.6%**
(全国平均 97.3%)

国際総合科学部 就職実績

■平成27年度国際総合科学部 卒業生進路状況 (平成28年5月1日現在)



※その他：留学、資格取得など ※就職率：就職者÷就職希望者数

国際教養学系 卒業後の主な進路

- 製造業
 - 味の素株式会社
 - 日本アイ・ピー・エム株式会社
 - 株式会社ニコン
 - ハウス食品株式会社
 - パナソニック株式会社
 - 株式会社ブルボン
 - 三菱電機株式会社
 - 金融業
 - SMBC日興証券株式会社
 - 株式会社三菱東京UFJ銀行
 - 三菱UFJニコス株式会社
 - 株式会社横浜銀行
 - 横浜信用金庫
 - 情報通信業・マスコミ
 - NTTコミュニケーションズ株式会社
 - ソフトバンク株式会社
 - 東海テレビ放送株式会社
 - 光村図書出版株式会社
 - 楽天株式会社
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 横浜市教育委員会
 - 神奈川県教育委員会
 - 神奈川県警察
 - 東京地方検察庁
 - 横浜地方裁判所
 - 建設・不動産
 - 清水建設株式会社
 - 三井ホーム株式会社
 - 株式会社長谷工アーベスト
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社キャリアデザインセンター
 - 株式会社スタッフサービス・ホールディングス
 - 商社・卸売・小売
 - 住商フーズ株式会社
 - 日本サムスン株式会社
 - 株式会社三越伊勢丹
 - 横浜日野自動車株式会社
 - その他
 - 株式会社エイチ・アイ・エス
- ANAエアポートサービス株式会社
株式会社JTBワールドパッケージング
株式会社JALナビア
全国農業協同組合連合会
全日本空輸株式会社
東京商工会議所
日本郵便株式会社
マンダリン・オリエンタル東京株式会社
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
京都大学大学院
一橋大学大学院
横浜国立大学大学院

国際都市学系 卒業後の主な進路

- 製造業
 - シチズン時計株式会社
 - 芝浦メトロニクス株式会社
 - セイコーエプソン株式会社
 - 株式会社ディー・エイチ・シー
 - 帝人株式会社
 - テルモ株式会社
 - 日本発条株式会社
 - パナソニック株式会社
 - 富士通株式会社
 - 富士フイルム株式会社
 - マルハニチロ株式会社
 - 株式会社ミツカン
 - ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社
 - 金融業
 - かながわ信用金庫
 - 株式会社ジェーシービー
第一生命保険株式会社
大和証券株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社横浜銀行
横浜信用金庫
 - 情報通信業・マスコミ
 - 株式会社KADOKAWA
 - グーグル株式会社
 - KDDI株式会社
 - 株式会社テレビ東京
 - 株式会社フジテレビジョン
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 横浜市教育委員会
 - 神奈川県教育委員会
 - 経済産業省
横浜税関
 - 建設・不動産
 - ミサワホームインテグリティ株式会社
 - 三菱地所レジデンス株式会社
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社ジェイアール東海エージェンシー
 - 株式会社ジェイアール東日本企画
 - 商社・卸売・小売
 - 株式会社内田洋行
 - JFE商事株式会社
 - 株式会社そごう・西武
 - 三菱商事株式会社
 - 株式会社ルミネ
 - その他
 - 江ノ島電鉄株式会社
- 中部電力株式会社
東京電力株式会社
日本水産株式会社
日本郵便株式会社
株式会社阪急阪神エクスプレス
富士フイルムビジネスエキスパート株式会社
北海道旅客鉄道株式会社
株式会社会議所
株式会社ワールド航空サービス
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
一橋大学大学院

経営科学系 卒業後の主な進路

- 製造業
 - 花王株式会社
 - コスモ石油株式会社
 - 株式会社資生堂
 - ダイキン工業株式会社
 - 株式会社東芝
 - 凸版印刷株式会社
 - トヨタ自動車株式会社
 - 日産自動車株式会社
 - パナソニック株式会社
 - 富士ゼロックス株式会社
 - 三菱電機株式会社
 - 森永製菓株式会社
 - ライオン株式会社
 - 金融業
 - 第一生命保険株式会社
 - 大和証券株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
野村證券株式会社
みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
株式会社ゆうちょ銀行
株式会社横浜銀行
横浜信用金庫
 - 情報通信業・マスコミ
 - NTTコミュニケーションズ株式会社
 - 株式会社オービック
 - ソフトバンク株式会社
 - 読売新聞社
 - 楽天株式会社
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 神奈川県
 - 東京国税局
 - 東京消防庁
 - 東京都庁
 - 防衛省
 - 建設・不動産
 - 鹿島建設株式会社
 - 大成建設株式会社
 - 三菱地所株式会社
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社日立ビルシステム
 - 商社・卸売・小売
 - 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
 - 株式会社ニトリ
- 三井物産株式会社
株式会社ローソン
■その他
株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル
株式会社住友倉庫
日本航空株式会社
日本年金機構
株式会社プリンスホテル
■主な進学先(大学院)
横浜市立大学大学院
慶應義塾大学大学院
東京工業大学大学院
明治大学会計専門職大学院

理学系 卒業後の主な進路

- 主な進学先(大学院)
 - 横浜市立大学大学院
 - The University of Edinburgh
 - 自治医科大学大学院
 - 千葉大学大学院
 - 東京医科歯科大学大学院
 - 東京工業大学大学院
 - 東京大学大学院
 - 東京農工大学大学院
 - 東北大学大学院
 - 横浜国立大学大学院
- 製造業
 - 住友ゴム工業株式会社
 - タカラベルモント株式会社
 - TDK株式会社
 - パイオニア・マイクロテクノロジー株式会社
 - Meiji Seika ファルマ株式会社
 - 山崎製パン株式会社
 - 理想科学工業株式会社
- 金融業
 - 大和証券株式会社
 - 株式会社りそなホールディングス
- 情報通信業・マスコミ
 - 京セラコミュニケーションシステム株式会社
 - 日本放送協会
 - 日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社
 - 日立INSソフトウェア株式会社
- 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 横浜市教育委員会
 - 川崎市役所
 - 経済産業省 関東経済産業局
 - 農林水産省
- 建設・不動産
 - 東亜道路工業株式会社
- 商社・卸売・小売
 - 神奈川トヨタ自動車株式会社
 - 株式会社JR東日本リテールネット
- その他
 - 株式会社日立物流

1・2年次向けプログラム

キャリアデザイン実習

「キャリア」とはそれぞれの人が歩んでいく将来全般に関わる人生そのものと言えるようなものです。この授業では、さまざまなテーマを設定しディスカッションやグループワークを行います。時には外部講師を招いて未知の世界について話をうかがいます。これらを通して自分自身と自分が置かれている世界について多様な見方を可能にし、豊かなキャリアを築くために大切な視点や考え方に目を向けてもらえればと思います。大学に入って「何をしたらいいのか？」と迷っている人はぜひのぞいてみてください。



取り上げる主なテーマ:

- ・大学とはどんなところ
—日本の大学と世界の大学
- ・自己分析の方法
- ・将来の仕事のイメージ
—働くってどんなこと
- ・留学で見えてくる世界

- ・国際総合科学部の教育
—学系・コース・ゼミ選択の視点
- ・仕事と資格
- ・女性のキャリア形成
- ・グローバル社会の展望

就職・進路相談

YCUでは専門のキャリア・コンサルタントが常駐しており、個性の高いキャリア相談を行っています。1年次から相談が可能で、希望する進路や将来のキャリア像を話しながら一緒にキャリアプランを立てていきます。継続的に相談することでプラン作成後の行動の振り返りやアドバイスも可能です。また、就職やキャリアプランへのさまざまな障害への対処方法といったコーチングも行います。



3・4年次向けプログラム

合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討いただいている企業に出展いただき、学内で企業説明会を実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションが図れます。平成27年度は4日間で計177社にご出展いただき、延べ約1,400名の学生が参加しました。このセミナーに出展している企業へ就職する学生も毎年多数います。



その他イベントも多数開催!

就職ガイダンス

専門の講師による就職活動対策講座を開催しています。進路についてのガイダンスからスタートし、エントリーシートや筆記試験、面接等の就職採用試験に向けた対策を行います。

業界研究入門

業界について学ぶ講座です。講師は、さまざまな業界で活躍するYCUの卒業生をはじめ、各業界に精通した方にお越しいただいています。製造業(食品、製薬など)、商社、広告、公務員等、YCU学生の志望度の高い業界を中心に実施しています。

公務員講座

外部の公務員試験対策予備校と提携し、学内で開講しています。学内で実施するため、大学の授業終了後に受講でき、移動の時間や交通費もかかりません。また、YCU学生のための特別料金で受講することができ、公務員面接対策や模擬試験なども無料で受けることができます。

■合同企業セミナーの主な出展企業 (法人格省略)

IHI、アフラック、あいおいニッセイ同和損害保険、岡村製作所、オリエンタルランド、川崎信用金庫、鹿島建設、花王、かながわ信用金庫、共同通信社、キャノン、相模鉄道、ジェーシービー、鈴与、全国共済農業協同組合連合会、そごう・西武、大成建設、高島屋、大和証券グループ、帝国ホテル、東京海上日動火災保険、東京急行電鉄、日本郵政、日本発条、日本生命保険、ニトリ、ファンケル、プリチストン、丸紅、三井生命保険、三井ホーム、みずほ証券、UR都市機構、横浜銀行、横浜信用金庫、横浜ゴム、LIXIL、りそなグループ、ルミネ など

キャリア支援センター 利用者の声

小さなころからテレビを観るのが大好きで、「自分の人生を賭けたい仕事」としてテレビディレクターを目指しました。内定をいただいたNHKは、職種別採用で、テレビディレクターのプロとしてのキャリアを積むことができ、チャンネルが多く制作者の作りたいものが作れる土壌があることが魅力でした。広告会社も数社受けましたが、良い結果が得られず、マッチングというものもあるのだなと実感。それでも「残念ながら縁がなかった」と割り切り、自信だけは失わないようにしていました。YCUのキャリア支援は、早期から受けられるプログラムが用意されていて、常に背中を押されている安心感がありました。また、就活自体、何から始めたらいいのかさえわからない状態でしたが、行動の指針を示してもらえたおかげで、目指していた仕事に就くことができました。

福田 元輝 (ふくだ げんき)

理学系 環境生命コース 平成28年3月卒業
宮城県仙台南高等学校卒

- 日本放送協会 内定
- 就職活動期間/6か月
- トータル応募社数/25社
- 参加・利用した学内制度/面接指導(模擬面接)、キャリアサポーターと学生の集い、OB訪問



キャリアサポーター制度



YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。個人情報保護法により、企業から大学に提供される卒業生情報も減少してきています。そのため就職を希望する企業で実際に働いている先輩に話を聞きたいと思っても、直接コンタクトを取ることが難しくなっています。YCUのキャリアサポーター制度では、学生がサポーターとして登録している卒業生へ直接コンタクトを取ることができます。そこで、職場の雰囲気や仕事内容および先輩の就職活動でのエピソードなど、先輩の本音を聞くことができます。また年に1回学内で「キャリアサポーターと学生の集い」と題した交流会を行っています。毎年多くのサポーター、学生が参加し活気のあるイベントとなっています。

キャリアメンター制度

就職が内定した4年生、博士前期課程(修士課程)2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程(修士課程)1年生に対して、相談相手となって就職活動の支援をする制度です。これから就職活動をする学生は内定した先輩から就職活動の情報やノウハウを得ることができ、支援をする側の学生は後輩を指導することで、社会人として役に立つ指導力やリーダーシップ、コミュニケーション力を磨くことができるなど、両者にとってメリットがあります。キャリア支援センターでは学生同士のWIN-WINの関係を構築することで学生の成長を支援しています。



新しい取り組み

Uターン・Iターン支援

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、Uターン・Iターン就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を全国10大学と連携して行っています。学生は、就職を希望する地域のパートナー10大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談などの就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

就職支援パートナーシップ制度参加大学

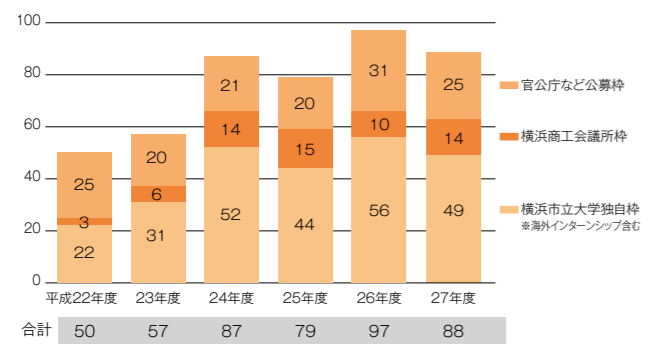


体験&経験談から自身の将来をイメージする

国内インターンシップ

企業や官公庁と連携してYCU学生を優先的に受け入れていただくYCU独自枠も多くあり、毎年多くの学生を派遣しています。最近では、平成23年度より金沢区役所と連携し「キャンパスタウン金沢(大学のあるまちづくり)」の一環として、区内の2大学(横浜国立大学・関東学院大学)の学生を対象に、金沢区役所でインターンシップ実習を実施。また平成24年度から、横浜市の外郭団体である横浜企業経営支援財団と連携し、YCUの留学生が横浜市内企業でインターンシップ実習を行っています。

■横浜国立大学インターンシップ参加者推移



■横浜国立大学国内インターンシップ実習先実績 (抜粋)

- メーカー (株)IHI、コニカミノルタホールディングス(株)、中外製薬(株)、(株)東芝横浜事業所、日本発条(株)、(株)ファンケル、ヤマハ発動機(株)
- IT・情報サービス NECグループ各社、(株)日立アドバンストデジタル、NTTソフトウェア(株)
- 物流・運輸 日本通運(株)、(株)日本航空インターナショナル、ヤマト運輸(株)
- 卸売業・小売業 大塚商会(株)、トラスコ中山(株)、(株)ニトリ
- サービス 神奈川日産自動車(株)、横浜トヨペット(株)、(株)JALスカイ、横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ
- 金融 (株)ジェシービー、三井住友海上火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、横浜信用金庫、(株)横浜銀行、かながわ信用金庫
- 通信・マスコミ 神奈川新聞社、(社)共同通信社、(株)産経新聞社、東日本電信電話(株)
- 官公庁 環境省、経済産業省、厚生労働省、法務省、文部科学省、東京都庁、横浜市区役所、神奈川県庁、鎌倉市役所、金沢区役所、財務省関東財務局
- その他 国際連合食糧農業機関(FAO)、国連大学高等研究所、アジア太平洋都市間協力ネットワーク(CITYNET)、JICA横浜

海外インターンシップ

平成17年度より海外企業や現地日系企業でのインターンシップ実習を実施し、グローバルな視野を持つ人材の育成に力を入れています。派遣先の拡充も積極的に進めており、学生がより参加しやすい環境整備を行っています。派遣国はアメリカやオーストラリアなどの英語圏のみならず、近年では政府もインターンシップ派遣を推奨し、日本企業の進出が多い中国やインドなどの新興国まで、多岐にわた

っています。所定の成果を修めた学生は、後援会から渡航費用の一部が助成され、費用負担を軽減することができます。将来海外と繋がる仕事がしたい、語学力を試したいという理由で参加する学生が多く、卒業後、外資系企業や商社、グローバル展開をしている国内企業等で活躍しています。

■海外インターンシップ派遣実績



卒業生からのメッセージ



湯面 理紗子 (ゆめん りさこ)
国際教養学系 社会関係論コース 平成28年3月卒業
神奈川県 私立捜真女学校高等学校卒

多くの人が私の就活を支えてくれました。

就職活動で改めて実感したことは、「YCUには必ず支えてくれる最高の仲間がいる」ということです。3年次に始まった就職活動が長期にわたり、思うような結果が得られず落胆したことも多々ありました。そんなとき力になってくれたのが、友人たちや先輩・後輩、先生、キャリア支援センターを始めとする職員の方々の存在でした。定期的に集まって履歴書を書きながら励まし合う友人たち、書類の添削や相談に応じてくださったキャリア支援センターのスタッフの方々、私のこぼす愚痴を聞いてくださった先生や職員の方……、本当に多くの人に助けられました。大学の正門から端まで歩けば必ず友人に出会い、元気をもらってはまた次も頑張ろう!と自分を鼓舞していました。就職活動は大変ですが、友人やさまざまな方との絆が一層深まり、今では大変良い思い出となっています。

- 味の素株式会社 内定
- 就職活動期間/1年間 ●トータル応募社数/39社
- 参加・利用した学内制度/キャリア相談、就活相談、就活ガイダンス、業界研究入門、国際ボランティア

大学が提供してくれるコンテンツを最大限に活用して、納得の結果に。

内定をいただいた企業を最終的に選んだのは、「医療機器」という社会に必要とされるものを作っていること、海外で働くチャンスに恵まれていること、向上心を持って働いている社員に魅力を感じたことからでした。結果にはとても満足しています。終わった今だからこそ言えますが、就職活動はやはり不安なもの。エントリーシートの書き方すら分からず、キャリアアドバイザーの方に1から指導していただき、とても役に立ちました。就職活動が解禁された4年次の春には、企業や業界の特徴や面接の時のコツなど、細かいことを丁寧に教えていただくなど、小規模な大学だからこそ学生一人ひとりが手厚いサポートを受けられるYCU生で良かったと実感しました。また、OB・OG訪問でお会いした先輩方も、とても親身になってアドバイスしてくださり、YCU生のメリットを活用できた就活でした。



青山 春佳 (あおやま はるか)
国際都市学系 地域政策コース 平成28年3月卒業
神奈川県立光陵高等学校卒

- テルモ株式会社 内定
- 就職活動期間/9か月 ●トータル応募社数/10社
- 参加・利用した学内制度/OB・OG訪問、キャリアガイダンス、国内インターンシップ、キャリアアドバイザー相談



岡田 順平 (おかだ じゅんぺい)
経営科学系 経済学コース 平成28年3月卒業
神奈川県 私立浅野高等学校卒

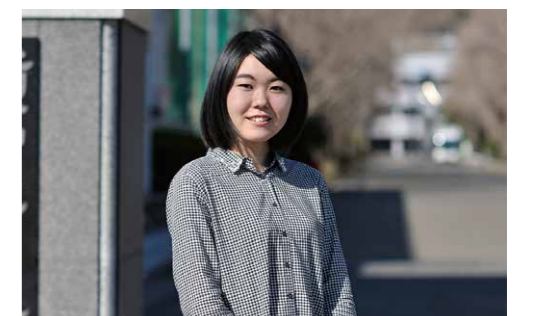
個別相談で“気付いていない自分”を知り、それが自信になりました。

大学入学時に目標としたのが「社会人としての思考力を身に付ける」でした。1年次は幅広い分野の知識を得るため、医学部の教授が担当されている科目も受講。また、アルバイトでは、学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々働く環境を選んだことで、責任のある立場として多くの方と関わる機会を得ました。2年次の夏には、イギリスの語学学校に留学。日本人のいない追い込まれた状況でも目標に向かっていく忍耐力を養うことができました。そして、就職活動時には、キャリア支援センターの個別相談を利用し、客観的な視点からのフィードバックをいただいたことが自信になりました。結果的に就職活動においても、企業の方が「社会人としての思考力」を評価してくださり、大学生活での学びが大きな武器となったと自負しています。

- 日本航空株式会社 内定
- 就職活動期間/10か月 ●トータル応募社数/30社
- 参加・利用した学内制度/進路相談、就活対策講座、OB・OG訪問

充実した支援をどう活用するかは、本人次第です。

私はYCUで、「伝える力」が身に付いたと思います。少人数の授業で発表する機会が多くあり、分かりやすく、興味を持ってもらえるように話すスキルを体得する過程でもしるさを感じ、「人に伝える仕事が好き」と思うようになっていました。横浜市役所を志望したのは、多様なフィールドがあり、ワークライフバランスがとれていて、さまざまな取り組みを市民に「伝えていく」姿勢に魅力を感じたから。YCUの就職支援は、エントリーシートの添削、セミナーが役立ちました。人の意見を聞くことは、自分の視野を広げてくれるので、頼れるものはどんどん活用していくと良いと思います。大学4年間は、自分を知るとも貴重な時間です。YCUは面倒見の良い大学ですが、どう生かすかはみなさん次第。私は、親や周りの人への感謝を忘れないこと、周りに流されすぎないことを意識して過ごしました。



高木 相佳 (たかき あいか)
理学系 生命環境コース 平成28年3月卒業
東京都 私立國學院大学久我山高等学校卒

- 横浜市役所 内定
- 就職活動期間/6か月 ●トータル応募社数/20社
- 参加・利用した学内制度/公務員講座、海外フィールドワーク、国内インターンシップ



国家試験対策

きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学部国家試験対策 (平成27年度参考)

医師 国家資格試験 合格率 97.8%
平成28年3月卒業生 (全国6位、全国平均 91.5%)

- 5年次3月の学年末試験、6年次9月、1月に実力試験を実施。
- 年に2回(7月、11月)の民間模試を全員受験。
さらに2回(12月、1月)民間模試受験を奨励。
→受験結果のフィードバック(模試結果を踏まえて個人面談を20件以上実施)。
- 各分野の教員が協力しての国家試験対策授業を14教室で実施

国家試験対策スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医学	5年次											
	模擬試験				模擬試験		実力試験		模擬試験	模擬試験	実力試験	国家試験
	国家試験対策授業											
	個人面談(随時)											
看護	4年次											
	個別面談					模擬試験		模擬試験	模擬試験		卒業論文提出	国家試験
	模擬試験										補修講義	補修講義
	フォローアップ面談											

看護学科国家試験対策 (平成27年度参考)

看護師 国家資格試験 合格率 97.1%
平成28年3月卒業生 (全国平均 89.4%)

- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。(4年次4、8、10、11、1月)
- 4年次生全員を対象とした学科教員による弱点科目の補習講義の実施(12月)
- 学外からパソコン・スマートフォンなどからアクセス可能な学習ツール(e-learning教材)が使用可能
- 伸び悩んでいる学生には補修講義や随時フォローアップ面接を実施。

保健師 国家資格試験 合格率 91.1%
平成28年3月卒業生 (全国平均 89.8%)

医学部 初期研修先

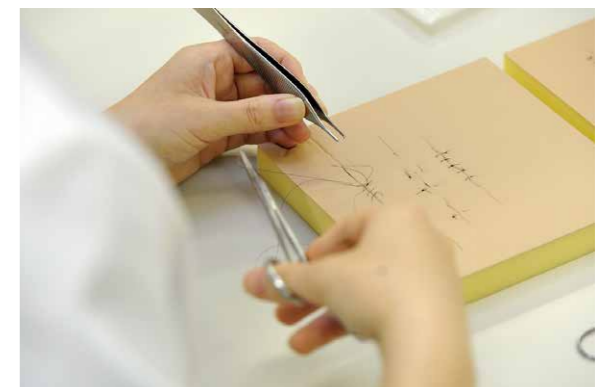
研修先	人数			
	1年目	2年目		
本学	横浜市立大学附属病院	0	9	
	附属市民総合医療センター	3	9	
横浜市内	横浜市民病医院	6	5	
	横浜医療センター	6	3	
	済生会横浜市南部病院	4	3	
	みなと赤十字病院	3	3	
	横浜労災病院	2	1	
	けいゆう病院	1	1	
	済生会横浜市東部病院	2	0	
	横浜南共済病院	1	0	
	藤沢市民病院	7	5	
神奈川県内	横須賀共済病院	3	2	
	小田原市立病院	2	1	
	厚木市立病院	1	1	
	川崎協同病院	1	1	
	川崎幸病院	1	1	
	川崎市立井田病院	1	1	
	相模原病院	1	1	
	茅ヶ崎市立病院	1	1	
	横須賀市立うまわち病院	1	1	
	足柄上病院	1	0	
	東京新宿メディカルセンター	2	2	
	東京都墨東病院	2	2	
	板橋中央総合病院	1	1	
	NTT東日本関東病院	1	1	
大久保病院	1	1		
東京都	河北総合病院	1	1	
	聖路加国際病院	1	1	
	総合東京病院	1	1	
	東京警察病院	1	1	
	東京高輪病院	1	1	
	東京通信病院	1	1	
	東京都健康長寿医療センター	1	1	
	豊島病院	1	1	
	虎の門病院	1	1	
	都立公社 荏原病院	1	1	
	日本赤十字医療センター	1	1	
	練馬光が丘病院	1	1	
	三井記念病院	1	1	
	大森赤十字病院	1	0	
	北海道	滝川市立病院	1	1
	宮城県	仙台厚生病院	1	1
	福島県	公立相馬総合病院	1	1
	新潟県	上越総合病院	1	1
	長野県	佐久総合病院	1	1
茨城県	水戸協同病院	1	1	
千葉県	新松戸中央総合病院	1	1	
	亀田総合病院	1	1	
静岡県	国保旭中央病院	1	1	
	国際医療福祉大熱海病院	3	3	
愛知県	静岡済生会総合病院	1	1	
	江南厚生病院	1	1	
高知県	高知赤十字病院	1	1	
	近森病院	1	1	
その他		2		
合計		86		

看護学科 進路状況

区分	就職先	人数	
就職(94)	本学(61)	附属病院	23
		附属市民総合医療センター	38
	横浜市内(8)	けいゆう病院	2
		昭和大学藤が丘病院	1
		昭和大学横浜北部病院	1
		神奈川県立こども医療センター	1
		神奈川県立精神医療センター	1
		横浜栄共済病院	1
		横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	1
	神奈川県内(7)	川崎幸病院	2
		関東労災病院	1
		北里大学病院	1
		東海大学医学部附属病院	1
		藤沢市民病院	1
藤沢病院		1	
虎ノ門病院		2	
東京都(14)	国立がん研究センター中央病院	2	
	東京共済病院	2	
	池上総合病院	1	
	板橋中央総合病院	1	
	がん研有明病院	1	
	国立国際医療研究センター病院	1	
	国立成育医療研究センター	1	
	国立精神・神経医療研究センター	1	
	昭和大学附属江東豊洲病院	1	
	東邦大学医療センター 大森病院	1	
板橋中央総合病院	1		
栃木県(1)	自治医科大学附属病院	1	
	保健師	3	
進学		7	
その他		2	
合計		103	

医学部 卒業生 初期臨床研修修了後の進路 (平成22~26年卒)

- | | |
|--------------------|----------|
| 横浜市立大学附属病院 | 小田原市立病院 |
| 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 茅ヶ崎市立病院 |
| 横浜医療センター | 関東労災病院 |
| 横浜市南部病院 | 静岡赤十字病院 |
| みなと赤十字病院 | 沼津中央病院 |
| 藤沢市民病院 | 川崎市立川崎病院 |
| 足柄上病院 | 都立広尾病院 |
| 横須賀共済病院 | 聖隷三方原病院 |
| 国立相模原病衣 | など |



学術情報センター
(金沢八景キャンパス)

人文・社会・自然科学、幅広い分野をフォロー

学術情報センターは、大学での学習・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵している図書館です。また、図書館のほかにもLLテーブルライブラリー・LL実習室、情報教育実習室といった学習をサポートするための施設が揃っています。



医学情報センター
(福浦キャンパス)

豊富な医学情報で学習・研究と医療の現場をサポート

医学情報センターは、医学科・看護学科付属の図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。所蔵資料は学生の学習支援のほか、地域の医師・看護師・市民へも広く公開され、地域の医療情報を支える拠点となっています。また、セミナー室やノートパソコン・プロジェクター等の貸出、24時間利用（一部学年）など、快適な学習環境を提供しています。



初めてのレポートから卒論まで、
図書館員が学習をサポート
ガイダンス・レファレンス

●**ガイダンス**
学術情報センターでは、利用方法をはじめ、文献の探し方、レポート作成などの講習会を開催し、学生の皆さんの学習をサポートしています。

●**レファレンス**
資料が見つからない、探し方が分からない、勉強やレポートなどで課題に行き詰まったときなど、図書館で困ったことがあったら図書館員に相談してみてください。図書館員を上手に使うことも、図書館を使いこなす方法の1つです。



学生の視点で図書館を魅力あふれる環境に
学生ライブラリストaff

学術情報センターでは、学生ライブラリストaff（通称学生LS）と呼ばれる学生ボランティアが活動しています。学生ならではの視点で、図書館のサービスや資料の探し方のコツなどを紹介しており、図書館には、学生LS発行の広報誌も並んでいます。皆さんの先輩が図書館の使い方をはじめ、学生生活に役立つさまざまな情報を教えてくれるはず！図書館に興味のある方は、ぜひ次代の学生LSとして活動してみませんか？



LLテーブルライブラリー

英語、フランス語、ドイツ語、中国語などのCD付語学教材や外国映画などのDVDがあり、TOEFL等資格試験対策に利用できます。

LL実習室

語学教材を用いた講義が行われるほか、英語eラーニングシステムによる自習室として利用できます。

情報教育実習室

パソコン・プリンタ完備の教室が複数あり、講義の空き時間に自由に利用できます。予習・復習や専門的な研究の利用にも活用してください。平日夜間には、大学院生の相談員を配置しています。

「24時間開館」で図書館フル活用！

許可された学生（医学科5年生、看護学科3年生以上）は、閉館後や祝日などの休館日でも図書館を利用できます。静脈認証による入館システムを導入しているため、安心・落ち着いた環境で、国家試験対策、臨地実習の準備ができます。



学びやすい環境を提供

図書館資料の利用だけでなく、閲覧室に設置されたパソコンでの文献検索、セミナー室や多目的学習室でのグループ学習、ノートパソコンやプロジェクターの利用など、授業の予習・復習のほか、学習に幅広く活用できる環境を用意しています。



授業や国家試験対策をサポート

講義関連資料やレポート作成に必要な図書をはじめ、医師・看護師・保健師・助産師各国家試験対策の参考書や問題集なども揃っており、皆さんの夢の実現をサポートしています。

PICK UP!

■各キャンパスに図書館

YCUには、幅広い分野の資料を集めた学術情報センター（金沢八景）、医学系の資料に特化した医学情報センター（福浦）のほか、3つの図書館があります。各キャンパスの資料は取り寄せて利用することができます。また、他キャンパスの図書館に出向いて直接利用することも可能です。

■幅広い分野の資料が充実

現在、図書館には約84万冊の図書と約2万タイトルの雑誌が所蔵されています。授業の進度に合わせて活用できる、専門的な学習・研究資料のほかにも、語学資料や学生生活に役立つ資料が揃っています。

■電子資料も整備

図書や雑誌など紙の資料だけでなく、パソコンで見ることができる電子資料を整備しています。2万タイトル以上の電子ジャーナルや1万5千タイトル以上の電子ブック、各種データベースが学習・研究・診療に広く活用されています。

■多様な学習スタイルに対応

図書館内には、個人で利用できる閲覧席の他に、グループ学習やセミナーなどに使える学習スペースが設置されています。また、館内には無線LAN設備があり、自分のパソコンをインターネットに接続して使うことができます。授業期間は22時まで（土日は19時まで）開館しており、皆さんの学習をサポートしています。